

瀬戸市の教育

平成27年度



地域のみなさんとの「栗拾い」

瀬戸市教育委員会

はじめに

瀬戸市の学校教育は、あくまでも子ども中心、そして、社会教育、生涯学習の担い手は市民であるという考えのもと、平成17年「瀬戸市教育アクションプラン」策定以来、各種の事業を展開し、10年が経過しました。

この間、情報端末の進歩による情報化社会をはじめ、教育を取り巻く環境は想像を絶する程大きく変わりました。

瀬戸市の教育は、時代が変わろうと、社会が変わろうと、人が変わろうと、「教育の不易・・・人づくり」について発信し続けてきました。そして今日までに、特別支援教育やキャリア教育など、瀬戸市ならではの教育を築いてきています。

10年の区切りに、改めて、「瀬戸市の教育理念」である、

- ・すべての子どもたちが「瀬戸で学んでよかった」
- ・すべての親たちが「我が子を瀬戸で育ててよかった」
- ・すべての市民が「瀬戸で生きてよかった」

に照らし合わせて、瀬戸市の教育を見つめ直した時、まずは、未来を担う子どもたちに養うべき力として、「生きる力」「生き抜く力」の重要性を再確認するとともに、これからの教育にとって重要な三つの視点として、

- ・一人ひとりの存在を認め支え合うことができる、多様性の尊重
- ・学校、家庭、地域など社会全体が力を合わせて子どもたちを育む、横の連携
- ・一生涯を通した「学び」と「生きがいがづくり」ができる、縦の接続

を踏まえた取り組みを進めていく必要があります。

これまで掲げてきた「瀬戸市の教育理念」は、新たな時代の要請である三つの視点に対しても、決して揺らぐことはありません。平成28年度から始まる「第2次瀬戸市教育アクションプラン」において、教職員、保護者、地域の方々をはじめ、すべての市民の共有財産と位置づけ、新たな教育の創造に臨みたいと考えます。

ここに、平成27年度の教育概要を取りまとめました。本市の教育行政をご理解いただくために役立てて頂くこと、そして、「子どもたちの幸せ」を願い協働して教育をつくり上げていくことを切にお願い申し上げます。

平成27年9月

瀬戸市教育委員会
教育長 深見 和博

目 次

I 教育行財政

- 1 瀬戸市の沿革 1
- 2 教育委員会組織機構図 2
- 3 教育委員会職員数 3
- 4 事務の補助執行 3
- 5 歴代教育委員 4
- 6 歴代教育長 5
- 7 教育財政 6
- 8 教育アクションプラン 8
- 9 教育アクションプラン推進会議 . . . 14

II 学校教育

- 1 瀬戸の学校教育でめざすもの 15
- 2 「生き抜く力」を育む教育 25
- 3 教職員の研修 31
- 4 学校の状況 36
- 5 学校施設一覧 40
- 6 瀬戸市立小学校の適正配置 42
- 7 隣接学校選択制 43
- 8 就学・私学助成制度 45

III 学校給食

- 1 学校給食の方針 47
- 2 学校給食の現況 47

IV 図書館

- 1 図書館活動 53

V 視聴覚ライブラリー

- 1 視聴覚ライブラリー活動 59

VI 社会教育

- 1 社会教育 61

VII 社会体育

- 1 社会体育 66
- 2 体育・スポーツ活動 67
- 3 スポーツ施設 70
- 4 野外活動センター 71

VIII 文化財保護

- 1 文化財保護活動 72

資料

- 1 沿革 76
- 2 教育関係施設一覧 100

I 教育行財政

1 瀬戸市の沿革

瀬戸市は、濃尾平野の東、尾張丘陵の一角にあって、中部経済圏の中心地である名古屋市の北東約20kmに位置し、周囲を標高150m～300mの山々に囲まれ気候も温暖で、丘陵地帯には、瀬戸層群と呼ばれる新第三紀鮮新世の地層があり、やきものの原料となる良質の陶土やガラスの原料となる珪砂を豊富に有しています。また、北部や東部の山間地帯には、松などの樹林が広がり、かつては、こうした恵まれた自然が、瀬戸の窯業の発展に大きな支えとなってきました。このような自然や時代の移り変わりを背景に、窯業に携わってきた人々のたゆまぬ努力のおかげで、せとものはやきものの代名詞として日本のみならず、世界の人々に知られるようになりました。明治11年(1878)に郡区町村編成法、同22年(1889)に町村制が公布されると、近代的な自治体である瀬戸村となり、次いで明治25年(1892)には瀬戸町になりました。さらに大正14年(1925)には赤津村及び旭村の一部を合併し、4年後の昭和4年には愛知県で5番目の市として「瀬戸市」が誕生しました。その後も昭和26年(1951)には水野村を合併、同30年(1955)には幡山村、同34年(1959)には品野町を合併し、市域は現在111.40km²、人口は13万人を超えるまでに発展しました。瀬戸市では、市の目指す将来像を「自立し、助け合って、市民が力を発揮している社会」と定め、これまで長い間培われてきた歴史や伝統、文化を活かし、市民・地域産業・行政が一体となったまちづくりを進めています。

- (1) 市制施行 昭和4年10月1日
- (2) 市役所所在地 瀬戸市追分町64番地の1
東経137度 5分 3秒
北緯 35度13分24秒
- (3) 面積 111.40km²
東西12.8km
南北13.6km
- (4) 人口(平成27年4月1日現在)
男 64,556人
女 66,713人
計 131,269人
- (5) 世帯数 53,928世帯



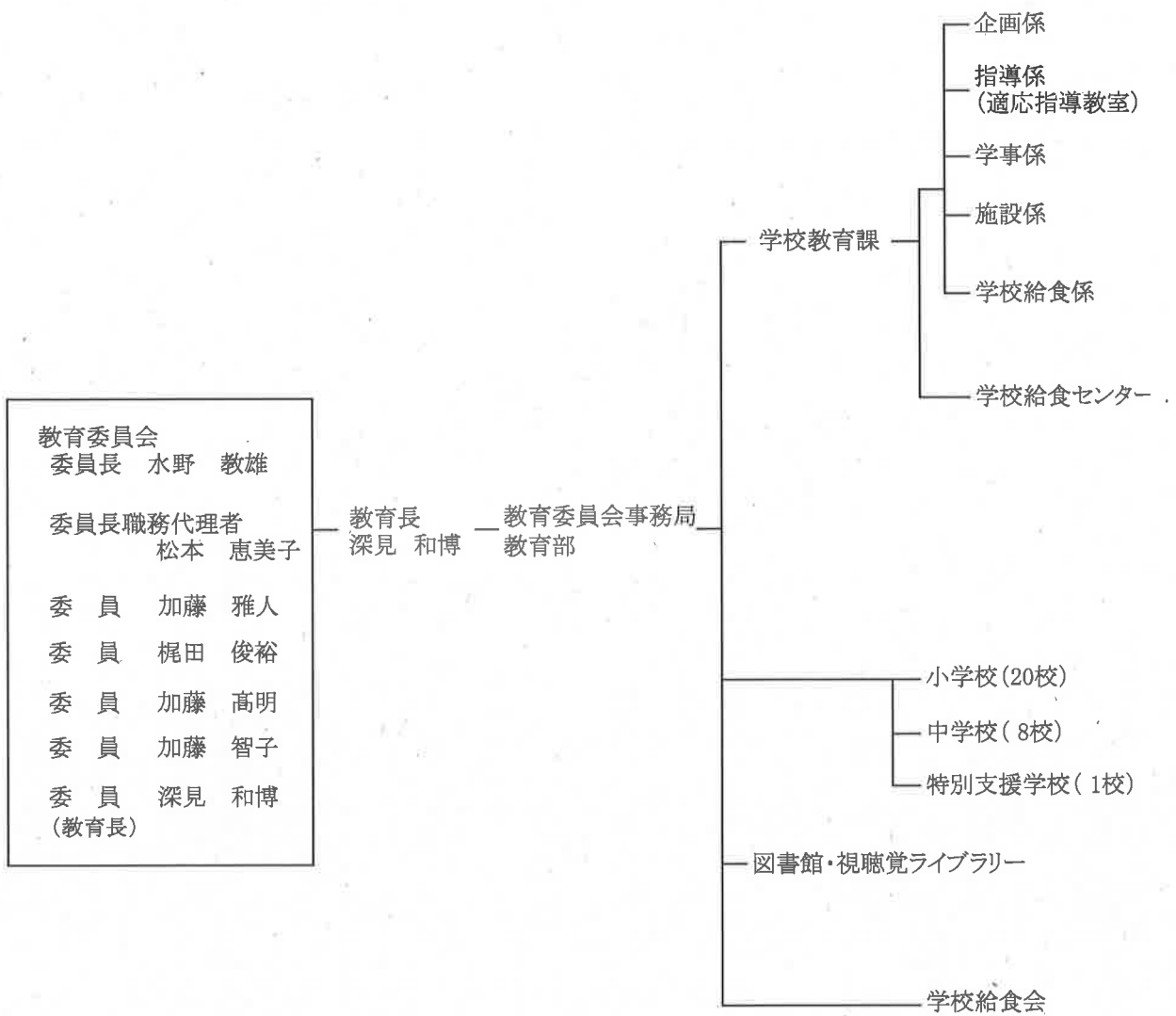
市の花 ツバキ



市の木 クロガネモチ

2 教育委員会組織機構図

平成27年4月1日現在



3 教育委員会職員数

平成27年4月1日現在

	教育部長	教育次長兼課長	課長・主幹	館長・主幹	課長補佐・専門員	係長・主査	主事	技師	技師	用務員	調理員	配膳員	嘱託職員	計	備考
教育部長	1													1	
学校教育課			2	7	3(3)	3	(1)	1					4	20	()は課長補佐・専門員が兼務 ただし、技師欄()は係長職
小学校(20校)									9	13				22	
中学校(8校)									4					4	
特別支援学校(1校)					1						3			4	
図書館			1	1	1	1								4	
視聴覚ライブラリー			(1)	(1)	(1)	(1)								0	()は図書館の職員が兼務
計	1		3	8	5	4		1	13	16			4	55	
学校給食会													1	1	
計													1	1	

4 事務の補助執行

(1) 市長が教育委員会の職員に補助執行させる事務

- ① 私立学校（私立幼稚園を除く。）、私立の専門学校及び私立の各種学校に関すること。
- ② 教育委員会の所掌する事業に係る国庫支出金及び県支出金等の申請に関すること。
- ③ 瀬戸市予算及び決算規則（昭和40年瀬戸市規則第17号）、瀬戸市公有財産事務取扱規則（昭和42年瀬戸市規則第21号）、瀬戸市自動車等管理規程（昭和40年瀬戸市訓令第2号）に規定する各課等の長の処理すべき事務に関すること。
- ④ 瀬戸市会計規則（昭和29年瀬戸市規則第4号）に規定する各課等の長及び物品取扱主任等の処理すべき事務に関すること。
- ⑤ 瀬戸市契約規則（昭和40年瀬戸市規則第18号）に規定する契約担当者の処理すべき事務に関すること。

(2) 教育委員会が市長部局の交流活力部の職員に補助執行させる事務

- ① 青少年教育、成人教育、その他社会教育に関すること。
- ② スポーツに関すること。
- ③ 文化財の保護に関すること。
- ④ 公民館の事業に関すること。
- ⑤ 前各号に係る教育財産の管理に関すること。

(3) 教育委員会が市長部局の市民課及び支所に属する職員に補助執行させる事務

- ① 住民の異動に伴う就学通知書、入学通知書、学齢児童生徒市外転出通知書及び学齢児童生徒市内異動通知書の交付に関すること。（ただし、通学区域外入学に係るものを除く。）

5 歴代教育委員(教育長を除く)

平成27年4月1日現在

氏名	在職期間	在職年月数	氏名	在職期間	在職年月数
(公)松原明道	昭和27年11月～昭和31年9月	3年11月	後藤公彦	昭和57年10月～昭和61年9月	4年
(公)早川富次郎	昭和27年11月～昭和31年9月	3年11月	加藤伸也	昭和58年10月～昭和62年9月	4年
(公)藤井吉久	昭和27年11月～昭和31年9月	3年11月	山内敏平	昭和59年10月～昭和63年9月	4年
(公)稲垣信夫	昭和27年11月～昭和31年9月	3年11月	磯村範良	昭和60年10月～平成元年9月	4年
加藤三郎	昭和27年11月～昭和28年9月	11月	加藤悦郎	昭和61年10月～平成2年9月	4年
伊藤陶彦	昭和28年6月～昭和29年6月	1年	竹田竜弥	昭和62年10月～平成3年9月	4年
加藤通之助	昭和29年6月～昭和30年6月	1年	鈴木逸夫	昭和63年10月～平成4年9月	4年
伊藤義雄	昭和30年2月～昭和31年9月	1年8月	林春治	平成元年10月～平成5年9月	4年
村上力男	昭和30年6月～昭和31年6月	1年	山城浩平	平成2年10月～平成6年9月	4年
矢野千代太	昭和31年6月～昭和31年9月	4月	大竹保枝	平成3年10月～平成7年9月	4年
松原恒	昭和31年10月～昭和33年9月	2年	余語彦次	平成4年10月～平成8年9月	4年
加藤昇次	昭和31年10月～昭和34年9月	3年	松原肇	平成5年10月～平成9年9月	4年
加藤秋子	昭和31年10月～昭和35年9月	4年	小野義弘	平成6年10月～平成10年9月	4年
加古徳次	昭和31年10月～昭和36年9月	5年	勝谷哲次	平成7年10月～平成11年9月	4年
加藤元資	昭和33年10月～昭和37年9月	4年	鈴木政成	平成8年10月～平成12年9月	4年
小野廉二	昭和34年10月～昭和38年9月	4年	加藤唐三郎	平成9年10月～平成13年9月	4年
篠瀬実	昭和35年10月～昭和39年9月	4年	梅村和子	平成10年10月～平成14年9月	4年
荒川安吉	昭和36年10月～昭和40年9月	4年	野田正治	平成11年10月～平成15年9月*	4年
柴田善右工門	昭和37年10月～昭和41年9月	4年	大竹良太	平成12年10月～平成16年9月	4年
加藤敏子	昭和38年10月～昭和42年9月	4年	加藤定江	平成13年10月～平成17年9月	4年
加藤政良	昭和39年10月～昭和43年9月	4年	加藤令吉	平成14年10月～平成18年9月	4年
加藤作助	昭和40年10月～昭和44年9月	4年	伊藤保徳	平成15年10月～平成19年9月	4年
大橋惣二	昭和41年10月～昭和45年9月	4年	松本哲也	平成16年10月～平成20年9月	4年
後藤八郎	昭和42年10月～昭和46年9月	4年	松本高典	平成17年10月～平成21年9月	4年
水野正司	昭和43年10月～昭和47年9月	4年	加藤恵子	平成18年10月～平成22年9月	4年
加藤正夫	昭和44年10月～昭和45年4月	7月	加藤陽一	平成19年10月～平成23年9月	4年
水野悦郎	昭和45年5月～昭和48年9月	3年5月	(再)野田正治	平成20年10月～平成23年9月 *平成11年10月～平成15年9月	3年*4年
江尻守鉅	昭和45年10月～昭和49年9月	4年	中島道代	平成20年10月～平成24年9月	4年
川本三明	昭和46年10月～昭和50年9月	4年	刑部祐介	平成20年10月～平成24年9月	4年
加藤光哉	昭和47年10月～昭和51年9月	4年	鈴木眞史	平成21年10月～平成25年9月	4年
加藤晃	昭和48年10月～昭和52年9月	4年	上川和子	平成22年10月～平成26年9月	4年
加藤鈔	昭和49年10月～昭和53年9月	4年	水野教雄	平成23年10月～	3年6月
加藤俊明	昭和50年10月～昭和54年9月	4年	加藤雅人	平成23年10月～	3年6月
荒井洋	昭和51年10月～昭和55年9月	4年	梶田俊裕	平成24年10月～	2年6月
加藤英彦	昭和52年10月～昭和56年9月	4年	松本恵美子	平成24年10月～	2年6月
伊藤純一郎	昭和53年10月～昭和57年9月	4年	加藤高明	平成25年10月～	1年6月
塚田佳男	昭和54年10月～昭和58年9月	4年	加藤智子	平成26年10月～	6月
加藤隆夫	昭和55年10月～昭和59年9月	4年			
増岡錦也	昭和56年10月～昭和60年9月	4年			

6 歴代教育長

平成27年4月1日現在

氏名	在職期間	在職年月数
山田 栄(代理)	昭和27年11月～昭和27年12月	2月
伊藤 一雄	昭和28年1月～昭和32年5月	4年5月
相原 邦雄	昭和32年6月～昭和43年9月	11年4月
松浦 正雄	昭和43年10月～昭和52年3月	8年6月
加藤 朋也	昭和52年4月～昭和55年3月	3年0月
加藤 春夫	昭和55年4月～平成2年3月	10年0月
加藤 浩松	平成2年4月～平成11年3月	9年0月
大澤 義洋	平成11年4月～平成24年3月	13年0月
深見 和博	平成24年4月～	3年0月



<深見 和博 教育長>

7 教育財政

(1)平成27年度一般会計予算

(単位:千円)

歳 入			歳 出		
款	金額	割合	款	金額	割合
1 市税	17,564,181	50.3%	1 議会費	358,092	1.0%
2 地方譲与税	280,000	0.8%	2 総務費	5,844,465	16.7%
3 利子割交付金	48,000	0.1%	3 民生費	15,074,914	43.2%
4 配当割交付金	133,000	0.4%	4 衛生費	3,644,698	10.4%
5 株式等譲渡所得割交付金	20,000	0.1%	5 労働費	2,775	0.0%
6 地方消費税交付金	2,164,000	6.2%	6 農林水産業費	197,562	0.6%
7 ゴルフ場利用税交付金	40,000	0.1%	7 商工費	723,211	2.1%
8 自動車取得税交付金	70,000	0.2%	8 土木費	3,017,367	8.6%
9 地方特例交付金	94,000	0.3%	9 消防費	1,299,809	3.7%
10 地方交付税	2,582,000	7.4%	10 教育費	2,526,097	7.2%
11 交通安全対策特別交付金	20,000	0.1%	11 災害復旧費	8	0.0%
12 分担金及び負担金	240,722	0.7%	12 公債費	2,181,002	6.2%
13 使用料及び手数料	754,951	2.2%	13 予備費	50,000	0.1%
14 国庫支出金	4,656,337	13.3%			
15 県支出金	2,394,152	6.9%			
16 財産収入	490,747	1.4%			
17 寄附金	1	0.0%			
18 繰入金	1,303,477	3.7%			
19 繰越金	1	0.0%			
20 諸収入	590,031	1.7%			
21 市債	1,474,400	4.2%			
合 計	34,920,000	100.0%	合 計	34,920,000	100.0%

(2)一般会計と教育費の推移

(単位:百万円)

年 度	19	20	21	22	23	24	25	26	27
一般会計総額(A)	30,600	30,450	30,810	32,340	32,750	32,300	33,210	36,260	34,920
教育費(B)	3,094	3,008	3,374	2,859	2,813	2,467	2,678	2,286	2,526
(B)/(A)	10.1%	9.9%	11.0%	8.8%	8.6%	7.6%	8.1%	6.3%	7.2%

(3)教育予算(歳出)の内訳

(単位:千円)

項 目	27年度	26年度	比較増減	前年比
1 教育総務費	370,116	294,495	75,621	125.7%
1 教育委員会費	2,897	2,889	8	100.3%
2 事務局費	125,394	81,175	44,219	154.5%
3 教育指導費	241,825	210,431	31,394	114.9%
2 小学校費	555,948	672,852	△ 116,904	82.6%
1 学校管理費	468,730	467,433	1,297	100.3%
2 教育振興費	45,059	45,449	△ 390	99.1%
3 学校建設費	42,159	159,970	△ 117,811	26.4%
3 中学校費	350,042	333,804	16,238	104.9%
1 学校管理費	222,099	214,663	7,436	103.5%
2 教育振興費	43,383	42,396	987	102.3%
3 学校建設費	84,560	76,745	7,815	110.2%
4 特別支援学校費	35,146	33,789	1,357	104.0%
1 特別支援学校費	35,146	33,789	1,357	104.0%
5 社会教育費	207,533	206,759	774	100.4%
1 社会教育総務費	1,132	951	181	119.0%
2 地区公民館費	71,534	69,517	2,017	102.9%
3 図書館費	133,771	135,003	△ 1,232	99.1%
4 視聴覚費	1,096	1,288	△ 192	85.1%
6 保健体育費	1,007,312	744,593	262,719	135.3%
1 保健総務費	102,549	99,019	3,530	103.6%
2 体育総務費	27,291	26,574	717	102.7%
3 体育施設費	333,211	114,686	218,525	290.5%
4 学校給食総務費	60,323	56,409	3,914	106.9%
5 学校給食センター	144,187	138,794	5,393	103.9%
6 学校給食単独校費	314,128	283,278	30,850	110.9%
7 野外活動センター費	25,623	25,833	△ 210	99.2%
合 計	2,526,097	2,286,292	239,805	110.5%

8 瀬戸市教育アクションプラン

瀬戸市教育委員会では、瀬戸市の教育の四半世紀先の未来を見通し、行政や市民、また互いに協力して取り組むべきことを示した「瀬戸市教育アクションプラン」を策定しました。

この計画を策定するにあたっては、基本理念を示し、これからの瀬戸の教育のあり方について「瀬戸の教育を創造する市民会議」に諮問し、「瀬戸市の教育ビジョンについて」答申を受けました。

そして、この答申を具現化するため、アンケートやインターネットでご意見を頂き、また市民との討議を重ね、その行動計画として、「子どもの教育分野」と「市民の学習・活動支援分野」について、具体的な施策に反映いたしました。

(1) 基本理念

瀬戸市のすべての子どもたちが「瀬戸で学んでよかった」
すべての親たちが「我が子を瀬戸で育ててよかった」
すべての市民が「瀬戸で生きてよかった」

(2) アクションプラン策定の経緯と位置づけ及び今後

① アクションプラン策定経緯 —市民とともに議論を深め、策定—

アクションプランを策定するにあたっては、平成13年度から平成17年度にかけて、諮問機関である「瀬戸の教育を創造する市民会議」での議論、教育についてのアンケート調査、市民との懇談会や意見交換等を経て、最終的に同市民会議より「瀬戸市の教育ビジョン」の答申を受けました。この答申を基本として、第5次総合計画の教育分野市民委員会の意見も反映させながら、プランを策定しました。

② アクションプランの位置づけ —四半世紀を見通した行動計画—

アクションプランは、瀬戸市の教育の四半世紀先の未来を見通し、行政が取り組むべきこと、市民にお願いすべきこと、互いに協力して取り組むべきことを示した計画書です。

事業は、平成18年度を初年度とし、20年度までを第1期、21年度から23年度までを第2期、24年度から27年度までを第3期、その後の中長期的に取り組むべき期間を第4期として進行管理をすることとしており、21年度、23年度にはこの進行管理に基づき、それぞれ見直しを行っています。

③ 計画の今後 —時代を見据え進化した計画へ—

アクションプランでは、平成27年度で施行から10年を迎えることとなります。これまでの年月の経過の中で、教育を取り巻く環境は少なからず変化してきており、瀬戸市の教育も当然にそれら変化に対応していく必要があります。そこで、次代を見据え進化したアクションプランとするため、平成28年度から「第2次瀬戸市教育アクションプラン」を施行する予定であり、基本理念を継承しながら、現在、策定作業を進めているところです。

(3) 施策 — 子どもの教育分野 (学校教育分野) —

○目指す子どもの姿

<p>明日の教育創造のために</p> <p>*** 豊かな人間性と自ら学ぶ力のある子が育っている ***</p> <p>(体育) <u>健康な体に育っている</u> いのちを尊び、心や体を鍛え、たくましく生きる力を養う</p> <p>(徳育) <u>豊かな人間性と社会性を備えている</u> 礼節を重んじ、自らを律し、他とともに心豊かな生活を築く態度を養う</p> <p>(知育) <u>自ら学ぶ意欲が旺盛で、確かな基礎学力を身につけている</u> 自ら学び、深く考え、主体的に行動する力を養う</p>

○ 市民との協働による推進 — 市民と役割分担 —

<p>■行政・学校</p> <ul style="list-style-type: none">・ 基礎基本を大切に、個を伸ばす教育活動・ 心と体の健康と安全の確保・ 家庭・学校・地域ぐるみの子育て活動の支援・ 学校の経営の充実・ 学習環境・施設の充実	<p>■市民</p> <p>○家庭</p> <ul style="list-style-type: none">・ 子どもが安らぎ、満足して過ごす家庭づくり・ 基本的な生活習慣の定着、しつけの実施・ 子どもの成長に応じた自立支援 <p>○地域住民・各種団体・企業等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 様々な自然・文化・社会の体験の場づくり・ 家庭の子育て支援、学校の教育活動への協力
--	---

○瀬戸にふさわしい教育を推進するための取り組み

<p>[1] 地域ぐるみの子育て ○地域で輝いている人 ○地域に見守られる学校 ○地域との共同利用</p> <p>[2] 豊かな体験活動と交流 ○やきもの ○国際理解・福祉 ○外で遊ぼう ○食育 ○モアスクール</p> <p>[3] 社会を担う市民の育成 ○福祉教育 ○自らの生き方を追求する子どもの育成</p> <p>[4] 環境を重視したまちづくり ○環境教育 ○環境を考慮した施設整備</p> <p>[5] 学校経営の充実 ○指導方法の改善 ○開かれた教育委員会・学校</p>

① 学習指導の推進

※：平成26年度点検・評価の対象とする主要事業

主な施策	事業名
1. 確かな学力の定着	(1) 基礎学力の定着 ※ (2) 自ら学び自ら考える力の育成 (3) 確かな学力についての検証・指導方法の改善
2. 瀬戸らしさを生かした特色ある教育づくりの推進	(4) 未来創造事業 ※ (5) 環境教育 (6) やきもの文化を教材とした学習
3. これからの社会で活躍する子どもの育成	(7) 国際理解教育 ※ (8) 情報分析能力の育成 (9) 福祉教育
4. 自らの生き方を追求する子どもの育成	(10) 地域で輝いている人の招聘 ※ (11) 経済活動体験 (12) 生き方をはぐくむ生徒指導

② きめ細やかな教育の推進

主な施策	事業名
1. 個別指導体制の充実	(13) 少人数指導の推進
2. 特別支援教育の充実	(14) 特別支援体制の整備 (15) 専門機関など幅広いネットワークの育成と確立 (16) 養護学校の設立 ※ 平成26年4月より、養護学校の名称を特別支援学校に変更
3. いじめ・不登校・暴力行為等への対応	(17) いじめ防止対策の徹底 (18) 適応指導教室
4. 外国人児童生徒の教育	(19) 保護者とのコミュニケーションの向上 (20) 児童生徒への日本語教室の充実

③ 心と体の健康と安全の確保

主な施策	事業名
1. 心の教育の充実	(21) 道徳教育 (22) 心の居場所づくり推進活動の充実
2. 健康の維持・向上	(23) 規則正しい生活習慣の定着 (24) 性教育 (25) 外で遊ぼうキャンペーン
3. 楽しい学校給食	(26) 食育の推進 ※ (27) 選ぶことができる給食
4. 安全の確保	(28) 防犯訓練・防災訓練 (29) 危険箇所の点検・整備 (30) 通学路の整備 (31) 地域に見守られる学校づくり ※

④ 家庭・学校・地域ぐるみの子育て活動の支援

主な施策	事業名
1. 開かれた教育委員会・学校づくり	(32)まるっとせとっ子フェスタ ※ (33)学校別地区懇談会 (34)情報公開の推進 (35)学校公開
2. 家庭教育・幼児教育の充実	(36)子育て支援拠点化の促進 ※ (37)家庭教育の推進 ※ (38)家庭教育の支援者育成
3. 青少年の健全育成	(39)少年センターと連携した地域における健全育成複合団体の組織化 (40)放課後支援 ※ (41)総合型地域スポーツクラブ (42)学校サポーター ※

⑤ 学校経営の充実

主な施策	事業名
1. 学校の経営体制の充実	(43)校長の裁量権の拡大 (44)学校評議員 (45)学校評価 ※
2. 教職員の適正な配置と評価	(46)教員の業務の効率化 (47)教職員の人員の増加 (48)人事考課制度の充実 (49)教職員のフリー・エージェント制
3. 教育の研究・研修機能の充実	(50)教育実践総合研究・開発支援センター (51)ティーチャーズ・アカデミー (52)教職員インターンシップ制度
4. 子育て・教育機関の連携強化	(53)保育園・幼稚園・小学校の連携 (54)小中一貫・連携教育 ※

⑥ 学習環境・施設の充実

主な施策	事業名
1. 安心・安全な教育環境づくり	(55)学校施設の耐震性等の向上 ※ (56)学校施設の計画的な改築・改修 ※ (57)衛生的な調理施設と効率的な運営による学校給食の推進 ※ (58)民間活力の導入
2. 誰もが充実した教育を受ける環境づくり	(59)隣接学校選択制 ※ (60)小学校の適正規模・適正配置 (61)バリアフリーの推進
3. 社会の変化に即した学校設備整備と有効活用	(62)情報システムの導入・機器の定期的な更新 (63)学校図書館と市立図書館の連携 ※ (64)環境を考慮した学校施設の整備と運営 (65)地域との共同利用を想定した施設づくり

(4) 施策 — 市民の学習・活動支援分野（生涯学習分野） —

生涯学習社会とは

必要なときや、学びたいと思ったときに、学ぶ場が豊富にあり、その中で自分に合ったものを選んで、助言を受けたり、様々な人と協力して学ぶことができ、その成果を活用したり、評価されたり、様々な人に伝えたりすることができる社会です。

目指すこと

市民が瀬戸の「どこか」で「何か」に、主体的に「参加」する、そして「創る」「行動する」に変革していくことを支えることが、生涯学習行政の目的です。そして、瀬戸で生きる市民がともに学び合いながら、「瀬戸で生きてよかった」と実感し、共有するまちを目指します。

○市民との協働による推進 — 市民と役割分担 —

<p>■行政</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な学習環境の充実 ・専門的な学習・研究活動の支援 ・男女共同参画社会、青少年の健全育成の推進 ・市民活動の支援 ・公共施設の機能充実・利活用 	<p>■市民・各種団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民 <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・積極的な生涯学習の実施 ・助け合い、社会参加・社会貢献の実践 ○各種団体 <ul style="list-style-type: none"> ・市民の学習・活動の機会を提供 ・学習・活動で、学び合い、助け合いを促進 ・学習・活動の地域への公開、成果を地域に還元
--	---

① 身近な学習環境の充実

※平成26年度点検・評価の対象とする主要事業

主な施策	事業名
1. 学習環境の充実	(66)オープンキャンパス（学びキャンパス） ※ (67)講座・学習機会の充実 (68)講座等の情報のとりまとめ・情報提供
2. スポーツ環境の充実	(69)総合型地域スポーツクラブ設立の支援 ※ (70)スポーツ教室の充実

② 専門的な学習・研究活動の支援

主な施策	事業名
1. 大学や研究機関等との連携	(71)大学コンソーシアムせととの連携 (96)大学との連携 ※第2期からの新規事業
2. 文化財の研究・保全	(72)文化財の指定・保存 (73)幅広い文化財の記録・継承支援 (74)文化財の普及・啓発

③ 男女共同参画社会の実現

主な施策	事業名
1. 男女共同参画社会に向けた取り組みの推進	(75)トライアングルプランの推進 (76)政策・方針決定への男女共同参画 (77)市管理職への女性登用の促進

④ 市民活動の支援

主な施策	事業名
1. 指導者やボランティアの登録・育成	(78)生涯学習市民講師リストの充実・活用 (79)スポーツ指導員バンクの設立 (80)リーダーへのサポート体制の充実

⑤ 公共施設の機能充実・利活用

主な施策	事業名
1. 公民館	(82)市民活動拠点機能の向上 (83)地域の情報拠点機能の向上
2. マルチメディア伝承工芸館	(84)染付研修所の運営 (85)名品展など啓発事業の実施
3. 図書館	(86)図書館ネットワークの充実 ※ (87)図書館サポーター等の育成 ※ (88)中央図書館の整備
4. 体育施設	(89)学校の体育施設の活用・機能強化 (90)スポーツ施設の計画的更新・改修
5. 各種施設の利活用等	(91)市民参画による事業の「企画－運営－評価－改善」※ (92)公共施設の高度情報化 (93)モアスクールの実施

⑥ 子どもの健全育成

主な施策	事業名
1. 家庭・地域における健全育成の推進	(94)家庭教育の推進 (95)地域における健全育成複合団体の組織化 ※

9 瀬戸市教育アクションプラン推進会議

平成18年6月に「瀬戸市教育アクションプラン推進会議（以下、「推進会議」）」を発足しました。推進会議は、「瀬戸市教育アクションプラン」の策定及び進捗状況の把握と各施策の進行管理を行うことを目的としています。

委員については、市民、行政、そしてお互いに協力して取り組むために、これまで計画の策定に携わってこられた方々や、市民との対話が一層促進されるよう、次の方々に委嘱しています。

【*名簿については平成27年5月1日現在を掲載しております。】

委嘱委員	氏 名	職 名
会 長	木村 光伸	名古屋学院大学国際文化学部長 教授、 元瀬戸の教育を創造する市民会議会長
副 会 長	矢野 桂子	水南公民館長
委 員	鶴飼 弘富	元第5次瀬戸市総合計画教育委員会分野別市民委員会委員
〃	福岡 明	元校長会会長、元愛知県尾張教育事務所特別支援教育指導員
〃	和佐田 強	学校法人光和学園瀬戸幼稚園園長
〃	藤崎 則子	瀬戸市立小中学校PTA連絡協議会母親代表
〃	栗原 幸宏	瀬戸市立祖母懐小学校長
〃	石河 光章	瀬戸市品野台小学校教頭
〃	福留 正康	瀬戸市八幡小学校教務主任
〃	水野 教雄	教育委員会委員長
〃	松本 恵美子	教育委員会委員長職務代理者
〃	深見 和博	教育委員会教育長

オブザーバー	氏 名	職 名
〃	加藤 泰	瀬戸市教育委員会事務局教育部長
〃	藤井 邦彦	瀬戸市交流活力部交流学び課長
〃	山崎 康永	瀬戸市健康福祉部こども家庭課長

平成26年度は同推進会議を4回開催し、本市の教育を取り巻く環境やプランの進捗状況を把握しながら、的確な教育行政を推進するための意見交換を行うとともに、本年度策定予定の「第2次瀬戸市教育アクションプラン」に係るアンケート調査を実施し、その結果について共有し、今後の方向性等について、活発な議論が交わされました。

- (1) 第25回(6月2日開催)の主な議題
 - ・第2次教育アクションプランの策定の概要について
- (2) 第26回(7月22日開催)の主な議題
 - ・アンケート調査実施に係る設問等について
 - ・瀬戸市教育委員会の自己点検・評価報告書案について
- (3) 第27回(10月22日開催)の主な議題
 - ・アンケート調査に係る中間報告について
- (4) 第28回(2月19日開催)の主な議題
 - ・アンケート調査に係る結果報告(案)について
 - ・瀬戸市教育アクションプランの総括について

Ⅱ 学 校 教 育

1 瀬戸の学校教育でめざすもの

(1) 基本方針

瀬戸市の教育アクションプランの具現化に向けて、学校が地域と連携しながら主体的・創造的に特色を生かした教育を進めることで、児童生徒が生涯にわたり、人間としての成長と発達を続けていく基盤となる力を養うとともに、自分の住む町や社会の活性化と発展をめざす人づくりを目標とする。

学校教育関係では、すべての子どもたちが「瀬戸で学んでよかった。」すべての親たちが「我が子を瀬戸で育ててよかった。」と実感できる教育の実現を基本理念とする。各学校が目標実現のために、児童生徒の個性を尊重し、地域に根ざした特色ある学校づくりを進める中で、新たな瀬戸の教育の創造と展開を図る。

(2) 「瀬戸市教育アクションプラン」でめざす児童生徒像・教師像

① めざす児童生徒像

◇豊かな人間性と自ら学ぶ力のある子◇

- いのちを尊び、心や体を鍛え、たくましく生きる力を養う。
- 礼節を重んじ、自らを律し、他とともに心豊かな生活を築く態度を養う。
- 自ら学び、深く考え、主体的に行動する力を養う。

② めざす教師像

- 教育愛と情熱をもって、使命を全うする教師
- 常に研修に努め、教育への見識を高め、社会的視野を広げるなど研鑽に努める教師
- 一人一人の個性を生かし、思いやりの心をもった教師
- 各々の立場や責任を理解し合い、協調し合う教師
- 社会の変化に対応できる教師

(3) 「生き抜く力」の育成

① 「生き抜く力」の内容

- 夢や希望をもち、その実現に向けて限らない努力をすること
- 失敗や挫折があっても簡単にくじけたり逃げたりしない心の強さをもつこと
- まわりの人への思いやりをもち、互いに支え合うことができること

② 「生きる力」の内容

- 知識や技能に加え、学ぶ意欲や、自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力
- 自らを律しつつ、他人とともに強調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性
- たくましく生きるための健康や体力

(4) 学習指導要領の理念の実現

① 学習指導要領の基本方針

- 教育基本法改正法等で明確になった教育の理念を踏まえ「生きる力」（確かな学力・豊かな心・健やかな体）育成すること。
- 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視すること。
- 道徳教育や学校体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成すること。

② 「確かな学力」の内容

【学ぼうとする力】…関心・意欲・態度

【学ぶための力】…基礎的・基本的な知識・技能の習得

【学ぶ力】…課題発見・解決能力、思考力・判断力・表現力等

(5) いじめ・不登校の克服

いじめ・不登校の未然防止に努め、児童生徒が元気で明るく学び、「たくましく生きぬく力」を育むことができるよう、強い決意で取り組む。すべての児童生徒が「自分はかけがえのない存在」と実感できる学校・学級づくりを実現させる。また、「いじめ・不登校の早期発見・早期対応、ネットワークづくり」の姿勢の下、「地域とともに歩む学校づくり」を進めながら、市・学校・家庭や地域・関係機関などとの連携に取り組む。

① いじめ・不登校の対応

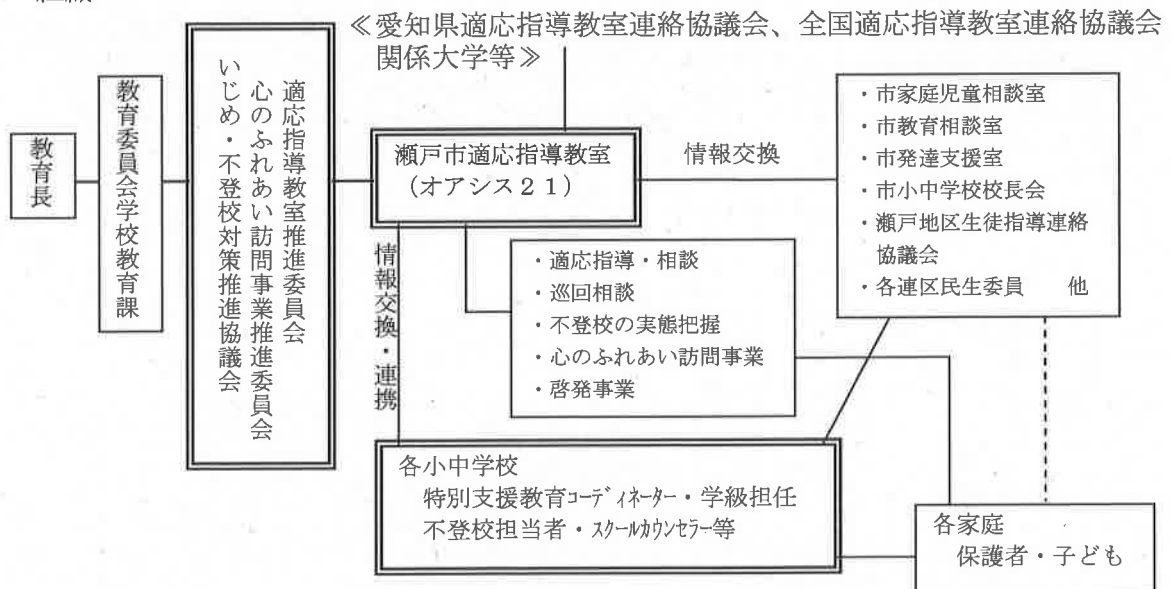
- 早期発見と早期対応
児童生徒の発する小さなサインを見逃さないこと、児童生徒理解及び児童生徒・保護者との信頼関係構築、関係機関との連携・相互協力及び補完
- いじめ・不登校対策委員会を中心とした組織的な指導体制の構築
指導方針の共通理解と役割分担による迅速な対応
ブロック別懇談会において、ブロック内の組織強化や小中・小小連携を構築
学校種を越えた連携と情報の共有、小中の学校間移行・学年移行の円滑化
- 開発的・予防的指導の充実
いじめを絶対に許さないという教職員の意識と学校・学級づくり
学級集団アセスメント(Q-U)を活用した、温かい人間関係づくりや望ましい学級づくり
児童生徒同士の心の結びつきを深め社会性を育む教育活動推進
社会的自立に向け児童生徒が自らの進路を主体的に形成していくための支援

② 適応指導教室（通称「オアシス21」）

ア 適応指導教室事業方針

- ・ 「不登校」児童生徒への対応は、教育問題としてだけでなく、人生の方向性を見出させるうえでも依然大きな社会問題である。集団生活になじめない、心病んでいる不登校の児童生徒を対象に、特別に配慮した指導を行うことによって、当該児童生徒の自立を促し、学校生活及び社会生活への復帰を支援する。
- ・ 適応指導教室運営を中心にしつつ、不登校に関する諸活動を展開することによって、不登校に関する支援センターとしての機能を充実する。

イ 組織



ウ 適応指導教室の事業内容

- 通級適応指導・相談
 - ・ 通級適応指導 … 適応指導教室での通級指導
オアシスメイトによる「ひきこもり」「不登校」児童生徒とのふれあい活動
 - ・ 適応相談 … 不登校に関する常時相談（所長対応：電話相談・来所相談）
- 巡回相談
 - ・ オアシス相談 … オアシス21での面接相談 年45日
 - ・ 学校巡回相談 … 15小学校へ出向いての面接相談 年15日
 - ・ 保護者懇談会 … 不登校児童生徒の保護者懇談会としての相談会 学期1回
- 調査・研究
 - ・ 市教育委員会へ報告された長欠児童生徒の資料整理、巡回による実態調査
- 啓発事業
 - ・ 教職員啓発 … 適応指導教室の参観・不登校担当者会等による啓発
 - ・ 保護者啓発 … 適応指導教室からの通信「オアシス21」の発行、懇談会による啓発等

エ 通級適応指導教室の具体的運営

- 目的
不登校の児童生徒を対象にして、相談・指導を行うことにより、学校生活および社会生活への復帰を支援する。

運営方針	<ul style="list-style-type: none">・ 「学校復帰」を第1目標として支援する・ 「毎日」「提示」を目標とさせ、通所時刻は、本人と話し合っ決めて・ 単に学校復帰でなく、今後の生き方・考え方の「自立支援」をする・ フリースクールではない
------	---

指導方針	<ul style="list-style-type: none">・ 自ら行動を起こさせる働きかけを大切にする・ 支持を避け、質問を待つ・ 焦らず、意思決定を待つ
------	--

- 設置場所
平成7年10月、瀬戸市体育館2階に仮施設として開設した。平成8年度末移転を完了し、平成9年4月より瀬戸市福祉健康センター（やすらぎ会館）2階に設置。
- 通級対象者
様々な理由により、学校に行けていない状態にある市内小中学校の児童生徒で、本人及び保護者が通級を希望し、学校から申請のあった者。
- 通級指導担当者
瀬戸市適応指導教室指導員、ボランティア活動のオアシスメイト
- 開設日時
毎日。月曜日から金曜日まで。瀬戸市内小中学校の学期に準じる。
 - ・ 通級適応指導 … 午前9時00分 ～ 午後3時00分
 - ・ 不登校相談 … 午前9時00分 ～ 午後5時00分
- 適応指導教室への通級・入級について
 - ・ 通級・入級についての主体的な指導は、学校側があたる。
 - ・ 親子での見学・体験通級を経て、仮入級・正式入級とする。

- ・ 通級時間・通級日等については、本人の意思を確認して決める。
 - ・ 正式入級にあたっては、保護者が学校と十分話し合い、学校長から所定の申請書を提出する。
- その他
- ・ 適応指導教室での指導中、あるいは通級途上の事故については、独立法人日本スポーツ振興センターを適用する。
 - ・ 通級した日は、学校長の判断で、学校での出席扱いとする。

オ 平成26年度活動報告

○ 適応指導教室の日課

- ・ 通年の基本日課（夏休み中と3月末は別日課）
午前中は「個別学習」、午後は「体験活動」を通年の基本形としている。
午前中は個別学習の時間《チャレンジタイム》として、通級生個々の能力・学力に応じた学習活動を支援している。午後の体験活動は《オアシスタイム》と呼んで、仲間と一緒に活動することを通して、分担・協力を学ばせる場としている。

	9:00	12:00	13:00	15:00
月曜 ～ 金曜	《チャレンジタイム》 個別活動（教科の学習活動） ・小学生＝国語・算数 ・中学生＝国語・数学・英語 （その他の教科の選択可能）	昼食 自由時間	《オアシスタイム》 集団活動（ふれあい活動） ・テニス ・バドミントン ・読書 ・室内ゲーム ・手芸 ・お菓子づくり ・畑作業 ・栽培活動 など	

・ 8月の日課

	9:00	12:00
月曜 ～ 金曜	《オアシスサマー21》 個別活動（個人進度による） ・小学生＝国語・算数 ・中学生＝国語・数学・英語	

- ※ 夏休み中は、《オアシスサマー21》として、学力補充を目的に、午前中を中心に22日間実施した。
- ※ 参加は個人の自由意思とした。
- ※ 基本的には、現在の通級生を対象としたが、希望があればこの期間のみの通級生も受け付けた。
- ※ 夏季休業中にオアシスキャンプを実施することもある。

・ 3月の日課

	9:00	12:00	13:00	15:00
月曜 ～ 金曜	《チャレンジタイム》 個別活動（教科の学習活動） ・小学生＝国語・算数 ・中学生＝国語・数学・英語 （個人的には社会・理科も可）	昼食 自由時間	《チャレンジタイム》 午前中の個別学習の延長 * 4月からの学校復帰をめざす通級生の学習と生活リズムを支援する活動。	

○ 適応指導教室の活動内容

【通級・在籍の状況】

26年度のオアシス登録・通級者は27名で、内訳は右図のようである。オアシスでの登録・通級人数は4月から1日でも通級実績のある児童生徒をカウントしている。したがってこの人数の中には、4月に新しい学級に溶け込めて登校できた子、修学旅行をきっかけに登校をめざした子、約束の通級期間が終わって学校に戻っていった小学生なども含まれている。

26年度は4月4日が中学校入学式始業式、6日が小学校入学式でスタートした。学年末に学校に行けていても行けていなくても、子どもたちはそれぞれに4月からの新しい学年・学級になることへの期待を胸に秘めている。

〔26年度登録・通級人数〕

学年	男子	女子	計
中3	8	4	12
中2	2	8	10
中1	1	2	3
小6	0	0	0
小5	1	0	1
小4	0	0	0
小3	0	0	0
小2	1	0	1
小1	0	0	0
計	13	14	27

【入級指導と指導の実態】

26年度オアシスに登録・通級できた児童生徒は27名であった。この数は瀬戸市小中学校の長期欠席者の約1割にあたる。

オアシスに見学に行った、通級するからと言って長く休んでいた児童生徒が次の日から「毎日」通てくることができると考えることには無理がある。それぞれの児童生徒に応じて「10時に来れるようにしよう」「しばらくは午前中だけ」と本人の意思を尊重した通い方を決めて対応してきた。

正式入級の手続きは通うようになってすぐではなく、その子の通級状況を観察しながら進めているので、来たり来なかつたりしているうちに体験入学が長くなり、体験入学扱いのままの児童生徒もいる。

〔26年度オアシス見学者〕

学年	男子	女子	うち通級者
中3	4	1	3
中2	1	12	7
中1	1	2	2
小6	1		
小5	2	1	1
小4		1	
小3			
小2	1		1
小1			

【適応の状況】

26年度は年度始め・年度途中で10名が学校復帰もしくは何らかの形で学校に近づこうと行動することができた。オアシスに順調に通えていたからといって、翌日から通常通り学校に通えるようになるものではない。学校に行けていなかった理由は子どもそれぞれであるが、気持ち的にその一歩が踏み出せない子たちもいる。26年度は学校復帰をさせる前に、学校・担任と連絡を取りながら「練習登校」の期間や機会を設定することを試みた。

【適応指導教室での生活・体験活動】

オアシスの活動は、午前中の個別学習と午後の体験活動に大別できる。

体験活動は、「オアシスタイム」で取り組む活動と、年間行事に組み込んだ行事がある。家から出られない、学校に行けていない子どもたちだからこそ、体力をつける、体験させる、仲間と一緒に行動・体験が必要である。子どもたちが自らの意思で行動する意味は大きい。どの行事・活動についても、参加人数の確定は直前・当日まで難しいが、「毎日」通級できるようになってくると、指導員の「明日は必ず遅れないように…」の声かけに応じて行動できる子どもが増え、参加率も向上した。

(6) 子どもの創造性を伸ばし、未来を切り拓く力を育む力の育成【未来創造事業】

各学校が子どもの実態や地域の特色を生かし、創意工夫して主体的・創造的な教育活動を展開し、子どもたち一人一人の未来を切り拓く「生きる力」、「生き抜く力」を育む。
 <環境教育 国際理解教育 キャリア教育 食育 福祉教育 自然体験 地域学習等>

【環境学習】

市天然記念物である学校のマメナシを1年生から6年生まで系統のかつ横断的に学習し、環境保護の実践体験を行っている。

地域の「マメナシ観察会」のみなさんと一緒に世界の環境問題を考えることができた。(写真は、2年生の学習会)



【国際理解教育】

オーストラリア、ニュージーランドの学校と友好提携し、相互訪問活動を通し、国際交流活動を行っている。

訪問を受け入れた場合は、全校生徒がふれあえるよう工夫をし、訪問した場合には、帰国後、文化祭等で報告会を行い、全校生徒が共有できるようにしている。



オーストラリア ビクトリア州
ロウビル・セカンダリー・カレッジの生徒との授業



ニュージーランド バルモラル校
の生徒との書写

ニュージーランド
ワイコウワイ中学校
での交流



帰国後
の文化祭
での報告
会の様子

【福祉教育】

障害のある方への理解を深めるため、実際にお話を聞いたり、自分で体験した。アイマスクをしての授業では、実際に階段の上り下りをしたり、また、それらの児童に付き添ったりすることにより、どう支援していくのかも同時に学ぶことができた。



実際に車いすに乗っての体験

アイマスクをしての授業



【合同活動】

中学校1校、小学校3校及び特別支援学校1校の5校児童生徒による小中特別支援学校合同ユートピアプラン。中学校1年生が、同学区内の小学校及び特別支援学校の児童生徒と合同で、地域美化活動を行った。



(7) 保護者・地域への発信、市民・関係団体との連携【まるっとせとっ子フェスタ】

① ねらい

瀬戸市在住・在学の子どもたちが、日頃の学習の成果を発表する場として、毎年11月に「まるっとせとっ子フェスタ」を開催している。このフェスタは、子どもたち同士、また、子どもたちと市民の方が交流し、つながりと信頼を深める場でもある。

子どもたちが元気いっぱい活動する様子をご覧いただき、瀬戸の学校、瀬戸の教育について、ご理解を深めていただきたいとの思いで、企画・運営している。

② 内容

ア セとっ子音楽会

瀬戸市内にある学校が、日頃練習してきた歌や合奏の成果を発表し、保護者や地域の皆様に聴いていただくもの。

元気いっぱいの小学生の歌声・レベルの高い中学生の合唱・気持ちをひとつにした部活動の演奏など、聴き応え十分。



イ 中学生 英語スピーチコンテスト

瀬戸市内の中学校の代表生徒が、英語スピーチに磨きをかけ、舞台発表を行う。

国際交流を行っている中学校の、ニュージーランドやオーストラリアでの活動の様子も発表する。



ウ 学校活動ブース

子どもたちが作ったり、仕入れたりした品物を、大きな声でアピールして販売する。お値打ち品や、ユニークな商品をじっくり見ながら、楽しく買い物をしていただき、瀬戸市のキャリア教育の一端をご覧いただく。



エ 各種展示会

瀬戸市の子どもたちが、授業で制作した作品や、夏休みに挑戦した課題を展示する。子どもたちの奇想天外な豊かな発想力や、大人顔負けの見事な作品は、多くの方々から賞賛の声をいただいている。



【展示内容】

せとっ子書写展、瀬戸子ども図工・美術展、せとっ子科学展、特別支援教育展
技術・家庭科展、ポスター展

オ わくわくせとっ子ワールド

まるっとせとっ子フェスタに来場した方々を、体験ブースでおもてなしする。様々な団体にご協力いただいたり、瀬戸市内の先生方にもアイデアを出していただきながら、いろいろなジャンルのブースを楽しんでいただく。





平成27年度 協力団体
瀬戸市子ども会連絡協議会、愛知県立大学
瀬戸焼きそばアカデミー

カ 瀬戸の教育市民フォーラム

教育市民フォーラムは、保護者を含む市民が、瀬戸市の教育に主体的に関わっている姿を実現するための場として位置付けられており、毎年、より多くの市民に教育に対する興味を持ってもらえるよう企画、開催している。

○フォーラムの概要

第1部：「英語スピーチコンテスト」

瀬戸市内各中学校の代表による英語スピーチ

第2部：「キミチャレ2015」活動映像上映&発表会

「キミチャレ」とは、子どもたちがチャレンジテーマを設定し、テーマ実現に向け試行錯誤しながら努力し、その過程で経験した「自信」や「挫折」を自らの糧として成長してもらうことを目的とした事業。具体的には、応募者の中から選考によって選ばれた小中学生に、夏休期間を利用してチャレンジ活動をしてもらい、フォーラムにおいて、その活動結果を映像も交えながら報告、発表するもの。



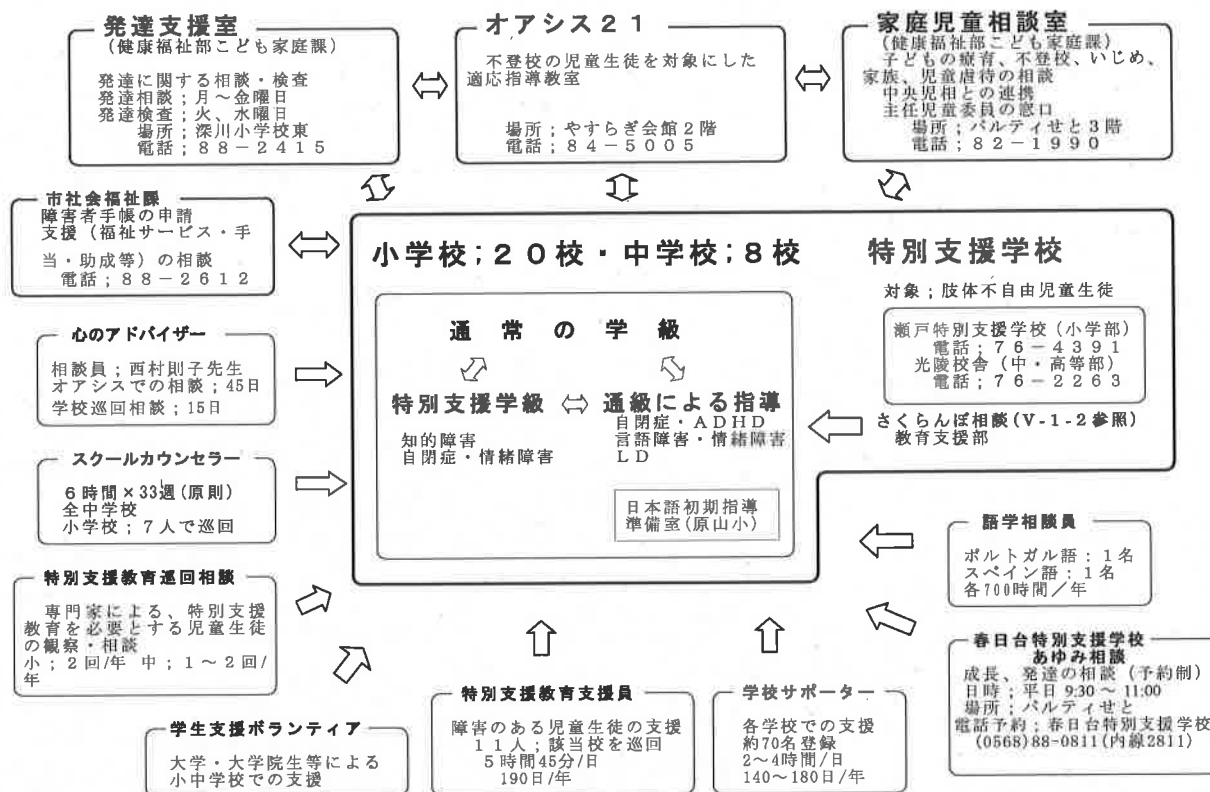
第3部：講演会

様々な分野の第一線で活躍している方を招へいし、夢や希望に向かってチャレンジすることの大切さなどのお話をお聞きし、子どもや保護者、市民とともに教育について考える機会とすることを目的に行うもの。

(8) 特別支援教育の充実

① 瀬戸市の特別支援教育体制図（平成27年度）

2 学 齡 期 の 特 別 支 援 教 育 体 制 図



② 瀬戸特別支援学校（愛称：さくらんぼ学園）

ア 平成27年度までの状況

平成22年4月に瀬戸養護学校（愛称「さくらんぼ学園」）が設立されて以来、校訓の「支え合い、活動的に、今を生きる」のもと、保護者・地域・職員が一丸となって教育を進めている。小規模校の利点を生かし、個々の児童生徒の障害の状態に応じたきめ細かな教育活動により、着実に教育効果を上げてきた。そして、平成26年度より、瀬戸特別支援学校と名称を変更し、ますます地域に根ざした特別支援学校としての認知も広まってきている。

瀬戸特別支援学校の特色である萩山小学校との併設という利点を生かし、開校当初より萩山小学校との交流活動を盛んに行ってきた。各学年交流や児童会交流、学校行事としての「まるっとせとっ子フェスタせとっ子音楽会」における合同発表などは、障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し合える共生社会を築くというノーマライゼーションの理念の実現に向けた取組であるといえる。

このような活動を通して、保護者・地域の認知・評価が高まり、入学者数が増加してきた。開校当初27名だった在籍数が、平成25年度には54名になり、萩山小に併設された校舎だけでは教室の確保が困難になってきた。そこで、光陵中学校の大規模改修を行い、光陵中に併設する形で平成26年4月瀬戸特別支援学光陵校舎を開校し、中・高等部の移転を行った。これにより、年齢が近い中学生との交流ができる状況となり、活動の幅を広げることにつながった。平成26年度



は、以下のような交流および共同学習が行われた。

◎ 萩山小との交流

	1 学期	2 学期	3 学期
1 年生	対面式・歌遊び	ボウリング大会	成長の振り返り・歌
2 年生	自己紹介・歌と手遊び	おぼけボウリング	音楽発表
3 年生	自己紹介・種まき	ポッチャ大会・ きな粉づくり	音楽発表
4 年生	理科や社会の共同学習・ ポッチャ	国語の共同学習・ 給食交流	社会の共同学習・ お手紙交流
5 年生	ポッチャ	家庭科の共同学習・ ポッチャ大会	ポッチャ大会
6 年生	歌や楽器の演奏	修学旅行報告会	ポッチャ・給食交流

◎ 光陵中との交流

全校行事	体育祭の見学
生徒会活動	新入生を迎える会への参加、エコキャップ活動や赤い羽根共同募金活動の共同実施、ポッチャ大会へ光陵中生徒会が参加
その他の活動	光陵中 2 年生の餅つき大会への参加、音楽やスポーツでの交流活動

イ 今後の課題

瀬戸特別支援学校が地域の特別支援教育のセンター的な機能を果たすため、教育支援部による小中学校への巡回相談活動を行っているが、相談件数・相談内容等、さらなる活動の充実が必要である。

③ 特別支援学級

ア 現状

平成 19 年 4 月から「特殊教育」に変わって「特別支援教育」が学校教育法に位置づけられ、発達障害に対する人々の理解が進むにつれて、特別支援教育に対する社会的なニーズが高まってきた。瀬戸市においても、保護者の期待に応える形で特別支援学級が次々と開設され、平成 27 年度には、市内 28 小中学校中、特別支援学級が開設されていない学校は 5 校のみとなった。現在、知的障害学級 22 学級、自閉症・情緒障害学級 22 学級が開設されており、合計 141 名の児童生徒が特別支援学級で学んでいる。各学級独自に、一人一人の障害の状況・発達の状態に合わせた教育課程が編成され、一人一人の教育的ニーズに合わせたきめ細かな指導が行われている。

特別支援学級に在籍する児童生徒は、校内での交流学習だけでなく、他校特別支援学級との交流活動も積極的に行っている。



毎年行われているあすなろ交流会では、市内小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒が一堂に会し、グループに分かれて自己紹介をしたり、チームを組んでゲームに取り組んだりしており、一緒に楽しく活動することで、自主性・社会性を伸ばし、自立心を育てるよい機会となっている。

また、公立陶生病院内の院内学級は、病弱・身体虚弱学級として、対象児童が当該病院に入院した場合に効範小学校に設置される。

イ 今後の課題

特別支援学級の基準定員は8名であるが、個別指導を必要とする児童生徒が複数在籍している学級があり、指導者の数が足りない状況にある。特別支援教育支援員や学校サポーター等で対応しているが、基準定員の見直しを含めた各関係機関への働きかけが必要である。また、特別支援教育の経験の少ない担任もいることから、特別支援教育担当者研修のさらなる充実を図る必要がある。

④ 通級による指導

ア 現状

瀬戸市には現在、6学級分の通級指導教室が開設されている。6学級を10校で分け、小学校9校、中学校1校で、それぞれの障害種別に応じた取り出し指導をしている。

通常の学級に在籍する発達障害を含む障害のある児童生徒に対し、各教科などの授業は通常の学級で行い、障害の状態等に応じた特別の指導を週1から単位時間、「特別な指導の場」で実施している。

平成27年度 通級による指導

学校名	学級名	障害種別	
陶原小	通級指導教室	自閉症	設置校
東山小	通級指導教室／コスモス学級	自閉症	巡回校
西陵小	通級指導教室／コスモス学級	注意欠陥多動性障害	設置校
幡山西小	通級指導教室／大空組	注意欠陥多動性障害	巡回校
水南小	通級指導教室／	学習障害	設置校
長根小	通級指導教室／ひかり学級	学習障害	巡回校
效範小	通級指導教室	学習障害	設置校
幡山東小	通級指導教室	学習障害	巡回校
萩山小	通級指導教室	言語障害	設置校
光陵中	通級指導教室	情緒障害	設置校

イ 課題

どの学校にも、通級指導対象の児童生徒が通常学級に複数在籍している。上記10校以外に、通級指導教室のような学びの場がなく、通常の学級で対応している。通級指導教室で担当できる児童生徒の数には限りがあり、本来通級指導を必要としている児童生徒が指導を受けられない場合もある。通級指導教室の設置について、各関係機関への働きかけが必要である。

⑤ 特別支援教育支援員及び学校サポーター

通常学級・特別支援学級に在籍する、特別な支援を必要とする児童生徒に対応するため、市全体として特別支援教育支援員を12名、学校サポーターを約70名配置している。

さらに一人一人の教育的ニーズに的確に応えるため、特別支援教育支援員及び学校サポーターの充実を図る必要がある。

2 「生き抜く力」を育む教育

(1) 教育課程の編成

児童生徒に「生きる力」「生き抜く力」を育むことを目指し、地域とともにある創意工夫を生かした特色のある学校づくりを推進していくために、学習指導要領、地域・学校の実態、児童生徒の心身の発達段階と特性、今日的な教育課題等を考慮しながら、学校や教員の創意工夫による特色ある教育課程を編成する。

(2) 「生き抜く力」を育む教育活動の推進

① 特色ある学校づくり

- ・ 児童生徒や地域の実態を生かした特色ある行事等、教育活動の工夫
- ・ 家庭や地域との連携強化などを通じた開かれた学校づくりの推進
- ・ 未来への夢や希望、他人を思いやる心をはぐくむ学校づくりの推進

② 愛情あふれる学級づくり

- ・ 一人一人の存在を認め合い、互いに高め合うことのできる学級
- ・ 集団に所属する喜びや楽しさを味わわせることができる学級
- ・ 安心して自己を生かすことができ、一人一人の個性や能力を発揮できる学級

③ 充実した授業づくり

- ・ 充実した言語活動が行われる授業
- ・ 体験的な学習や課題解決学習等、自主的・自発的な学習が展開される授業
- ・ 学ぶことの楽しさや達成することの喜びを味わわせ、互いに学び合い学習意欲の向上を促す授業
- ・ 学習内容を確実に身につけさせる授業
- ・ 指導過程や成果についての評価、及び指導の改善が継続的に行われる授業
- ・ 見通しを立てたり振り返ったりする学習活動を重視した授業
- ・ 個に応じた指導の充実した授業

④ 豊かな心を持ち、たくましく生きる人づくり

- ・ 自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力の育成
- ・ 学校教育全体を通して推進する充実した道徳教育
- ・ 子どもたちの創意・工夫を生かした発揮された特別活動の実施
- ・ いじめや差別・偏見の解消に向けた人権教育の推進、これまでの教育の根本的な見直し
- ・ 一人一人の生き方を大切にされたキャリア教育・進路指導の充実
- ・ 自己の内面を見つめたり、様々な悩みや心の揺れ・葛藤と向き合い、未来に夢や希望を抱いてよりよく生きようとする実践的な力の育成
- ・ 健康の増進と体力の向上、安全に主体的に心がける自己管理能力の育成
- ・ 食に関する正しい知識と望ましい食習慣など、健康な生活習慣の形成

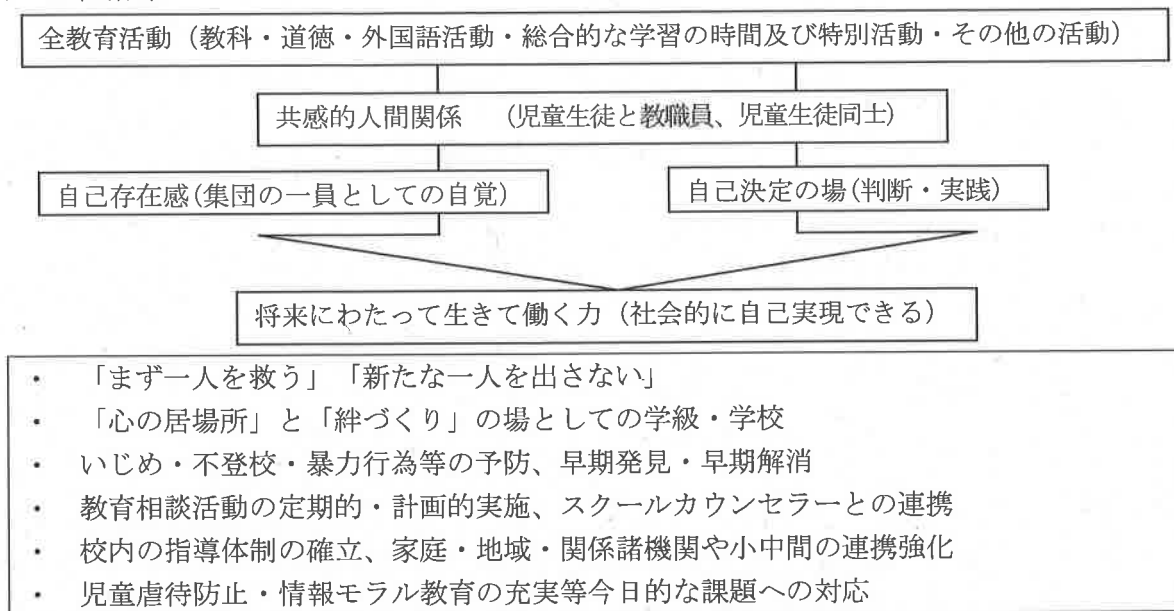
⑤ 社会の変化に対応する教育

ア 今日的な教育課題への対応

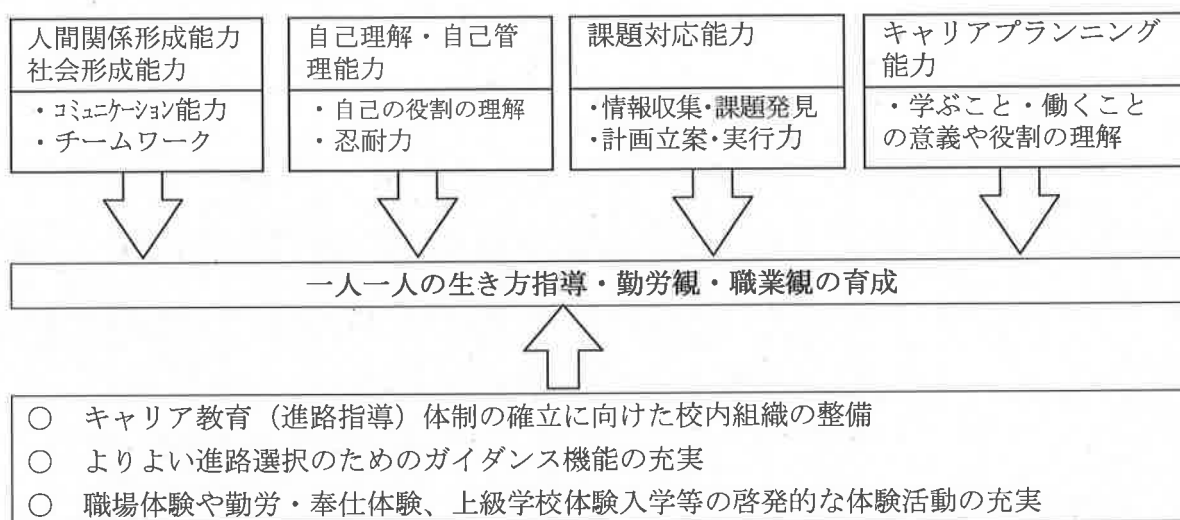
- ・ 持続可能な社会をつくるための担い手として必要な資質・能力の育成
- ・ 国際的な視野に立って、主体的に行動するために必要とされる資質・能力の育成
- ・ 情報社会に必要なモラル・情報活用能力等を身に付けさせる情報教育の充実
- ・ 安全教育・防災教育の充実
- ・ 障害のある児童生徒の指導の充実
- ・ 外国人児童生徒の指導の充実



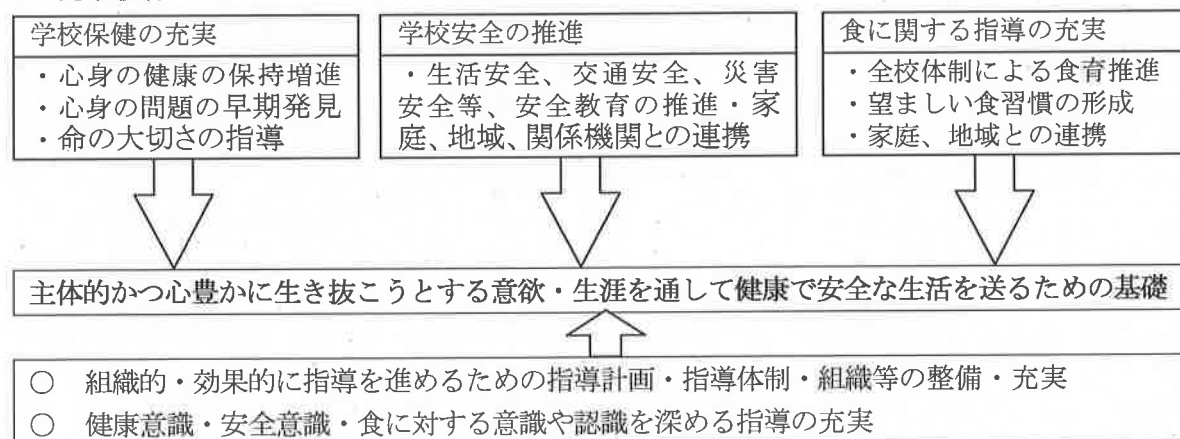
イ 生徒指導



ウ キャリア教育（進路指導）

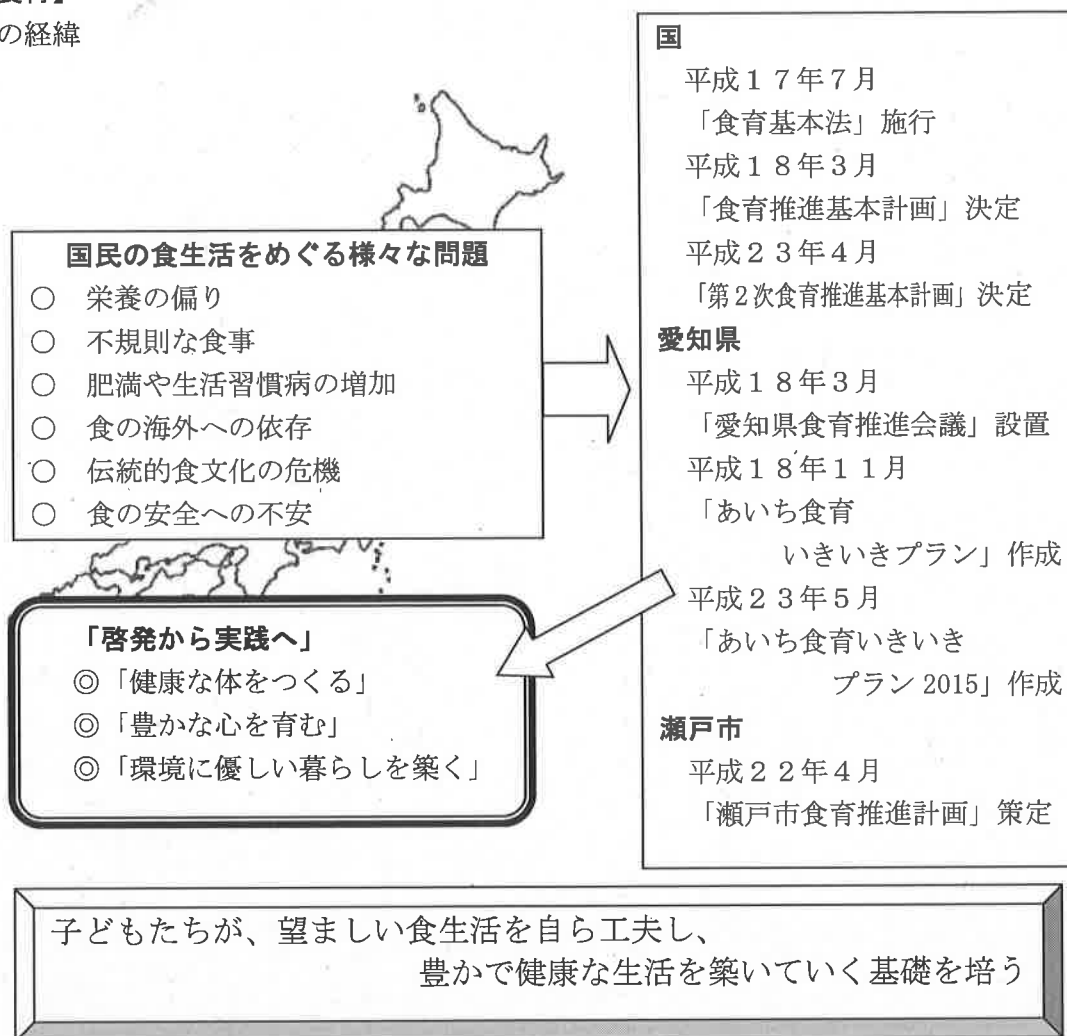


エ 健康教育



【瀬戸の食育】

食育の経緯



平成24年度の主な取り組み

取り組みの重点

- (1) 栄養教諭・栄養職員との連携
- (2) 食に関する実態調査の考察
- (3) 食育の指導事例集のあり方について



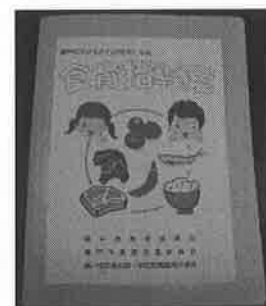
★ 瀬戸市の食育は全国でも注目 ★

西陵小学校は、平成24年11月15日に大分県大分市で開催された、第63回全国学校給食研究協議大会において、「平成24年度学校給食文部科学大臣表彰」を受けました。牧場での搾乳体験や漁港での干物作り、また保護者とともに「西陵カフェ」を開催するなど、ユニークな実践が脚光を浴びました。

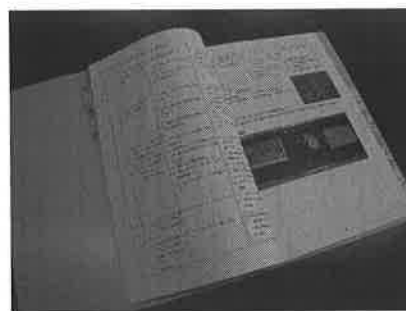
平成25年度の主な取り組み

取り組みの重点

- (1) 食育指導案の作成
栄養教諭・学校栄養職員と学級担任がティームティーチングで行う授業を充実させるため、食育の指導案を作成する。



- (2) 授業研究の実施
低・中・高学年で研究授業を実施し、食育授業の充実を図る。
- (3) 食育アンケートの実施
教員、児童生徒、保護者対象にアンケートを行い、実態把握を行い、指導に生かす。実態は食育シンポジウムなどでお知らせし、食育への意識向上の啓発を図る。



平成26年度の主な取り組み

取り組みの重点

- (1) 食育指導案の見直し、充実
指導案を見直すとともに、内容についても充実させ、補助教材やワークシートなどを整える。
- (2) 授業研究の実施
低・中・高学年で研究授業を実施し、食育授業の充実を図るとともに、指導案改訂に反映する。
- (3) 食育アンケートの実施
昨年度より行っているアンケートを継続して行い、経年変化を分析し、指導の改善に生かす。

平成27年度の主な取り組み

取り組みの重点

- (1) 食育指導案の見直し、充実
食育への取組や指導案の活用状況を調査し、指導案を見直すとともに、内容についても充実させ、補助教材やワークシートなどを整える。
- (2) 中学校での栄養教諭・学校栄養職員との連携検討
小学校だけではなく、中学校でも栄養教諭・学校栄養職員とのさらなる連携をすすめるための方策を検討する。
- (3) 食育アンケートの実施
一昨年度より行っているアンケートを継続して行い、経年変化を分析し、指導の改善に生かす。

(3) 学習指導と評価

- 児童生徒のよさや変容を積極的にとらえ、一人一人の可能性を最大限に伸ばそうとする評価観をもって学習指導にのぞむ。
- 指導の過程や成果を評価し、評価したことを指導の改善に生かす。
- 評価方法を工夫・改善する。
 - ・ 目標に準拠した評価規準を設定し、事前に指導の手だてを構想しておく。
 - ・ 客観的な評価のために、チェックリスト・行動観察記録・写真等、様々な資料を活用する。
 - ・ 児童生徒の相互評価・自己評価の場面・方法を工夫するとともに、自己評価能力を高める。

3 教職員の研修

(1) 方針

- 教育に携わる者として、自らの専門性確立のために、謙虚な態度でたゆまなく研修に努める。教員は、『教員自らの生きる力』を取得し、発揮する。
- 校内現職教育の充実に努め、本年度の学校教育目標の達成をめざして、研修活動を推進する。
- 文部科学省、愛知県教育委員会、愛日地方教育事務協議会、市教育委員会及び各種教育研究団体の研修機会を活用する。

(2) 教職経験に応じた研修と「教員自らの生きる力」の取得・発揮

経験	「教員として必要な資質能力」	年数	主な研修	「教員自らの生きる力」の取得・発揮
	<p>学級指導・生徒指導・学級経営 学校における職務一般等について の職務遂行能力を取得</p>	1年目	初任者研修 ○ 県・尾張・市の研修計画に基づいて実施する。	<p>課題の発展 新たな課題設定</p>
		2年目	2年目研修 ○ 教育研究の進め方について研修 ○ 夏季研修（教育実践レポート中間報告） ○ 教育実践レポート提出（A4 4ページ）	<p>目標・仮説・手だて等の設定</p>
		3・4年目	少経験者研修（3・4年目研修） ○ 夏季研修 <生徒指導・道徳・特別活動等> ○ 教育論文執筆は任意とする。	<p>実践</p>
		5年目	○ 教育論文執筆は任意とする。 ○ 校内研修・自主研修等により力量向上を図る。	<p>検証</p>
		6年目	5年経験者研修 ○ 5年研修における校内研修の充実を図る。 ○ 校内研修における課題追求にあわせて「教育論文」を執筆する。	<p>分析</p>
	<p>学級・学年運営、 教科指導、生徒指導、 学校運営上の職務等 に関しての力量向上</p>	7・8・9・10年目	○ 教育論文執筆は任意とする。 ○ 校内研修・自主研修等により力量向上を図る。	<p>課題の発展 新たな課題設定</p>
		11年目	10年経験者研修 ○ 10年研修における校内研修の充実を図る。 ○ 校内研修における課題追求にあわせて「教育論文」を執筆する。	<p>実践 検証 分析</p>
		12年目以降	○ 教育論文執筆は任意とするが、常に自己の教育課題を有し、追求する ○ 各職務・担当に応じた研修 ○ 教員免許更新講習 ○ 校内研修・校内研究 ○ その他の研修 ・ 自主研修、その他	<p>研究のまとめ 論文執筆</p>
	<p>・若手教員への指導助言 ・職務に関する専門的知識・技能の向上 ・幅広い教養の取得 ・調整力・運営力等の取得</p>			<p>課題の発展 新たな課題設定</p>
				<p>実践・検証 分析・考察 研究のまとめ</p>

教員としての力量向上を図り、その専門性を確立していくためには、教職経験を重ねたり、様々な研修に参加したりする中で、その経験や職責、学校において担うべき役割に応じた資質能力を身

につけていく必要がある。あわせて、自己の教育課題を見出すとともに、その解決に向けてたゆまなく研究・研修に努めていかねばならない。こうした過程は、『教員自らの生きぬく力』を取得し発揮する取組である。児童生徒・保護者・地域から信頼される教員であるために、常に自己研鑽に努めていかねばならない。

① 初任者研修

新規採用教員に対して、教員としての自覚を高め、実践的な指導力を養うとともに、幅広い見識を会得させ、教員として必要な資質の向上と研修意欲の喚起を図る。指導教員を中心として学校全体であらゆる機会を通じて取り組み、研修の充実を図る。

② 2年目研修

採用2年目の教員に対して、初任者研修等を通して身につけた教員としての資質・実践的指導力の更なる向上を図る。また、教育課題の見出し方・教育研究の進め方について研修し、自らの教育課題に基づいた実践を課題レポートにまとめ、提出する。

③ 少経験者研修（3・4年目研修）

3・4年目の教職経験者を対象に、「道徳」「特別活動」「生徒指導」に関する研修を3年1巡で実施する。〔平成27年度「道徳」・平成28年度「特別活動」・平成29年度「生徒指導」〕

④ 教職経験者研修

ア 5年経験者研修

- ・ 校内研修の充実を図る。
- ・ 総合教育センターの実施要項に従い研修を行う。
- ・ 平成23年度以降の採用者及び転任者は、校内研修課題を教育論文にまとめ提出する。

イ 10年経験者研修

- ・ 総合教育センターの実施要項に従い研修を行う。
- ・ 社会体験研修と異校種体験研修については、併せて3日間の研修を選択し受講する。
- ・ 校内研修・特定課題研究等、校内研修計画の充実を図る。
- ・ 平成23年度以降の採用者及び転任者は、校内研修や課題を教育論文にまとめ提出する。

⑤ 教育研究論文

全教職員を対象に、個人及び共同での教育実践を踏まえた教育研究論文を募集する。

⑥ 指定研修員

研究心旺盛かつ指導力に優れた者で、今日的教育課題を研究課題としている教員を対象として募集する。候補者の推薦は、本人の願書に校長推薦書を添えて、市教委へ提出する。願書等は規定の用紙を学校へ年度当初までに送付する。市教委は、応募者の中から過去の研究実績・研究課題・研究状況等を考慮し、10名程度決定する。

⑦ スクールセミナー

学校の教育活動の充実のために、各校が取り組んでいる「未来創造事業」の推進や教員の授業力・指導力向上に向けて、指導主事、教科指導員を派遣する。

⑧ 精神衛生推進事業

各学校に在籍するいじめ・不登校など様々な問題を抱える児童生徒や発達障害のある児童生徒の理解や指導方法、エンカウンターやソーシャルスキルトレーニングなどの技法等について研修するために、豊かな見識と経験をもつ講師を各学校で招へいする。

⑨ セト・ティーチャーズ・アカデミー

瀬戸教育アクションプランの具現化にむけて、教職員の資質の向上を図るとともに、瀬戸の教育を創造していく機会とし、子どもたち一人一人の学びや成長を、確かに支えていく教育活動を推進していくための研修を深めることをねらいとした。

そのために教職員は、子どもたちが「学ぶことが大好き」、「学校が大好き」と言える学校づくり・学級づくりを目指す。こうした学校・学級づくりを進めていくために必要なのは、教師の力量を向上させることであり、瀬戸市の教員や学校のつながりを大切にすることである。

午前中は、クラウンとして世界中の病床にいる子どもたちに勇気を与え続けている大棟耕介氏を招聘し、「大人が笑えば子どもは笑う～子どもは空気を敏感に感じている」というテーマで講演をしていただいた。

人の心をつかむことの大切さ、子どもを変えるにはまず大人から変わることであるという考えに、多くの教員が自らの教育に臨む姿勢を見つめ直す機会となった。また、一般の方にも聴いていただくことで、教育に対する共通の思いを持っていただくとともに、教員研修の様子を知っていただく場とした。

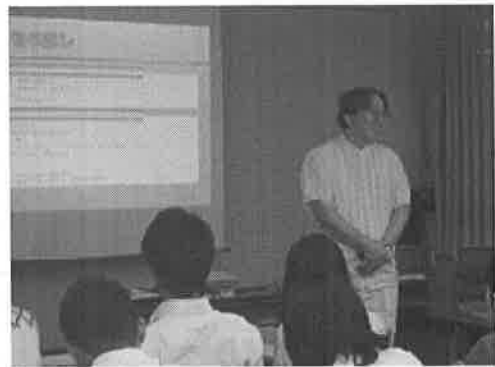


午後は、瀬戸市の各研究会による自主的・創造的な講座や外部講師の協力を得て、12講座を開設した。

その講座に対して個々の先生が興味や課題に応じて講座を選択し、意識の高揚や力量向上を図る機会となった。



楽しく、真剣に
各講座の研修に
取り組む教員



各講座の研修を通して見聞を広めました

⑩ 各種研修会

教職員の力量向上のため、各種研修会を実施する。

学校経営研修会、指導力向上研修会、教育情報化研修会、カウンセリング研修会等



【学校経営研修会の様子】



【カウンセリング研修会の様子】

(3) 各組織による研究推進・研修会開催

① 研究推進校の委嘱

	事業名	委嘱先	年度
県	健康推進学校	東山小学校	25・26・27
事務協	学習指導	品野中学校	26・27

② 研究の委託

社会科副読本「せと」／「瀬戸」編集委員会

社会科副読本「せと」・「瀬戸」の改訂に向け、資料の収集と編纂等を行う。

教育情報化推進委員会

学校教育の情報化推進に向け、コンピュータを活用した授業の指導方法及び校務用コンピュータの活用についての研究を進める。

性教育推進委員会

性教育の推進を図る。指導用資料「明日へのあゆみ」の改訂を行う。

特別支援教育推進委員会

特別な支援を必要とする児童生徒の実態把握・支援のあり方、効果的な校内支援体制作りについての研究を進める。

食育推進委員会

食育を推進していくためのカリキュラムづくりや指導方法などの研究を進める。

③ 各職務・担当者等研修会

校長研修会、教頭研修会、教務主任研修会、校務主任研修会、保健主事研修会、養護教諭研修会、学校事務職員研修会、学校経営研修会、栄養教諭・学校栄養職員研修会、特別支援教育担当者研修会、特別支援教育コーディネーター研修会

④ 各種委員会・連絡協議会

現職教育委員会

現職教育全般に関する企画・運営

学校教育組織検討委員会

瀬戸市全体の学校教育の組織体制・運営方法の検討

教育支援委員会

適正就学に向けての判断や支援の実施

瀬戸の学び創造委員会

「確かな学力」の向上に向けての検討・提言

瀬戸地区生徒指導連絡協議会

小中高校の生徒指導担当者による各校等の情報交換及び問題事例に対する協議

瀬戸市交通安全指導連絡協議会

小中高校の交通安全担当者による各校等の情報交換及び問題事例に対する協議

いじめ・不登校対策推進協議会

いじめ・不登校問題の実態把握、予防・改善策について協議、いじめ・不登校対策研修会の実施

4 学校の状況

(1) 学年別児童・生徒数

(平成27年5月1日現在)

No.	学校名	児童・生徒数										
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	男	女	計	学級数	
小 学 校	1	陶原	102	116	97	100	108	97	308	312	620 (2)	20 (1)
	2	深川	8	4	10	12	14	11	32	27	59 (2)	8 (2)
	3	祖母懐	20	15	18	28	21	15	56	61	117 (3)	7 (1)
	4	道泉	29	36	26	42	28	45	92	114	206 (2)	11 (2)
	5	效範	95	99	100	80	111	99	309	275	584 (4)	19 (2)
	6	東明	20	18	9	13	15	15	47	43	90	6
	7	古瀬戸	18	10	15	14	18	19	46	48	94	6
	8	水野	69	89	61	66	57	56	201	197	398 (4)	15 (2)
	9	水南	91	102	93	71	91	95	270	273	543 (3)	19 (2)
	10	幡山東	78	77	74	77	75	70	236	215	451 (4)	16 (2)
	11	幡山西	97	106	97	96	97	103	293	303	596 (18)	21 (3)
	12	下品野	58	89	73	86	71	75	240	212	452 (3)	16 (2)
	13	品野台	14	13	15	8	18	10	38	40	78 (1)	7 (1)
	14	掛川	5	6	6	6	3	4	17	13	30	4
	15	長根	78	93	70	77	80	93	253	238	491 (7)	17 (2)
	16	原山	41	39	40	54	43	47	128	136	264 (4)	13 (2)
	17	東山	129	142	144	155	155	150	431	444	875 (8)	27 (2)
	18	萩山	17	20	22	23	29	30	64	77	141 (7)	8 (2)
	19	八幡	36	45	44	48	50	61	150	134	284 (6)	14 (2)
	20	西陵	135	129	114	123	96	118	379	336	715 (8)	23 (2)
計		1,140	1,248	1,128	1,179	1,180	1,213	3,590	3,498	7,088 (86)	277 (32)	
中 学 校	1	水無瀬	216	208	174				317	281	598 (15)	20 (3)
	2	祖東	68	62	62				107	85	192 (5)	8 (2)
	3	南山	310	347	310				510	457	967 (17)	29 (3)
	4	本山	30	28	50				60	48	108	4
	5	幡山	177	221	179				308	269	577 (6)	19 (2)
	6	品野	76	94	85				131	124	255 (6)	10 (1)
	7	光陵	102	90	99				144	147	291	9
	8	水野	160	160	159				238	241	479 (6)	14 (1)
	計		1,139	1,210	1,118				1,815	1,652	3,467 (55)	113 (12)
支 瀬 援 戸 学 特 校 別	小学部	7	4	7	9	8	6	25	16	41	15	
	中学部	2	4	4				5	5	10	4	
	高等部	2	4	6				8	4	12	5	
	計							38	25	63	24	

() 特別支援学級分再掲

資料：学校基本調査

(2) 児童・生徒数等の推移

① 小学校

(各年5月1日現在)

年 度		1 8	1 9	2 0	2 1	2 2	2 3	2 4	2 5	2 6	2 7
学 校 数		20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
学 級 数		266 (20)	264 (21)	269 (23)	272 (24)	275 (28)	279 (30)	281 (32)	276 (31)	278 (30)	277 (32)
教員数	男	162	169	171	170	176	182	189	183	179	184
	女	244	246	255	250	266	270	281	282	300	309
	計	406	415	426	420	442	452	470	465	479	493
児童数	男	4,015	3,946	3,986	3,895	3,846	3,736	3,689	3,633	3,615	3,590
	女	3,591	3,543	3,558	3,584	3,606	3,632	3,548	3,527	3,542	3,498
	計	7,606 (62)	7,489 (68)	7,544 (71)	7,479 (68)	7,452 (68)	7,368 (80)	7,237 (86)	7,160 (80)	7,157 (83)	7,088 (86)

② 中学校

年 度		1 8	1 9	2 0	2 1	2 2	2 3	2 4	2 5	2 6	2 7
学 校 数		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
学 級 数		106 (7)	111 (8)	111 (9)	119 (11)	113 (10)	117 (10)	114 (8)	113 (10)	114 (11)	113 (12)
教員数	男	150	160	153	157	147	148	143	152	156	152
	女	84	87	105	112	105	102	103	100	102	104
	計	234	257	258	269	252	250	246	252	258	256
生徒数	男	1,853	1,903	1,893	1,954	1,914	1,961	1,918	1,903	1,884	1,815
	女	1,659	1,720	1,715	1,698	1,652	1,636	1,677	1,652	1,686	1,652
	計	3,512 (34)	3,623 (33)	3,613 (35)	3,652 (45)	3,566 (46)	3,597 (42)	3,595 (32)	3,555 (41)	3,570 (50)	3,467 (55)

③ 特別支援学校

年 度		1 8	1 9	2 0	2 1	2 2	2 3	2 4	2 5	2 6	2 7
学 級 数		—	—	—	—	12	15	17	21	13	24
教員数	男	—	—	—	—	17	17	18	17	19	24
	女	—	—	—	—	17	17	23	35	38	36
	計	—	—	—	—	34	34	41	52	57	60
生徒数	男	—	—	—	—	17	22	30	35	37	38
	女	—	—	—	—	10	14	16	19	21	25
	計	—	—	—	—	27	36	46	54	58	63

※ () 特別支援学級分再掲、教員数は兼務者を含む

資料：学校基本調査

(3) 教育事務委託児童生徒数

(平成 26 年度実績)

	春日井市	多治見市	合 計
小 学 校	3	0	3
中 学 校	9	0	9

(4) 学校別教員数

(平成 27 年度実績)

No.	学校名	県費負担職員					市費負担職員			校 長 名
		教員数			事務	栄養士	用務員	調理員	栄養士	
		男	女	計						
小 学 校	1 陶 原	12	22	34	1	1	2			前田 芳穂
	2 深 川	6	6	12	1		1		1	浅井 光雄
	3 祖母懐	4	9	13	1		1	2		栗原 幸宏
	4 道 泉	8	12	20	1		1	2		稲垣 登美一
	5 效 範	11	22	33	1	1	2			河路 久
	6 東 明	4	8	12	1		1	2		永草 弘康
	7 古瀬戸	3	10	13	1		1	2		右高 恭子
	8 水 野	12	15	27	1		1	6		岩間 譲司
	9 水 南	15	21	36	1	1	1			刑部 哲也
	10 幡山東	10	19	29	1	2	1			西原 勇
	11 幡山西	13	25	38	1	1	2			早川 元彦
	12 下品野	12	18	30	1		1		1	片田 晃司
	13 品野台	4	7	11	1		1		1	石原 邦彦
	14 掛 川	6	2	8	1		1			白井 一夫
	15 長 根	11	19	30	1	1	1			大塚 尚人
	16 原 山	9	15	24	1		1		1	長江 章彦
	17 東 山	13	30	43	2	1	2			前田 孝子
	18 萩 山	8	12	20	1		1	2		杵淵 家
	19 八 幡	9	16	25	1		1	4		加藤 寛司
	20 西 陵	14	21	35	1	1	2			山田 芳人
	計	184	309	493	21	9	25	20	4	
中 学 校	1 水無瀬	20	20	40	1		1			水野 明敏
	2 祖 東	12	12	24	1		1			牛田 和彦
	3 南 山	31	24	55	2	1	2			谷口 亨
	4 本 山	10	5	15	1		1			勝田 拓真
	5 幡 山	25	12	37	2		2			中崎 毅
	6 品 野	17	9	26	1		1			八槇 直幸
	7 光 陵	18	11	29	1		1			水野 富士夫
	8 水 野	19	11	30	1	1	1			加藤 正彦
		計	153	104	257	11	2	10		
	特別支援	24	36	60	5	1	2	3	1	鵜飼 博

※教員数は兼務者を含む(資料：学校基本調査)

*用務員・調理員は臨時職員を含む

(5) 中学校卒業生(平成26年度)の卒業後の状況

		男	女	計	割合 (%)
卒業生総数		672	577	1,249	100.0
全 日 制	国立	1	2	3	0.2
	公立	415	419	834	66.8
	私立	155	119	274	21.9
高等専門学校		9	0	9	0.7
定時制		19	4	23	1.8
通信制		45	21	66	5.3
各 種 専 修 学 校	高等専修	0	1	1	0.1
	各種	0	0	0	0
	職業訓練校	0	0	0	0
特別支援学校高等部		10	4	14	1.1
就職(除・定時制)		6	2	8	0.6
その他		11	6	17	1.4

(特別支援学級卒業生を含む公立中学および特別支援学校のみ)

○ 高等学校進学率

卒業年度	22	23	24	25	26
卒業生総数	1,170	1,233	1,163	1,200	1,249
進学者	1,147	1,169	1,136	1,136	1,224
進学率 (%)	98.0	94.8	97.7	94.7	98.0

※進学者数には、高等学校卒業資格の取得ができる各種専修学校への進学者数も含まれます。

○ 全日制課程高等学校地区別進学状況

公私立別	公立高校				私立高校			
	25		26		25		26	
地区別	瀬戸市内	他地区	瀬戸市内	他地区	瀬戸市内	他地区	瀬戸市内	他地区
進学者	424	375	446	389	31	232	26	247
進学率 (%)	35.3	31.3	35.8	31.2	2.6	19.3	2.1	19.8

※〔瀬戸市内中学校卒業生(公立中学校のみ)の地区別進学状況を示したもの〕

5 学校施設一覽

平成 27 年 5 月 1 日現在

学 校 名		学 級 数	保 有 教 室 数												
			普 通	理 科	音 楽	図 工 / 美術	コ ン ピ ュ ー タ	生 活 / 技 術	家 庭	視 聴 覚	図 書	特 別 活 動	教 育 相 談	進 路 資 料 指 導	
小 学 校	1	陶 原	20	20	1	1	1	1		1		1	4	1	
	2	深 川	8	8	1	1	1	1		2		1	1	1	
	3	祖 母 懐	7	7	1	1	1	1	1	2		1	3		
	4	道 泉	11	11	1	1	1	1	1	1		2	2	1	
	5	效 範	19	19	1	1	1	1	1	1	1	1	5	1	
	6	東 明	6	6	1	1	1	1		1		1	1		
	7	古 瀬 戸	6	6	1	1	1	1		1		1	1	1	
	8	水 野	15	15	1	1	1	1		1		1	2		
	9	水 南	19	19	1	1	1	1	1	1		1	5		
	10	幡 山 東	16	16	1	1	1	1		1		1	2	1	
	11	幡 山 西	21	21	1	1	1	1	1	1		1	3		
	12	下 品 野	16	16	1	1	1	1		2		2	4	2	
	13	品 野 台	7	7	1	1	1	兼 1		1		1	1		
	14	掛 川	4	4	1	1	1	兼 1		1		1	3		
	15	長 根	17	17	1	1	1	1		1		1	1		
	16	原 山	13	13	1	1	1	1	2	1		1	12	1	
	17	東 山	27	27	1	1	1	1		1		1		1	
	18	萩 山	8	8	1	1	1	1		1		1	1	1	
	19	八 幡	14	14	1	1	1	1		1		2	8	1	
	20	西 陵	23	23	1	1	1	兼 1		1		1	1		
計		277	277	20	20	20	20	7	23	1	23	60	12		
中 学 校	1	水 無 瀬	20	20	2	2	2	1	2	2		1	5	2	1
	2	祖 東	8	8	1	1	1	1	2	2		2	2	1	1
	3	南 山	29	29	2	2	2	1	2	2		1	5	1	
	4	本 山	4	4	1	1	1	1	2	2	1	2	5	2	3
	5	幡 山	19	19	2	2	2	1	2	2	1	1	5	4	1
	6	品 野	10	10	1	1	1	1	2	2	1	1	5	3	1
	7	光 陵	9	9	2	2	1	1	2	2		1	3	3	2
	8	水 野	14	14	2	1	1	1	2	2	1	1	3	1	3
	計		113	113	13	12	11	8	16	16	4	10	33	17	12
瀬戸特別支援学校		24	24										1		

(単位：m²)

プ ー ル	柔 剣 道 場	校 舎 保 有 面 積	体 育 館 保 有 面 積	校 地 面 積				
				建 物 敷 地	運 動 場	そ の 他	借 用	計
425		4,848	1,097	11,970	24,949	21,571		58,490
297		3,185	733	4,520	7,700	1,982		14,202
310		3,298	581	7,000	12,000	9,156		28,156
435		3,838	684	4,250	13,499	2,638		20,387
310		4,989	674	6,292	7,895	1,685		15,872
335		2,785	666	5,400	8,400	9,234		23,034
310		2,985	671	6,326	9,728	10,726		26,780
310		3,634	681	3,480	837	1,200	17,589	23,106
340		4,499	673	13,116	5,040	7,000		25,156
375		3,575	656	4,540	11,300	5,960		21,800
365		4,666	656	6,956	9,756	1,677		18,389
335		4,137	669	3,500	11,816	1,922		17,238
313		4,673	702	14,512	6,767	6,806		28,085
214		1,693	594	3,277	5,709	16,745		25,731
310		3,765	841	7,353	8,895	3,577		19,825
310		5,503	656	9,500	12,000	2,017		23,517
310		5,240	656	11,000	9,500	2,200		22,700
310		3,050	656	6,553	6,507	4,951		18,011
310		5,062	661	7,250	12,320	5,110		24,680
310		4,502	656	9,907	15,550	3,076		28,533
6,534		79,927	13,863	146,702	200,168	119,233	17,589	483,692
275	391	6,385	1,200	14,731	12,594	22,899		50,224
275	376	4,497	1,267	7,350	13,900	15,206		36,456
275	376	7,165	1,333	17,125	17,065	2,210		36,400
	397	4,111	1,211				39,599	39,599
425	358	6,206	1,208	10,142	11,154	3,931	2,400	27,627
275	421	5,120	1,333	10,937	10,663	37,857		59,457
275	644	6,317	1,310	17,226	7,532	8,939		33,697
275	373	4,940	1,217	11,470	18,239	8,560		38,269
2,075	3,336	44,741	10,079	88,981	91,147	99,602	41,999	321,729
		3,442		5,548	3,497	3,458		12,503

資料：公立学校施設実態調査

6 瀬戸市立小学校の適正配置

瀬戸市立の小・中学校における児童数・生徒数は、昭和50年代後半にピークを迎え、その後は減少傾向が続いている。そのため、1学年1学級の単学級校の出現や、各学校間に生じたアンバランスなど、学校運営上の諸問題が発生し、児童生徒の教育環境に影響を及ぼしている。

このような状況の中で、平成11年2月庁内に「瀬戸市立小中学校適正配置等検討委員会」を設置して検討を始めたが、各界の方々の幅広い意見を伺い、一層論議を深めるべきであるとの考えから、平成13年1月に教育委員会の諮問機関として「瀬戸市立小学校適正配置等協議会」を設置した。

同協議会では、現行の学校教育に係る諸制度を前提に、将来展望も配慮しながら『子どもたちにとって望ましい学校像』を求めて、約1年半12回にわたる審議の結果、小学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方、具体的な方策、実施に際しての配慮事項等について取りまとめを行い、平成14年7月に以下の答申がされた。

瀬戸市立小学校適正規模適正配置答申《概要》

瀬戸市では、近年少子化傾向が顕著に現れており、学校の小規模校化が目立っている。一方、南部、西部地区では宅地開発や新たなまちづくりが進み、児童の増加とそれに伴う学級数の増加により、学校の大規模校化が進んでいる。

瀬戸市立小学校適正配置等協議会では、この相反する動きを是正し、瀬戸の子どもたちのより良い教育環境の整備、充実した学校教育の実現に向けて、公平な立場で全小学校を対象に検討し、次のとおり取りまとめた。

適正規模適正配置を考えるにあたっての基本原則

- 1 学習・教育目標実現への配慮
 - (1) 多様な人間関係形成の保障
 - (2) 集団的学習活動の保障
 - (3) 多様な意見や考え方に触れ、自ら考え、自ら解決する「生きる力」育成への配慮
- 2 物理的学習・教育環境条件の維持
 - (1) 学習活動を維持するに足る特別教室等の確保
 - (2) 地域生涯学習拠点としての条件整備
 - (3) 通学圏（通学時間等）への配慮
- 3 家庭・地域社会・学校の連携推進
 - (1) 家庭・地域に根ざした学習・教育活動の推進
 - (2) 学習・教育活動を支援できる有為な地域人材の導入とそのための環境整備
- 4 円滑な学校運営の実現
 - (1) 適切な教員数の確保による学習・教育活動の保障
 - (2) 適正な規模による学校運営の円滑化

具体的方策を検討するための基準

- 1 1学年の適正な規模は、2学級から3学級とする。
- 2 適正な通学距離は、概ね2Km以内とする。

7 隣接学校選択制

(1) 目的

- ・本人及び保護者の願いに応じた学校選択の機会の拡大を図り、積極的に学校に関わっていかうとする意識を高める。
- ・学校現場の活性化を図り、特色のある学校づくりをすすめる。
- ・学校の活性化に伴って地域と学校の連携をさらに深め、地域社会から学校への幅広い参画をすすめる。

(2) 選択の機会

小中学校入学時、転入転居に伴う小中学校転入学時

(3) 選択可能校

小学校入学時は在住の小中学校区、中学校入学時は在住の中中学校区を中心に、周辺の隣接している中学校区の小中学校を選択可能とする。

(4) 特認校の設定

一般の小中学校とは一線を画する特色のある学校については、隣接の中学校区の児童生徒のみならず、市内全域からの選択希望に対応する必要がある。このことから、品野台小学校はオープンスクール、エコスクールとしての特色があるため、市内全域から選択できる特認校とする。なお、今後特色のある学校が設立された場合、検討の上特認校の設定を行う。

(5) 抽選の実施

各学校はあらかじめ中学校区外からの受け入れ人数を設定し、広報紙や教育委員会ホームページで公表する。受け入れ人数を超える希望者があった場合は、公開抽選により入学者を決定する。なお、兄弟が入学時に希望校に在籍見込みの申請者や、隣接学校選択制実施以前から隣接校に入学可能であった地域に居住する申請者は、抽選から除外し、優先的に入学できるものとする。

(6) 学校の情報公開

入学前の児童生徒に対して学校の情報を提供するため、各学校は学校要覧及びホームページを作成する。また、学校公開日を設定して教育活動を広く公開する。

(7) 通学方法

公共交通機関での通学や自家用車での通学を含め、通学方法の決定と安全確保は保護者の責任とする。ただし、自転車通学は原則として認めない。なお、通学に必要な費用は保護者の負担とする。

(8) 備考

- ・入学が決定した学校には卒業まで通学するものとする。
- ・申請により隣接小学校に入学した児童が、その小学校区が含まれる中学校区の中学校に入学を希望する場合、中学校入学時にも隣接学校選択制の申請を必要とする。なお、その中学校の入学希望者が受け入れ人数を超える場合には、抽選に参加しなければならない。

(9) 学校別選択可能校一覧

在住小学校区	選 択 可 能 小 学 校
陶 原	深川、祖母懐、道泉、效範、幡山西、長根、原山、萩山
深 川	陶原、祖母懐、道泉、古瀬戸、水野
祖母懐	陶原、深川、東明、古瀬戸、幡山東、萩山
道 泉	陶原、深川、效範、水野、水南
效 範	陶原、道泉、水南、長根、東山
東 明	祖母懐、古瀬戸、幡山東、下品野、品野台
古瀬戸	深川、祖母懐、東明、水野、下品野
水 野	深川、道泉、古瀬戸、水南、下品野、掛川、西陵
水 南	道泉、效範、水野、東山、西陵
幡山東	祖母懐、東明、幡山西、原山、萩山、八幡
幡山西	陶原、幡山東、長根、原山
下品野	東明、古瀬戸、水野、品野台、掛川
品野台	東明、下品野、掛川
掛 川	水野、下品野、品野台
長 根	陶原、效範、幡山西
原 山	陶原、幡山東、幡山西、萩山、八幡
東 山	效範、水南、西陵
萩 山	陶原、祖母懐、幡山東、原山、八幡
八 幡	幡山東、原山、萩山
西 陵	水野、水南、東山

※ 品野台小学校は市内全域から選択可

在住中学校区	選 択 可 能 中 学 校
水無瀬	祖東、南山、本山、幡山、光陵
祖 東	水無瀬、本山、幡山、品野、光陵、水野
南 山	水無瀬、本山、水野
本 山	水無瀬、祖東、南山、水野
幡 山	水無瀬、祖東、光陵
品 野	祖東、水野
光 陵	水無瀬、祖東、幡山
水 野	祖東、南山、本山、品野

(10) 平成27年度新入学等の許可実績

- ① 小学校 128人
- ② 中学校 103人
- ③ 主な申請事由：通学の距離・安全性、友人関係、家庭の事情、部活動

8 就学・私学助成制度

(1) 要保護及び準要保護就学援助制度

経済的理由によって就学困難な児童生徒について、学校給食費・学用品費等を支給することにより、義務教育の円滑な実施を図ることを目的として援助するものです。

① 要保護及び準要保護児童生徒の認定

- ・要保護児童生徒・・・保護者が生活保護法第6条第2項に規定する要保護者である児童生徒
- ・準要保護児童生徒・・・保護者が生活保護法による要保護者に準ずる程度に困窮していると認められる児童生徒

② 補助対象費目

- ・要保護者・・・修学旅行費
- ・準要保護者・・・学用品費等、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、学校給食費、医療費、
体育実技用具費

補助対象費目 平成27年度	小 学 校	中 学 校
学用品費等	11,420円	22,320円
校外活動費	1,550円(宿泊なし) 3,570円(宿泊あり)	2,240円(宿泊なし) 6,010円(宿泊あり)
新入学用品費	20,470円	23,550円
修学旅行費	21,190円	57,290円
学校給食費	実 費	実 費
医 療 費	特定疾病の自己負担分	特定疾病の自己負担分
体育実技用具費	—————	柔道 7,510円 剣道 51,940円

③ 要保護及び準要保護就学援助実績

年 度	対 象 児 童 生 徒 数		援 助 費
	要 保 護 者	準要保護者	
平成26年度	53人	1,095人	74,882,367円

(2) 特別支援教育就学奨励費

特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者等の経済的負担を軽減し、特別支援学級教育普及奨励を図ることを目的として、保護者の負担能力の程度に応じて補助するものです。

① 補助対象費目

学用品費等、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、通学費、職場実習交通費、交流学习交通費

② 補助額

保護者の負担能力に応じて、要保護及び準要保護就学援助費補助額の2分の1の額。ただし、通学費、職場実習交通費、交流学习交通費は実費。

③ 特別支援教育奨励費実績

年 度	対 象 児 童 生 徒 数	補 助 額
平成26年度	98人	3,480,724円

(3) 私立高等学校運営費補助事業

私立高等学校の健全な運営を図るため、日常的に必要な備品、図書、消耗品等の経費を設置者に補助するものです。

年 度	補助対象高等学校	補 助 額
平成26年度	2 校	900,000円

(4) 学校法人愛知朝鮮学園第七初級学校運営費補助事業

学校法人愛知朝鮮学園愛知朝鮮第七初級学校が行う教育に必要な備品、図書、消耗品等の購入及び施設補修等の経費を設置者に補助するものです。

年 度	補 助 対 象 校	補 助 額
平成26年度	1 校	700,000円

Ⅲ 学 校 給 食

1 学校給食の方針

(1) 基本方針

学校教育の一環として、学校給食の一層の安全と充実を図るとともに、食育を推進する。

(2) 重点目標

- ① 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- ② 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- ③ 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- ④ 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- ⑤ 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- ⑥ 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- ⑦ 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

2 学校給食の現況

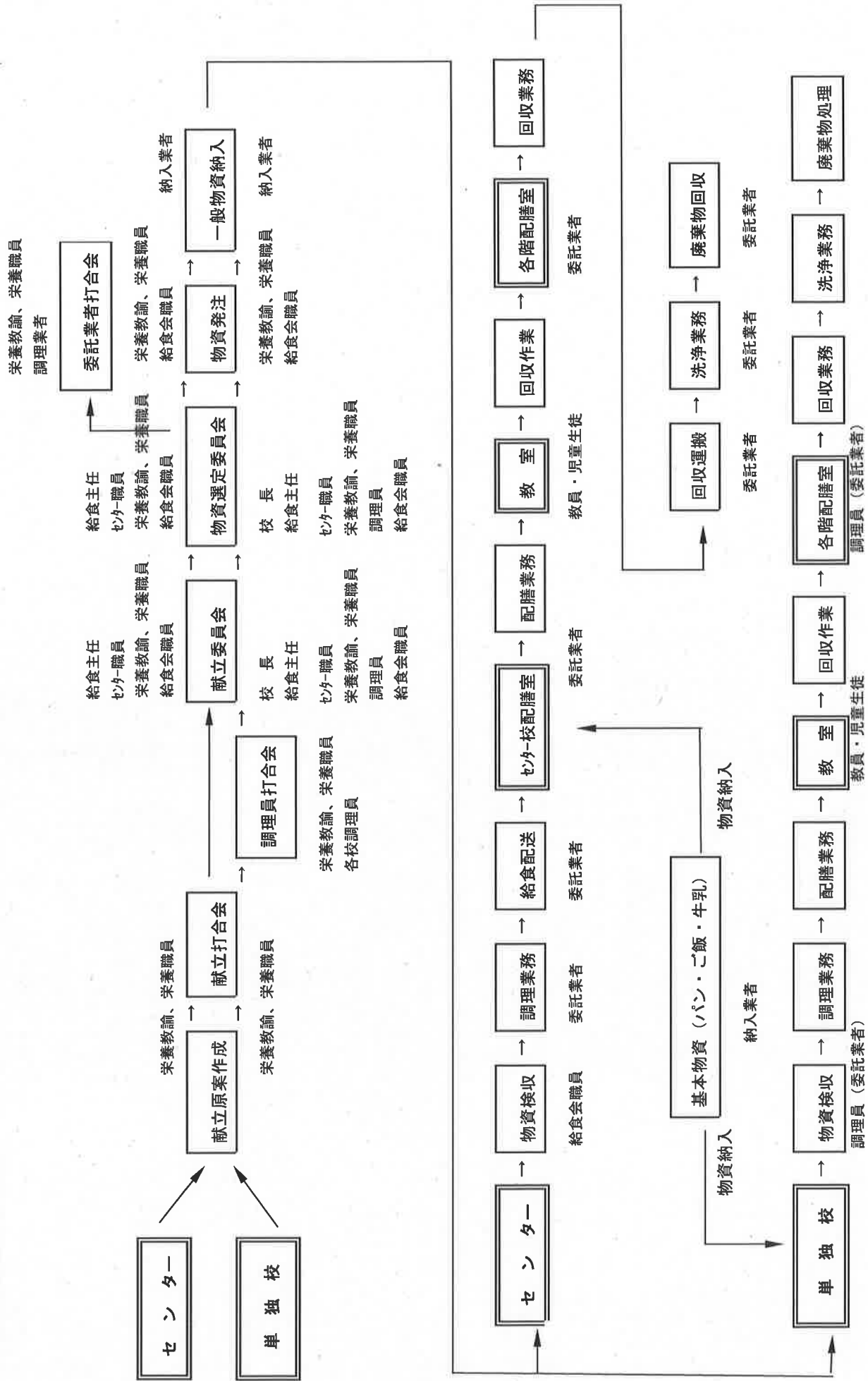
瀬戸市の学校給食は、センター方式(共同調理方式)と単独校方式(学校調理方式)とで実施している。

- ＊ センター方式で行っている調理業務(全中学校と掛川小)は、平成12年8月から、配膳業務は、平成14年4月から民間委託で実施している。
- ＊ 単独校の調理業務も平成15年4月から深川小、品野台小、平成17年4月から長根小、幡山東小、平成18年4月から陶原小、平成19年4月から效範小、原山小、平成21年4月から東山小、平成22年4月から幡山西小、平成23年4月から西陵小、平成25年4月から水南小、平成27年4月から下品野小で実施され、合計12校で民間委託を実施している。

学校給食センター調理風景



(1) 学校給食の業務の流れ



(2) センター校及び単独校一覧

平成27年5月1日現在

センター校	9校	水無瀬中学校、祖東中学校、南山中学校、本山中学校、幡山中学校、品野中学校、光陵中学校、水野中学校、掛川小学校
単独校	20校	陶原小学校、深川小学校、祖母懐小学校、道泉小学校、效範小学校、東明小学校、古瀬戸小学校、水野小学校、水南小学校、幡山東小学校、幡山西小学校、下品野小学校、品野台小学校、長根小学校、原山小学校、東山小学校、萩山小学校、八幡小学校、西陵小学校、瀬戸特別支援学校

(3) 学校給食実施状況

- ① 実施食数 単独調理校 (小学校19校、特別支援学校1校) 7,800食
学校給食センター (中学校8校、小学校1校) 3,817食
- ② 実施回数 189回 (学校行事により異なる。)
- ③ 給食の形態 完全給食で週5回給食を実施している。

ア 主食

ごはん 4回/週 (通年平均) : 委託炊飯と自校炊飯の併用
(精米「あいちのかおり」)

委託炊飯 白ごはん、麦ごはん、わかめごはん、発芽玄米ごはん等
自校炊飯 五目ごはん、ピラフ、とりめし、瀬戸のゴモ等

パン 1回/週 (通年平均) : スライスパン、ミルクロールパン、クロスロールパン、米粉パン等

ソフト麺 小学校6回、中学校7回 (通年) : ソフトスパゲティ式麺、中華麺、きしめん

イ 牛乳 200ml (瓶入り)

ウ 副食 主菜・副菜・添え物 (果物、ヨーグルト、のりの佃煮、ゼリー等)

(4) 使用食器 ; 強化磁器食器

- ① 単独校 平成元年度から、従来のアルマイト食器を強化磁器食器に切り替えを図り、平成5年度に全校導入を完了した。
- ② センター校 平成10年度から使用を開始した。
- ③ 食物アレルギー対応用食器 平成25年度から、通常使用している食器の色を変えたもの (イエロー) を導入している。





#は応募献立

瀬戸市中学校・掛川小学校

日	曜日	献立名	主食	飲み物	その他	おもに体をつくる もとなる食品	おもに体の調子を整える もとなる食品	おもにエネルギーの もとなる食品
10	金	とりめし コロッケ コーンサラダ	センターごはん	牛乳	いちごのタルト コロッケ いちごのタルト	牛乳・鶏肉 ベーコン	にんじん・枝豆・しいたけ・ごぼう とうもろこし・キャベツ	ごはん・油 砂糖
13	月	コーンスープ スペイン風オムレツ ごぼうサラダ	愛知の米粉パン	牛乳	スペイン風オムレツ	牛乳・鶏肉 ベーコン・豆乳	たまねぎ・とうもろこし・パセリ ごぼう・にんじん・いんげん豆	米粉パン・ごま油 砂糖・ごま油 マヨネーズ
14	火	五目味噌汁 照り焼きハンバーグ 二色の豆のサラダ	ごはん	牛乳	型抜きチーズ ハンバーグ	牛乳・豚肉・豆乳 味噌・大豆 ベーコン・チーズ 牛肉・豚肉・鶏肉	にんじん・大根・ねぎ・きゅうり キャベツ・さやいんげん・レッドキドニー	ごはん・砂糖 油・じゃがいも パン粉・砂糖
15	水	トックスープ ビビンバ	ごはん	牛乳	アーモンド入り小魚 アーモンド入り小魚	牛乳・豚肉 鶏肉・味噌	たけのこ・にんじん・チンゲンサイ しいたけ・しめじ・しょうが・にんにく もやし・ほうれん草・切り干し大根	ごはん・トック・油 砂糖・ごま油・ごま アーモンド砂糖
16	木	ツナごはん れんこんサンドフライ ハリハリ漬	センターごはん	牛乳	ブリ れんこんサンドフライ ブリ	牛乳・オイルツナ かまぼこ・油揚げ 鶏肉	にんじん・こんにゃく・ごぼう・枝豆 しいたけ・きゅうり・たくあん漬	ごはん・油 砂糖・ごま パン粉・小麦粉 砂糖
17	金	カレーライス イタリアンサラダ	蕎麦ごはん	牛乳	さくらゼリー さくらゼリー	牛乳・豚肉 チーズ・ベーコン	たまねぎ・にんじん・にんにく キャベツ・とうもろこし・きゅうり	蕎麦ごはん アーモンド・油 砂糖・じゃがいも 砂糖
20	月	マーボー豆腐 えびシューマイ パンパンジーサラダ	ごはん	牛乳	えびシューマイ	牛乳・豆腐 豚肉・鶏肉・味噌	にんじん・ねぎ・にら・しょうが きゅうり・キャベツ	ごはん・砂糖 ごま油・ごま 豚肉・小麦粉・砂糖
21	火	けんちん汁 ししゃもフライ ひじきと牛肉の炒め煮	発酵米ごはん	牛乳	ソー ししゃもフライ	発酵米・豚肉 豆腐・油揚げ 牛肉・ひじき・大豆	にんじん・大根・ねぎ・えのきたけ	発酵米・ごはん 油・砂糖 ごま・里芋 パン粉・小麦粉
22	水	味噌汁 親子丼 つくね	ごはん	牛乳	つくね	牛乳・油揚げ・豆腐 わかめ・味噌・鶏肉 鶏肉・大豆	ごぼう・にんじん・えのきたけ ねぎ・たまねぎ・さやいんげん	ごはん・砂糖 パン粉・砂糖・油
23	木	肉じゃが 鯖のごまだれ焼き 甘酢和え	蕎麦ごはん	牛乳		牛乳・豚肉・鯖	たまねぎ・にんじん・さやいんげん こんにゃく・しょうが・切り干し大根 きゅうり	蕎麦ごはん じゃがいも 砂糖・ごま
24	金	ポークビーンズ ツナサラダ	クロスロールパン	牛乳	ヨーグルト	牛乳・豚肉 大豆・オイルツナ ヨーグルト	たまねぎ・にんじん・グリーンピース トマト・にんにく・きゅうり・キャベツ とうもろこし	パン・砂糖 マヨネーズ じゃがいも・油
27	月	生揚げの吹き寄せ 鮭の佃煮焼き おひたし	ごはん	牛乳		牛乳・生揚げ 鶏肉・はんぺん 鮭	にんじん・たまねぎ・さやいんげん しいたけ・たけのこ・ほうれん草 もやし・レモン果汁・こんにゃく	ごはん・砂糖
28	火	かきたま汁 鶏肉のてりかけ キャベツと枝豆のサラダ	わかめごはん	牛乳	発酵乳	発酵乳・わかめ・鶏肉 豆腐・鶏卵・油揚げ かまぼこ・ベーコン	ほうれん草・キャベツ 枝豆・きゅうり	ごはん・油 砂糖・ごま アーモンド
30	木	ハヤシチュー イカリングサラダ	蕎麦ごはん	牛乳		牛乳・豚肉 チーズ・いか ハム	たまねぎ・にんじん・グリーンピース しめじ・トマト・もやし・きゅうり	蕎麦ごはん じゃがいも・油 砂糖

④は小学校のみ、⑤は中学校のみ

[付記] 材料の都合により多少の変更を、お許し願います。

ご入学・ご進級 おめでとうございます

あたたかな光につつまれた季節の中で新しい学年が始まります。給食センターでは、安全でおいしい給食作り心がけていきます。小学校1年生の給食は17日(金)から始まります。

今月の応募献立 「ツナごはん」

八幡小学校
青木 麻子様

主食

給食のパンは甘味を抑え、おかずの味をそこなわすおいしく食べられるように工夫されています。



牛乳

成長期の児童、生徒に大切なたんぱく質やカルシウム源です。



副食

栄養量に基づいて、煮物、焼き物、揚げ物、汁物、炒め物、和え物など変化のある献立に心がけています。



ごはん

ごはんやめんに合わせておかずの内容、質、量、味付けなどを工夫しています。

毎月19日は「食育の日」
～おうちでごはんの日～です。

(5) 給食費の内訳

給食費は、1食当たり小学校240円・中学校280円。

学校給食の形態

平成27年4月現在

学校別	給食の形態	主食		牛乳		副食・その他	給食費
		規格	価格	規格	価格	価格	
小学校	パンの場合	50g	50.28円	200ml	50.73円	138.99円	240円
	米飯の場合	70g	52.37円	200ml	50.73円	136.90円	
	ソフト麺の場合	70g	50.61円	200ml	50.73円	138.66円	
中学校	パンの場合	70g	62.81円	200ml	50.73円	166.46円	280円
	米飯の場合	100g	62.24円	200ml	50.73円	167.03円	
	ソフト麺の場合	120g	55.56円	200ml	50.73円	173.71円	

(6) 栄養摂取状況

摂取基準値と摂取量及び充足率

平成26年度年間平均

区分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン				食物繊維 (g)	食塩相当量 (g)		
						A (μg)	B1 (mg)	B2 (mg)	C (mg)				
小学校	摂取基準値	640	24.0	25%~ 30%	350	3.0	170	0.40	0.40	20	5.0	2.5	
	単 独 校	摂取量	648	26.3	22.1	352	2.8	380	0.60	0.53	24	4.0	2.6
		充足率 (%)	101	109	103	100	<u>93</u>	223	150	132	120	<u>80</u>	104
	掛 川	摂取量	701	29.7	24.3	367	3.4	384	0.67	0.56	25	3.6	3.0
		充足率 (%)	109	123	113	104	113	225	167	140	125	<u>72</u>	120
中 学 校	摂取基準値	820	30.0	25%~ 30%	450	4.0	300	0.50	0.60	35	6.5	3.0	
	摂取量	836	33.8	27.2	405	4.0	446	0.82	0.62	28	4.8	3.2	
	充足率(%)	101	112	99	<u>90</u>	100	148	164	103	<u>80</u>	<u>73</u>	106	

(アンダーラインの部分が未充足)

(7) おいしく楽しく食事をするための取り組み

- ① 食材の安全性の確保を図る。
(国産のものを努めて使用し、遺伝子組み替え食品や食品添加物の入った食品はできる限り使用しない。)
- ② 学校給食を通じて学校と家庭との連携を図る。
(家庭へ「給食だより」の配布、家庭から募集した献立の導入、PTA試食会等の実施を図る。)
- ③ 調理機器等の充実により献立内容の充実を図る。
(コンベクションオーブン、保冷剤の使用)
- ④ 食事環境の改善を図るためランチルームを活用する。(バイキング方式、異学年との交流会)

〈バイキング風景〉



IV 図書館

1 図書館活動

(1) 基本方針

図書館は昭和20（1945）年創設以来、情報・資料の提供、あるいは学習の場として、多くの人々に利用され親しまれてきました。現在、次のような方針で運営しています。

- ① 情報化・国際化にあわせた図書館サービスを進める。
- ② 市民の学びの場・交流の場として利用しやすい環境づくりを進める。
- ③ 新たな利用者層の獲得を目指す。

(2) 重点目標

基本方針を実現するために、以下のとおり重点目標を定めています。

- ① 電子情報及び国際化に対応する資料の充実を図り、利用促進を図る。
- ② 学校図書館を利用して各地域に根ざした地域図書館づくりを進める。
- ③ 市民がくつろぎの空間の中で、自ら学ぶことができ、暮らしに役立つ情報を享受し、各年齢層市民の交流の場としても利用できる環境づくりを進める。
- ④ 児童サービスの充実（読書環境の整備、学習活動への支援）を図る。
- ⑤ 高齢者及び障害者の利用促進を図る。
- ⑥ 現在、図書館を利用していない人の利用促進を図る。

(3) 施設

所在地	東松山町1番地の2	TEL 0561(82)2202	FAX 0561(85)2651
敷地面積	4,222.5 m ²		
建物	構造	鉄筋コンクリート2階建	
	面積	868.26 m ²	
	延面積	1,412.26 m ²	
	構造	軽量鉄骨平屋建（プレハブ集会室）	
	面積	98.69 m ²	



図書館全景

(4) 利用案内

- 開館時間 午前9時～午後7時（10月～3月は午前9時～午後6時）
- 休館日 館内整理日（毎月第4水曜日）
特別整理期間（年1回10日以内）、年末・年始（12月28日から翌年の1月4日まで）
- 利用対象 館内利用は自由、館外貸出は市内在住・在勤・在学及び隣接市町村等に在住の方です。
- 利用種別 本館・移動図書館共通
- 個人貸出 ー 1人10冊・点まで 期間3週間以内（AV・雑誌は2週間以内）
- 団体貸出 ー 構成員は5人以上、代表及び構成員の過半数は市内在住とし、貸出期間は最長2か月、最大200冊まで

(5) 蔵書状況

平成26年度末の蔵書冊数は317,600冊で、対前年度比0.1%増加しました。そのうち雑誌・視聴覚資料を含む購入は16,044冊、寄贈などが2,386冊、除籍が17,966冊でした。

なお、情報ライブラリーを含めて新聞9種、雑誌252種があります。

① 蔵書統計

(冊・点)

	一般書	児童書	郷土資料	点字・大活字本	雑誌	視聴覚資料	合計
平成26年度	198,380	90,675	14,241	2,505	9,752	2,047	317,600
増減	-126	-642	1,369	64	-2	-199	464

② 資料購入等の推移

年度	人口(人)	資料購入費(千円)	蔵書冊数(冊)	購入冊数(冊)	市民1人当りの資料費(円)
平成19年度	132,996	26,066	305,338	13,950	196
平成20年度	133,412	28,008	303,605	16,225	210
平成21年度	133,656	28,249	305,022	16,853	211
平成22年度	133,121	27,309	307,133	14,601	205
平成23年度	132,825	28,162	313,014	17,464	212
平成24年度	132,130	27,732	321,416	20,593	210
平成25年度	131,698	27,522	317,136	16,899	209
平成26年度	131,269	28,648	317,600	16,044	218

③ 郷土資料の状況

地場産業である窯業・陶磁器に関する資料は、国内・国外（姉妹提携都市など）のものを広く収集するように努めています。また、地域資料についても行政機関の協力により収集に努めていますが、整理・活用が課題となっています。なお、2階の「参考室」にこれらの資料を配架し、閲覧・貸出に供しています。

(6) 利用状況

平成26年度の本館への入館者数は238,623人で、対前年度比0.7%増となりました。なお、パルティセと3階の情報ライブラリーは95,352人の入館者があり、対前年度比1.0%増となりました。

総貸出冊数は、679,743冊でした。前年度に比べて6,785冊減となっています。

また、移動図書館での貸出は、学校に赴いての団体貸出が大半を占めており、個人貸出は3,656冊（利用者数594人）であるのに比して、学校への貸出は10,290冊となっています。

児童書の貸出は304,896冊と、対前年度比1.3%減でした。職員やボランティアによる読み聞かせやブックスタート、児童関係施設等への貸出など、「子ども読書活動推進計画」に基づき、より充実した児童サービスが出来るよう、これからも努めていきたいと考えています。

ビデオ・CD・DVDなど視聴覚資料の貸出は12,275点で、前年度に比して2.5%利用が減少しました。

雑誌の貸出は23,845冊で、前年度に比して2.1%利用が減少しました。

予約サービスは平成26年度49,867件と、対前年度比0.3%増となりました。このうちインターネット及び館内OPAC（資料検索機）での予約が、全体の65%となっています。

貸出数

(冊・点)

一般書	332,495	児童書	304,896	郷土資料	883	雑誌	23,845
AV資料	12,275	点字・大活字本	5,349	相互貸借（借受）	1,511	相互貸借（貸出）	835

利用者用インターネット利用状況

利用場所	利用人数	利用時間
図書館	2,964人	3,321時間
情報ライブラリー	3,033人	2,597時間

年 度	貸出数	対前年度比 (%)	年 度	貸出数	対前年度比 (%)
平成 17 年度	535,463	93.5	平成 22 年度	661,093	99.9
平成 18 年度	542,678	101.3	平成 23 年度	671,209	101.5
平成 19 年度	450,945	83.1	平成 24 年度	698,667	104.0
平成 20 年度	628,503	139.4	平成 25 年度	686,528	98.3
平成 21 年度	661,478	105.2	平成 26 年度	679,743	99.0

(7) 移動図書館

このサービスは、区域の広い本市の状況を鑑みて、現在館開館と同時期（昭和46年6月）から開始しました。昭和62年頃には年間2万冊近くを貸出していましたが、移動図書館での個人貸出利用は年々減少しており、平成22年度からは市内南部、山口・幡山公民館のみの巡回となりました。一方で情報ライブラリーや地域図書館の開設により、新たなサービスシフトの展開を図っています。

また、学校図書館の整備が遅れている現状から、配本や巡回を希望する学校が増えたこともあり、現在小学校11校に対して学校図書配達^{（注）}の形で年2回、学級単位等の貸出サービスを行っています。

(8) 団体・施設への貸出

市内全域へのサービスを行うため、地域活動支援室と協力して、市内11公民館への配本サービスを行っているほか、市内小中学校（11校）、私立幼稚園（2園）、保育園・交通児童館・せとっ子ファミリー交流館や発達支援室などの行政関連施設への貸出を行い、平成26年度は、47,009冊の利用がありました。

こうした活動は前述の「子ども読書活動推進計画」においても提唱されており、学校図書館への援助やネットワーク化を視野に入れたサービス展開を考えています。

(9) 図書館友の会との協力

平成11年1月に設立された、「瀬戸図書館友の会」（図書館利用者個人参加の組織）との協力関係をとおして、図書館がよりいっそう市民の図書館となるように努めています。

ボランティアとして本の補修や、読書会・絵手紙の会・朗読の会らんぶなど、自主的な活動を進めており、また同様に友の会活動を行っている他の図書館への視察や、図書館まつり期間中の「本のリサイクル市」においては、準備から当日まで手伝いに会員が参加したり、独自の企画講演会も開催されています。



友の会の補修ボランティア活動

そのほか、七夕・クリスマスなど四季にあった館内の飾りつけや行事を行い、図書館の雰囲気をなごませるなど、こうしたボランティア活動によって、図書館は支えられて成長しています。

(10) ブックスタート

ブックスタートは、1992年イギリスで始まった運動で、赤ちゃんと保護者が「本を通して楽しい時間を分かち合うこと」を応援する子育て支援の運動です。「家庭での本への意識が高まった」、「図書館によ

く行き、親子で登録している」、「本をよく購入する」などの報告もされています。また、0歳から本にふれあう時間を習慣とすることで、子どもの言語面、計数面双方の思考能力の発達に大きな影響を与えることも報告されています。

本市では平成14年11月から、NPO法人ブックスタート支援センターの指導や、図書館友の会会員や個人ボランティアの協力をえて、保健センターと協働して保健センターで行われる、「6か月児健康相談」の機会をとらえて開始しました。

平成26年度は、毎回40組ぐらいの親子を対象に、絵本2冊とアドバイス集・絵本リスト・図書館での取り組み（絵本の読み聞かせ、お話し会・映画会）などを説明し、コットン・バックとあわせたブックスタート・バックを、852組の赤ちゃんと保護者の方に手渡しました。



ブックスタートの様子とボランティア

(11) 各種講座・行事の開催とボランティア活動（平成26年度実績）

- こどもの読書週間行事 4月
- 読書感想画展 4月～6月
- 教科書展示会 6月～7月
- 夏休み理科講座 8月上旬
- 図書館まつり（読書週間関連） 10月～11月
 - ・本のリサイクル市（瀬戸蔵多目的ホール）
 - ・子ども一日司書
 - ・講演会
 - ・健康うた体操
 - ・キッズルーム
 - ・おはなし会
- 土曜おはなし会（ボランティアグループ おはなしぶらんこ） 毎月第1土曜日午後
- 土曜おはなし会とえいが会（ボランティアグループ おはなしたんぽぽの会） 毎月第2土曜日午後
- 読み聞かせ（職員・ボランティアグループ おはなしたまてばこ他） 毎週火・木・金曜日午前
- キッズルーム開設（テーマ設定、集会室） 年3回各10日間程度



図書館まつり キッズルームでおはなし会

(12) パルティセと情報ライブラリー

平成17年のパルティセとオープン当初は、図書館並びに大学コンソーシアム加盟図書館（愛工大、金城大、名学大、名産大、南山大）の予約図書の貸出・返却と雑誌・新聞の閲覧、著作権処理済の館内映像配信やインターネット検索用として4台のパソコンを設置して情報提供を行っていました。

平成19年12月からは映像配信をやめ、利用登録や予約などに加えて図書約10,000冊を配架し、分室としての機能をより強化しました。また、平成21年度からは雑誌の貸出も開始しました。なお、視聴覚ライブラリーの機材・教材の貸出も行っています。

(13) 地域図書館

平成18年10月、品野台小学校メディアルーム内に地域図書館『宝島』を皮切りに、平成20年10月に光陵中学校、平成21年10月に西陵小学校、平成22年10月に水野小学校、平成23年10月には東山小学校の学校図書館を地域図書館として開設しました。

開館日時は土・日・祝日の午前10時から午後3時まで、図書館サポーターと協働で運営しています。平成26年度の貸出冊数は62,941冊となり、前年度より6.0%減少しました。

また、平成23年度より学校図書館へ司書を派遣し、子どもの読書活動の推進と、学校との連携に努めています。



地域図書館の図書館サポーター

利用状況			合計	前年度	月平均	増減数	対前年比
(宝島) 品野台小学校 平成18年開館	個人	利用者数(人)	3,436	3,114	286	322	110%
	貸出	貸出冊数(冊)	10,158	8,594	847	1,564	118%
	団体貸出	貸出冊数(冊)	1,125	962	94	163	117%
光陵中学校 平成20年開館	個人	利用者数(人)	1,906	2,010	159	-104	95%
	貸出	貸出冊数(冊)	4,954	4,795	413	159	103%
	団体貸出	貸出冊数(冊)	227	69	19	158	329%
西陵小学校 平成21年開館	個人	利用者数(人)	11,384	11,974	949	-590	95%
	貸出	貸出冊数(冊)	15,549	14,965	1,296	584	104%
	団体貸出	貸出冊数(冊)	662	470	55	192	141%
水野小学校 平成22年開館	個人	利用者数(人)	6,493	8,874	1,082	-2,381	73%
	貸出	貸出冊数(冊)	14,109	18,914	2,352	-4,805	75%
	団体貸出	貸出冊数(冊)	479	238	80	241	201%
東山小学校 平成23年開館	個人	利用者数(人)	11,646	13,282	1,941	-1,636	88%
	貸出	貸出冊数(冊)	15,215	17,421	2,536	-2,206	87%
	団体貸出	貸出冊数(冊)	463	560	77	-97	83%
合 計	個人	利用者数(人)	34,865	39,254			
	貸出	貸出冊数(冊)	59,985	64,689			
	団体貸出	貸出冊数(冊)	2,956	2,299			

V 視聴覚ライブラリー

1 視聴覚ライブラリー活動

(1) 基本方針

学校教育及び社会教育に関わる団体がその活動のために必要とする視聴覚教材・機器を整備充実させ、団体利用者の求めに応じてこれを提供します。

(2) 重点目標

- ① 視聴覚機器及び教材の整備・充実を行う。
- ② 地元の文化を視聴覚資料として収集保存する。

(3) 施設

所在地 栄町45番地 「パルティセと」3階 情報ライブラリー
 (事務局) 東松山町1番地の2 瀬戸市立視聴覚ライブラリー

(4) 利用案内

開館時間 午前9時～午後9時30分
 休館日 年末年始(12月28日から翌年の1月4日まで)
 利用対象 市内の学校教育・社会教育等の団体

(5) 瀬戸市立視聴覚ライブラリー運営委員会

市内の学校教育関係者及び社会教育関係者の中から10名の運営委員を教育委員会が任命し、視聴覚ライブラリーの事業について諮問・助言・指導を行うために年2回開催され、事業計画ならびに予算執行について助言・指導する。

瀬戸市立視聴覚ライブラリー運営委員会名簿

平成27年7月1日現在

氏名	所属団体	所属団体役職名
◎ 栗原 幸宏	瀬戸市小中学校長会	視聴覚教育委員
杉浦 哲男	瀬戸市小中学校視聴覚教育研究会	副 会 長
○ 矢野 桂子	瀬戸市公民館協議会	副 会 長
小原 精司	瀬戸市公民館協議会	
山口 志津代	瀬戸市地域婦人団体連絡協議会	会 計 監 査
藤田 勝美	瀬戸市社会福祉協議会	
横井 暢彦	瀬戸市子ども会連絡協議会	会 長
櫻本 好美	愛知県私立幼稚園連盟 旭・瀬戸支部	マリア幼稚園園長
佐藤 拓哉	瀬戸市消防本部	消 防 課 主 幹
橋口 良子	瀬戸市保育施設代表者	水南保育園園長

◎は委員長 ○は副委員長

(6) 視聴覚機材・教材保有状況（平成26年度末）

機 材	台 数	教 材	保 有 数
16ミリ映写機	1台	16ミリフィルム	83本
ポータブルVTR	2台	学校教育用ビデオ・DVD	606本
スライド映写機	3台	社会教育用ビデオ・DVD	549本
OHP	2台		
OHC	1台		
スクリーン	7本		
ビデオ編集器	1台		
液晶ビジョン	4台		
PCコンバーター	1台		

(7) 利用状況（平成26年度）

機 材	回 数	教 材	回 数
16ミリ映写機	0回	16ミリフィルム（社教用）	2回
液晶プロジェクター	73回	ビデオテープ・DVD	281回
スライド映写機	1回		
ビデオ編集機	0回		
スクリーン	21回		
OHP・OHC	4回		

VI 社 会 教 育

1 社会教育

(1) 基本方針

社会教育の本旨を効果的に達成するために、社会教育施設や人的要素を充実させる等、諸条件の整備を図り、特に生涯学習の観点に立って、積極的に社会教育活動を推進します。

(2) 重点目標

- ① 生涯学習の充実、民間指導者層の育成及び拡充を図ります。
- ② 社会教育施設の整備充実、活用の促進を図ります。

(3) 社会教育の振興

◇ 平成27年度 社会教育委員

平成27年6月1日現在

氏名	選出母体	公職・その他
前田 芳穂	校長会	瀬戸市小中学校長会副会長・陶原小学校長
矢野 桂子	公民館	瀬戸市公民館協議会副会長・水南公民館館長
横井 暢彦	子ども会	瀬戸市子ども会連絡協議会会長
戸田 千里	婦人団体	瀬戸市地域婦人団体連絡協議会会長
加藤 吉明	P T A	瀬戸市小中学校P T A連絡協議会会長
川本 まり子	体育団体	瀬戸市体育協会常任理事
鳥井 彰人	医師会	瀬戸旭医師会副会長
田沼 春二	文化団体	瀬戸陶芸協会常任理事
井上 順子	福祉団体	瀬戸市民生委員児童委員協議会主任児童委員部会長
椿井 信仁	薬剤師会	瀬戸旭長久手薬剤師会副会長
伊藤 良三	学識経験者	人権擁護委員瀬戸地区委員

社会教育委員……社会教育に関する諸計画を立案、教育委員会の諮問に答え、又は教育委員会に対し意見を具申し、また、このために必要な調査研究を行います。

定数及び任期……13名以内、2年任期 平成26年6月1日～平成28年5月31日

(4) 社会教育事業

- ① 社会教育講座・生涯学習セミナーの開催
学習活動の機会を増やし、生涯学習のきっかけづくりを行います。
- ◇ 平成26年度 生涯学習セミナー実績

講座名	開催日	参加者数
品野の森・里山学校サマースクール (1泊2日)	7月31日 ～8月1日	34人
子育て支援者研修会	8月1日	65人
子育てパパ・ママの学びセミナー ・『仲よし夫婦のハンドマッサージ』 ・『子育てパパのキャンプ教室』 ・『Aloha! フラダンス体験』 ・『父子チャレンジ みんな大好き 秘密のピザ作り』 ・『ハッピー おやこヨガ』(2回) ・『幼児のためのセルフディフェンス』	6月15日 6月29日 7月4日 9月6日 9月9日 3月8日	10組(19人 託児6人) 16組(60人) 17人(託児12人) 7組人(14人) 18組(38人) 13組(26人)



「父子チャレンジ みんな大好き秘密のピザ作り」の様子



「品野の森・里山学校サマースクール」の様子

◇ 平成26年度 学びキャンパスと

「自分が得意なことを教えたい」という熱意のある公募による市民講師が「教える生きがい」をもって講座を企画・運営し、多彩で豊かな講座を提供する新しい講座の仕組み、「学びキャンパスと」を開催しました。

講座の内訳は、パソコン、趣味・教養、美術、軽運動、書道、語学、市民生活、健康、音楽、料理、親子向けとなっています。

前期は97名の講師が102講座を開き受講生は1804名、後期は90名の講師が88講座を開き受講生は1710名でした。



「水彩教室」の様子

(5) 地区公民館事業

① 勤労青少年教養講座(平成27年度)

勤労青少年向けの講座を開催し、生涯学習のきっかけづくりと交流を図っています。

② 地区公民館生涯学習補助事業(平成27年度)

市内各地域において生涯学習の機会を増やし、また、その活動を促進するとともに、地区公民館が地域における生涯学習の中核施設としての役割を果たしていくことを推進するために、関係事業に補助金を交付しています。

(6) 施設の概要

生活、文化、教養の向上や、地域住民の連帯意識の高揚を図るため、各種の教育事業と住民の主体的な学習・創造活動が行われています。
(平成27年4月1日現在)

館名	館長氏名	所在地	電話	設立年月日	建物延面積	建物構造
陶原公民館	加藤和守	熊野町98	83-3579	S28. 2. 1	620 m ²	鉄筋2階
深川公民館	小寺健三	宮脇町53	82-0453	S28. 2. 1	403 m ²	鉄筋2階
祖母懐公民館	山田重夫	上ノ切町43	82-9304	S28. 2. 1	730 m ²	鉄骨1階
古瀬戸公民館	丹羽静夫	西拝戸町16-10	83-8741	S28. 2. 1	413 m ²	鉄筋2階
東明公民館	鈴木一己	西拝戸町16-3	82-8024	S28. 2. 1	427 m ²	鉄筋2階
效範公民館	長江保	北山町39	82-1095	S28. 2. 1	709 m ²	鉄筋2階
長根公民館	伊藤繁男	城屋敷町22	85-0911	S44. 4. 1	686 m ²	鉄筋2階
水南公民館	矢野桂子	東松山町154	21-2556	S28. 2. 1	409 m ²	鉄筋2階
水野公民館	山田実	中水野町1-150	48-1112	S28. 2. 1	650 m ²	鉄筋2階
山口公民館	加藤英憲	田中町108	87-0700	S38. 4. 1	745 m ²	鉄筋2階
幡山公民館	松原脩	幡山町71	87-4000	S30. 4. 1	428 m ²	鉄筋2階
下品野公民館	中島日出男	品野町6-105	41-4118	S34. 4. 1	874 m ²	鉄筋3階
掛川公民館	水野辰美	定光寺町1206	48-6165	S38. 4. 1	153 m ²	鉄骨1階
原山公民館	菊川照一	原山台8-163	83-9231	S48. 4. 1	405 m ²	鉄筋2階
萩山公民館	小原精司	萩山台4-2-2	84-2088	S50. 11. 1	405 m ²	鉄筋2階
八幡公民館	石田裕康	八幡台1-145-2	82-9456	S52. 5. 7	405 m ²	鉄筋2階

(7) 瀬戸市公民館協議会に関する事業

地区公民館相互の情報交換と地域課題を解決する糸口を見出す方策や指導者を養成する事業を行い、地域における公民館活動の一層の振興を図ります。

◇ 協議会役員

平成27年4月1日現在

役職名	氏名	所属
会長	加藤和守	陶原公民館
副会長	矢野桂子	水南公民館
副会長	山田実	水野公民館
監査	小寺健三	深川公民館
監査	菊川照一	原山公民館

◇ 事業（平成26年度）

- * 公民館グラウンドゴルフ大会（第1回）
平成26年5月11日（日）
- * 愛知県公民館連合会総会
平成26年6月2日（火）
- * 中学校区指導者研修会
平成26年7月～11月
- * 瀬戸市・韓国利川市生涯学習フォーラム
平成26年9月27日（土）
- * 平成27年成人式
平成27年1月11日（日）各地区公民館等（15会場 該当者1,437名 参加者1,166名）
- * 愛知県公民館連合会・県社協合同中央研修会
平成27年1月28日（水） 「愛知・地域づくり推進大会」 刈谷市総合文化センター
平成27年2月19日（木） 「社会教育活性化フォーラム」 //
- * 瀬戸市公民館大会
平成27年2月28日（土） 瀬戸蔵つばきホール
記念講演 「任意後見制度について」
- * 公民館長会議 年4回開催
- * 公民館長・運営委員長合同会議 年2回開催
- * 運営委員長会議 年3回開催

(8) 「大学コンソーシアムせと」による教育支援

「大学コンソーシアムせと」は、平成15年に瀬戸市と近隣の大学とが連携し、市民への生涯学習の機会の提供や市民と大学との交流促進、大学と行政による地域研究などを目的に作られた組織です。

事業は、「地域交流事業」と「教育事業」があり、特に教育に関わる事業として、教育現場問題研修会や小中学校の教育現場支援、生涯学習講座などを実施しています。

① 平成26年度 教育現場問題研修会・学習会実績

小中学校教員が教育現場で抱える問題の解決の一助となるようにと、小中学校教員を対象とした研修会・学習会を開催し加盟大学より教員を派遣しています。

研修会・学習会内容	担当大学	開催場所	実施日	参加教員数
特別支援障害講座	名古屋学院大学	文化センター	8月27日	45人
	名古屋産業大学	文化センター	8月25日	73人
カウンセリング講座	金城学院大学	やすらぎ会館	8月7日	59人
理科実験講座	愛知工業大学	愛知工業大学	8月21日	25人

② 平成26年度 小中学校教育現場支援実績

小中学校へ大学教員や学部生、留学生を派遣し実際の教育現場での児童・生徒の授業を支援しています。近年は、発達障害児対応の支援が増えています。

内 容	担 当 大 学	小 中 学 校 名	実 施 日
留学生による国際理解(全5日)	金城学院大学	陶原小学校	6月18日、27日
		東明小学校	1月20日、29日 2月3日
	南山大学	幡山中学校	10月20日
大学教員による理科実験 理科学習(全8日)	愛知工業大学	祖母懐小学校	12月8日
		掛川小学校	10月7日
		萩山小学校	1月30日
		長根小学校	12月15日、16日、19日
	名古屋産業大学	下品野小学校	1月20日、23日
大学教員による発達障害 児対応の巡回指導(全37 日)	金城学院大学	道泉小学校	6月27日、10月17日
		祖東中学校	6月16日
		南山中学校	7月7日
		深川小学校	6月17日、11月4日
		幡山中学校	6月10日
		本山中学校	10月30日
		幡山東小学校	6月18日、11月5日
	名古屋学院大学	西陵小学校	6月27日、12月5日
	名古屋産業大学	幡山西小学校	6月11日、11月5日
		東山小学校	6月18日、11月19日
学部生による発達障害児 に対する特別支援	名古屋学院大学	古瀬戸小学校	5月7日～(計21日)

③ 講演会・講座主催事業等(○大学別テーマ講演会、◇カレッジ講座)

専門的でわかりにくいと思われがちな大学教員の研究を市民のみなさんにわかりやすく楽しく紹介し、学んでいただく講演会・講座を行いました。

VII 社 会 体 育

1 社会体育

(1) 基本方針

スポーツを通じて市民の健康保持・増進とともに、競技スポーツの競技力向上及びアマチュアスポーツの振興に努めます。市民が生涯を通じて自分に合ったスポーツに親しみ、健康づくりができるような環境の整備充実と、生涯スポーツを根底においたスポーツ人口の拡大を目指し、スポーツ活動の普及に努めています。

(2) 重点目標

- ① 生涯にわたりスポーツに取り組む意識の向上と市民総スポーツの実現
- ② 地域スポーツ振興とスポーツ指導者の養成、資質の向上
- ③ スポーツをする機会の提供
- ④ 充実した施設の提供と学校体育施設の有効活用
- ⑤ 総合型地域スポーツクラブの設立・活動支援
- ⑥ 生涯スポーツ及び競技スポーツと学校体育（部活動）との連携の推進

(3) スポーツ推進委員

「市民の体力づくり」「市民スポーツ事業の振興」「アマチュアスポーツの普及発展」という三つの目標に向かって、積極的にその事業の推進を図り、特にコミュニティスポーツの指導者養成及び組織づくりを中心に、個人の健康とスポーツに対する市民意識の盛り上がりを図るため、関係機関・団体にアピールし、市民の健康や体力向上を期するための活動をしています。

現在30名（地区公民館・地域交流センター推薦18名、体育協会推薦10名、学識経験者2名）でその任務にあたっています。

(4) 総合型地域スポーツクラブ支援

地域住民が主体となり、誰でも、いつでも、どこでも、気軽にスポーツができる、生涯スポーツ環境を実現するため、総合型地域スポーツクラブの設立及び活動支援に努めています。平成16年8月に市内で初めての総合型地域スポーツクラブである「品野スポーツクラブ」が設立されたのに続き、平成19年8月に「水野・西陵いきいきクラブ」が設立され、会員により自主運営されています。上記の2団体を支援しつつ、他の地域におけるクラブの必要性や今後の方向性についても引き続き検討していきます。

2 体育・スポーツ活動

(1) スポーツ教室

定期的にスポーツをしたい方や新たにスポーツを始めようとする方たちに機会を提供することを目的として、平成26年度は次の教室を開催しました。



競技名	開催数 (回)	参加数 (人)	競技名	開催数 (回)	参加数 (人)
ウォーキング&健康づくり	3	145	ソフトバレーボール	1	19
幼児体力づくり	3	132	バスケットボール	2	24
ソフトテニス	2	90	ミニバスケットボール	3	193
陸上	2	76	ジュニアサッカー	1	190
剣道	2	15	テニス	3	38
卓球	2	39	バドミントン	2	19
弓道	2	21	少林寺拳法	2	12
柔道	1	10	ラグビー	1	120
スキー	2	74	空手	2	34
ソフトエアロビクス	9	542			
ウォーキング	6	301	合 計	51	2,094

(2) スポーツ大会

① 市民体育大会

市民体育大会は、当市のスポーツの祭典と呼べるもので、多数の市民に参加の機会をつくり、スポーツの普及と体力の増進を図り、健康で明るい市民の育成を目的に行われています。

平成26年度で65回目を迎え、5月25日(日)の総合開会式を皮切りに、23種目28大会で熱戦が繰り広げられました。



第65回市民体育大会

競技名	大会数 (回)	参加数 (人)	競技名	大会数 (回)	参加数 (人)
陸上競技	1	113	テニス	1	182
ソフトテニス	1	182	バドミントン	2	145
軟式野球	1	1,260	ソフトボール	1	316
剣道	1	265	クレール射撃	1	17
卓球	1	251	ボウリング	1	38
弓道	1	74	少林寺拳法	1	18
バレーボール	4	559	ラグビー	2	490
柔道	1	26	ウエイトリフティング	1	36
スキー	1	35	ビーチボール	1	163
体操	1	280	グラウンドゴルフ	1	197
バスケットボール	1	420	空手道	1	293
サッカー	1	60	合計	28	5,420

② 瀬戸地方近郊駅伝競走大会

本大会は昭和27年に始まり、平成26年で63回目を迎え、伝統ある広域的な大会として定着しています。第62回大会から中学生の部（男子・女子）を創設し、参加チームは年々増加する傾向にあります。

また、平成23年以降は、小学生駅伝大会も同時開催しています。



第63回大会参加状況（平成26年12月14日実施）

男子第1部（一般）・5区間	25チーム
男子第2部（一般）・4区間	56チーム
男子第3部（高校生）・5区間	46チーム
一般女子の部・4区間	31チーム
中学生男子の部・4区間	67チーム
中学生女子の部・4区間	33チーム

小学生駅伝大会

男子の部・4区間	30チーム
女子の部・4区間	15チーム

(3) 学校体育施設スポーツ開放

学校体育施設を学校教育に支障のない範囲内において開放することにより、広く市民にスポーツ活動の実践の機会を提供し、市民の健康保持増進と体力の向上に努めています。

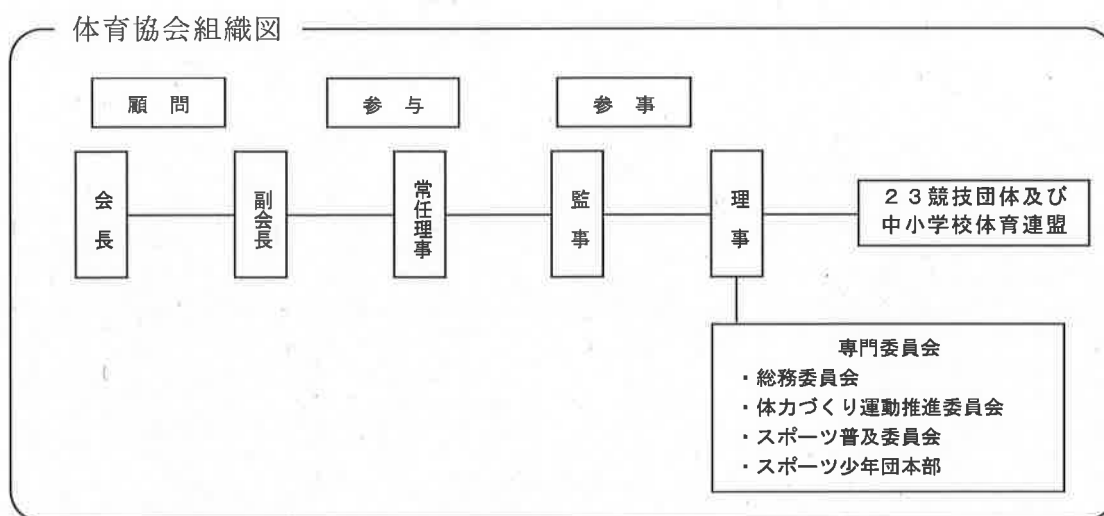
市内在住者又は在勤者により構成された登録団体が各学校体育施設を利用しています。
平成26年度の利用者数は111,826人です。

学校開放実施状況（平成27年3月現在）

	開放施設
小学校（19校）	屋内運動場、校庭
中学校（8校）	屋内運動場、柔剣道場、校庭
高等学校（1校）	校庭

(4) 社会体育団体

瀬戸市体育協会（24団体 約9,300人加盟）は「市民スポーツ事業の振興」と「競技力向上、アマチュアスポーツの発展」という2つの目標に向って、積極的に各種事業の推進を図り、スポーツに対する市民意識の盛り上がりを図るため、関係機関、協会加盟団体と密接に協力して、各種のスポーツ大会を開催し、その実現を期しています。



平成26年度 瀬戸市体育協会主催(共催)大会

競技名	大会数(回)	参加数(人)	競技名	大会数(回)	参加数(人)
陸上競技	1	305	サッカー	4	1,350
ソフトテニス	9	2,342	テニス	10	1,383
軟式野球	20	8,400	バドミントン	4	268
剣道	4	847	ソフトボール	2	821
卓球	15	2,837	ボウリング	10	625
弓道	4	289	ウエイトリフティング	1	48
バレーボール	13	1,475	ビーチボール	2	348
柔道	2	88	グラウンドゴルフ	4	706
スキー	1	38			
バスケットボール	8	1,813	合計	114	23,983

3 スポーツ施設

(1) 施設一覧

	施設名	所在	敷地面積(m ²)	建物床面積(m ²)	規模	竣工
有 料 施 設	体育館	市民公園内	4,809	5,240	第1競技場(1,575 m ²) バスケットボール 2面 バレーボール 3面 バドミントン 8面 卓球台 14 台 体操全種目 第2競技場(440 m ²) バレーボール 1面 バドミントン 2面 卓球台 10 台 トレーニングルーム(163 m ²)	S54. 3.15
	第二体育館				1,773	競技場(910 m ²) バスケットボール 1面 バレーボール 2面 バドミントン 6面 卓球台 12 台 大鏡 トレーニングコーナー(132 m ²)
	野球場		20,300	820	両翼 100m、センター 125m 照明施設	S45.11. 1
	陸上競技場		28,168	425	400m 単心円トラック 8コース 3,000m 障害池	S48.10.31
	A テニスコート		5,500	129	砂入人工芝舗装 6面 照明施設	S49.10. 1
	B テニスコート		3,177		砂入人工芝舗装 4面	S55. 3.31
	プール		8,095	460	25m 7コース、50m 9コース 幼児用プール	S46. 6.20
	武道館		1,288	630	柔道場 1面 剣道場 2面	S47.11.10
	弓道場		2,167	272	近的(28m)10人立 遠的(60m) 5人立	S47.11.10
	窯神グラウンド	磁祖公園内	10,231		両翼 91m センター 100m	S55.10.20
	陶祖グラウンド	陶祖公園内	8,303		両翼 71m センター 80m	S56. 9.30
	南公園グラウンド	南公園内	12,000	22	両翼 90m センター 100m 照明施設	S62. 3.13
	東公園グラウンド	東公園内	16,000	22	レフト 85m ライト 91m センター 105m	S59. 3.14
	東公園テニスコート		4,500	85	砂入り人工芝 4面	H15.3.18
	北グラウンド	北スポーツ施設内	11,500		両翼 92m、センター 105m	H4. 3.30
	北テニスコート		2,780	78	アクリル系樹脂舗装 4面	H4.12. 7
定光寺野外活動センター	鹿乗町地内	27,685	1,908	管理棟、屋外施設(キャンプ場・ 営火場・炊飯場)、トリム施設	S60. 7.10	
無 料 施 設	ゲートボールコート	市民公園内	824		クレイ舗装 1面	S56. 3.15
	ジョギングコース				Aコース(1.5km) Bコース(1.2km)	
	オリエンテーリングコース				10ポイント	
	東公園運動広場	東公園内	4,262		ゲートボール 5面 ミニサッカー 1面	S60.12. 6
	トリムコース				1.5km コース	
	オリエンテーリングコース				8ポイント	

(2) 利用方法

2 か月先までの申込みを先着順で使用許可しています。ただし、申込みの多いテニスコートと野球場の土曜・日曜及び祝日については、市内在住、在勤又は在学者により構成された登録団体からの申込みを受け、抽選で決定しています。

(3) 平成26年度スポーツ施設等利用状況

施設名		利用者数(人)	備考
市民公園	体育館	199,678	
	野球場	14,097	4月～10月ナイター使用
	陸上競技場	19,882	
	テニスコート	73,526	4月～10月ナイター使用
	プール	16,351	7月・8月使用
	武道館	29,566	
	弓道場	8,648	
	芝生広場	9,555	
窯神グラウンド		6,613	
陶祖グラウンド		11,427	
南公園グラウンド		25,570	4月～10月ナイター使用
東公園グラウンド		8,850	
東公園テニスコート		11,460	
東公園運動広場		12,147	
北グラウンド		7,894	
北テニスコート		9,555	
パーティせとフィットネスジム		24,341	
合計		489,160	(平成25年度利用者数 497,540人)

4 定光寺野外活動センター

青少年を中心として、みどり豊かな森での野外生活により自然と親しみ、自然を理解する機会を提供するとともに、団体生活をとおして、規律・協調・友愛・奉仕の精神を体得し、心身共に健全な成長を図ることを目的としています。

平成26年度利用状況

	団体利用			個人利用	合計
	キャンプ	デーキャンプ	その他		
利用者数	5,101人	1,369人	1,748人	7,577人	15,795人

VIII 文化財保護

1 文化財保護活動

(1) 基本方針

文化財は、わが国、わが郷土の歴史や文化を正しく理解するための貴重な有形無形の文化遺産であり、人類の発展の基礎をなすものです。したがって、この文化遺産を大切に保護し、次の世代に引き継ぐために、市内に所在する文化財を広く市民に周知し、郷土の歴史に対する一層の関心と文化財の愛護思想の普及に努めます。

(2) 重点目標

- ① 市域に所在する文化財全般にわたる調査・研究に努めます。
- ② 特に重要な文化財については指定を行い、保護に努めます。
- ③ 市内の埋蔵文化財の把握と周知に努め、開発事業に伴う保護措置の事前協議の徹底を図ります。
- ④ 文化財の活用を図り、保存・整備に努めます。

(3) 文化財保護審議会

① 任務

審議会は、文化財の保存及び活用に関し、教育委員会の諮問に答え、または教育委員会に意見を具申し、また、このために必要な調査研究を行います。

② 定員及び任期

委員 7名 平成25年10月1日～平成27年9月30日

文化財保護審議会委員 平成27年4月1日現在

会 長	亀 井 勝
副 会 長	伊 藤 昭 蔵
委 員	大 塚 英 二
委 員	加 藤 作 助
委 員	加 藤 光 也
委 員	成 田 一 成
委 員	水 野 和 郎

※水野委員の任期は平成26年8月7日～平成27年9月30日

(4) 文化財の指定・登録及び指定解除

- ① 市文化財の指定(平成26年度 0件)
- ② 国文化財の指定・登録(平成26年度 1件 (外国文化審議会答申 1件))

ア 指定名称(名称変更および追加指定(尾張戸神社古墳ほか))

史 跡 志段味古墳群 尾張戸神社古墳 土地所有者:尾張戸神社

イ 指定(文化審議会答申)名称(名称変更および追加指定(瓶子陶器窯跡))

史 跡 瀬戸窯跡 小長曾陶器窯跡・瓶子陶器窯跡 土地所有者(瓶子):瀬戸市・国土交通省

瀬戸市域の指定文化財一覧表

平成27年7月1日現在

区	種	別	指定名称	員数	所在地等	時代	指定年月日	
国 指 定	有 形	建造物	定光寺本堂	1棟	定光寺	室町後期	大15. 4. 19	
			瀧公(徳川頼貞)廟、焼香殿他	7棟	定光寺	江戸前期	昭12. 8. 25	
		工芸	陶製伯犬	1軀	深川神社	鎌倉	大元 9. 3	
			太刀鋸助重	1口	定光寺	鎌倉中期	大 8. 4. 12	
			太刀鋸守家	1口	定光寺	鎌倉中期	大 8. 4. 12	
			灰釉多口瓶	1口	愛知県陶磁美術館	平安前期	昭50. 6. 12	
			渥美灰釉芦鷺文三耳壺	1口	愛知県陶磁美術館	平安末期	昭51. 6. 5	
	陶製五輪塔	1基	愛知県陶磁美術館	平安末期	平 7. 6. 15			
	民俗	有形民俗	瀬戸の陶磁器の生産用具 及び製品	3,943点	歴史民俗資料館	江戸以降	昭49. 2. 18 昭50. 9. 22	
	記念物	史跡	小長曾陶器窯跡	524 m ²	東白坂町1-1 他	室町中期	昭46. 7. 13	
志段味古墳群 尾張戸神社古墳			986.07 m ² 270.34 m ²	十津町845	古墳	平14. 3. 19 平26.10. 6		
県 指 定	有 形	彫刻	木造阿彌如来立像	1軀	下半田川町746	平安末期	昭34. 1. 16	
			木造十一面観音菩薩立像	1軀	下半田川町746	平安末期	昭34. 1. 16	
		工芸	御架井種木瓜形水盤	1口	市歴史民俗資料館	江戸前期	昭57. 3. 31	
			陶製牡丹文経筒外容器	1口	愛知県陶磁美術館	平安末期	昭59. 2. 27	
			猿投灰釉磁器壺	1口	愛知県陶磁美術館	平安中期	昭59. 2. 27	
			鉄釉巴文瓶子	1口	愛知県陶磁美術館	鎌倉末期	昭59. 2. 27	
	御架井種青草文双耳水甕	1口	市歴史民俗資料館	江戸中期	平 4. 2. 28			
考古資料	猿投灰釉磁器壺及び平瓶	各1口	愛知県陶磁美術館	平安前期	昭59. 2. 27			
無形	工芸技術	陶芸織部・黄瀬戸	1件	保持者 加藤作助		平16. 8. 20		
民俗	有形民俗	陶製伯犬コレクション	210 軀	愛知県陶磁美術館	室町・大正	昭59. 3. 30		
市 指 定	有 形	建造物	一里塚本業窯	1基	一里塚町27	昭和	昭50. 7. 21	
			直入橋	1橋	定光寺町373	江戸前期	昭58. 6. 1	
			石燈籠	1基	落合町1	江戸前期	平 4. 2. 21	
			石燈籠	1基	八幡町3	江戸前期	平 5. 2. 19	
			石造鳥居	1基	八幡町3	江戸前期	平 5. 2. 19	
			洞本業窯	1基	東神町45 他	昭和	平 7. 2. 13	
			石造鳥居	1基	巡問町1	江戸中期	平 8. 2. 9	
			古窯(こがま)	1基	瀬戸染付工芸館	昭和	平 9. 2. 14	
			深川神社本殿	1棟	深川神社	江戸後期	平11.11.12	
			常夜燈	1基	秋葉町100の2	江戸後期	平13. 2. 7	
			彫刻	石造阿彌如来坐像	1軀	片草町401	江戸中期	昭60. 5. 1
				石造地藏菩薩立像	1軀	片草町401	江戸中期	昭60. 5. 1
			絵画	聖徳太子絵伝	4幅	万徳寺	室町中期	平18. 2. 10
			工芸	六角陶碑	1基	藤四郎町1	江戸末期	昭49. 4. 1
	永享年銘対鐘	1口		深川神社	室町中期	昭57. 3. 1		
	陶質十六羅漢塑像	16 軀		宝泉寺	江戸末期	昭57. 3. 1		
	志野焼燈籠	1対		藤四郎町1	明治	平 5. 2. 19		
	織部燈籠	1基		深川神社	江戸後期	平 8. 2. 9		
	染付花吉草文大燈籠	1基		市歴史民俗資料館	明治	平 9. 2. 14		
	染付花鳥図蓋付大筋壺	1口		市歴史民俗資料館	明治	平10.11.20		
	古瀬戸瓶子	1対		宝泉寺	鎌倉	平17. 2. 10		
	古瀬戸瓶子	1対		赤津町85	鎌倉	平25. 3. 18		
	典籍	聖徳太子伝	5冊	万徳寺		平18. 2. 10		
		大般若経	155巻	東菱野町59-1	鎌倉・室町	平20. 9. 12		
	歴史資料	織田信長の御札	1通	窯町63	室町末期	昭53.11. 1		
		窯屋証文	1通	五位塚町11-541	江戸初期	平 9. 2. 14		
		陶製対鐘	1口	法雲寺	昭和	平 9. 2. 14		
		祠堂帳	1巻	定光寺	室町	平11.11.12		
		等原村・両半田川村国境争論絵図	1枚	上半田川町・下半田川町	江戸前期	平16. 2. 6		
	古文書	松原広長寄進状	1点	万徳寺	江戸	平18. 2. 10		
		加藤善三郎家文書	481点	窯元町80	江戸	平 6. 2. 18		
		加藤新祐衛門家文書	140点	窯町63	江戸	平 6. 2. 18		
		松本茂助家文書	711点	穴田町64	江戸	平13. 2. 7		
菱野郷倉文書	7780点	東菱野町59-1	江戸～昭和	平20. 9. 12				

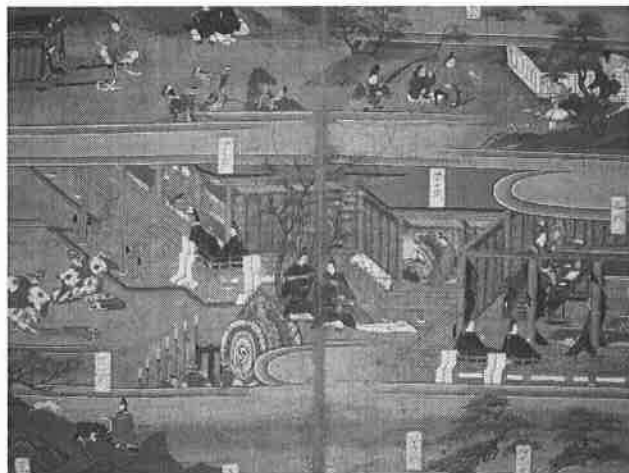
無形	工芸技術	陶芸 黄瀬戸	1件	保持者 加藤兼平		平18. 2. 10
		陶芸 織部	1件	保持者 加藤錦三		平18. 2. 10
		陶芸 灰釉	1件	保持者 田沼春二		平19. 5. 18
無形	工芸技術	陶芸 色絵磁器	1件	保持者 林 邦佳		平19. 5. 18
		陶芸 御深井	1件	保持者 加藤善三郎		平20. 5. 9
		有線七宝	1件	保持者 柴田 明		平22. 6. 18
		陶芸 練り込み	1件	保持者 水野孝雄		平22. 6. 18
民俗	有形民俗	菱野のおでく	1体	東菱野町59-1	江戸~大正	平17. 2. 10
	無形民俗	品野祇園祭の神武天皇像および従者像	3体	品野町2丁目40(全宝寺祇園堂)	昭和	平24. 3. 18
記念物	史跡	本地大塚古墳	1基	西本地町1-109	古墳	昭51. 5. 1
		宮地古墳群	1,542㎡	上之山町2-171-15	古墳	平 5. 2. 19
		広久手第30号窯跡	15.7㎡	吉野町320番地	平安中期	平18. 9. 27
	名勝	石樋	約750㎡	水北町1027-2		平 4. 2. 21
		目鼻石	約530㎡	十車町439		平 7. 2. 13
天然記念物	マルバタラヨウ	1本	中水野町1-579		平 9. 11. 18	
		マメナシ	1本	東松山町154		平16. 2. 6

登録文化財

区	種別	指定名称	員数	所在地等	時代	登録年月日
国	建造物	鐘楼	1棟	白坂町(雲興寺)	江戸中期	平17. 12. 26
		礼拝堂	1棟	杉家町(瀬戸永泉教会)	明治	平22. 4. 28



市指定 広久手第30号窯跡 平安時代中期



市指定 聖徳太子絵伝(部分) 室町時代中期



国指定 源敬公(徳川義直)廟 江戸時代前期



市指定 染付花唐草文大燈籠 明治期

(5) 埋蔵文化財の調査・普及啓発

① 財団法人瀬戸市文化振興財団の文化財関係事業

ア 発掘調査事業

市内遺跡(若宮遺跡(2ヶ所)・大草12・13号窯跡・八王子遺跡
・石田遺跡(3ヶ所)・東洞A窯跡) 発掘調査(確認調査)実施
市内遺跡(経塚山西窯隣接地) 試掘調査実施
市内遺跡(今村城跡) 報告書刊行

夕日窯跡4号窯跡 本発掘調査(史跡整備目的)実施
東印所A窯跡 報告書刊行

イ 文化財調査事業

六角陶碑一字一石経 整理報告書刊行

ウ 普及啓発事業

1) 企画展

- ① 「陶祖伝-陶祖伝記とその時代-」平成26年4月19日(土)～6月1日(日)
- ② 「新出土品展 矢田川流域の集落遺跡」平成26年6月7日(土)～7月27日(日)
- ③ 「古瀬戸後期の様相」 展示図録刊行「古瀬戸中期様式の様相-古瀬戸系施釉陶器窯の成立と展開-」

平成27年1月24日(土)～4月5日(日) 瀬戸蔵ミュージアム

歴史講演会「古瀬戸の展開」：藤澤良祐氏(愛知学院大学)平成26年2月21日(土) 瀬戸蔵多目的ホール

2) 市内小学校への「出前講座」等講師派遣7件

幡山東・陶原・道泉・古瀬戸・品野台・幡山西 各小学校、および下品野公民館

(6) 文化財の保存と整備

① 国指定史跡小長曾陶器窯跡管理 史跡の管理及び見学等への対応

② 国指定特別天然記念物オオサンショウウオの保護、普及啓発

○人工巣穴清掃の実施 平成26年6月29日(日)

○夜間観察会の実施 平成26年7月26日(土)、8月23日(土)、9月7日(日)

③ 全国巡回展 文化庁「発掘された日本列島2014」への展示協力(瀬戸窯跡出土資料75点(愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵資料含む)の貸出し)

④ 荏坪古墳(内田町1丁目)史跡整備用地の整備(既存建物撤去・保護フェンス設置)

⑤ 「旧山繁商店」の国登録文化財化 平成26年9月26日に「旧山繁商店」の9件の建造物等を国登録文化財(建造物)とする旨の意見具申書を文化庁に提出。

⑥ 「瀬戸窯跡」(瓶子窯跡)の国史跡化 平成27年1月19日に既存の史跡「小長曾陶器窯跡」を名称変更し「瀬戸窯跡 小長曾陶器窯跡」とし、新たに「同瓶子陶器窯跡」を追加指定する旨の国史跡意見具申書を文化庁に提出

⑦ 国庫補助事業「地域の文化遺産を活かした地域活性化事業」として、(1)「郷社祭り」(平成25年6月9日開催記録、(2)文化遺産紹介ビデオ「風にのって」「瀬戸に暮らす～洞地区～」の3本の映像DVDを作成

⑧ 名木調査 平成9年調査名木の追跡調査を調査会の協力を得て実施。定光寺北側の調査・ヒツバク調査等

⑨ 窯垣分布調査 「大学コンソーシアムせと」におけるまちづくり協働プログラム事業として、名古屋産業大学とともに窯垣分布調査と市民意識調査を実施

(7) 文化財の普及啓発

① 広報せとに「瀬戸の文化財」掲載(毎月1日号)

② 文化財見学会・無形民俗文化財等発表会

ア 「せと歴」(せと 歴史と文化財を知る見学会)の実施

「品野の中馬街道を歩く」(平成26年11月30日(土))

イ 近代化遺産全国一斉公開に合わせ、瀬戸永泉教会と共催で「瀬戸永泉教会礼拝堂と明治・大正・昭和のセトマチ」として薬師町・前田町・陶生町境界の歴史散策を開催(平成26年10月18日(土))

ウ 愛知県と共催で「あいちの伝統文化まつり～めでた めでたや!あいちの寿～」開催(平成27年1月18日(日))



文化庁「発掘された日本列島2014」展



せと歴! 「品野の中馬街道を歩く」(片草町)

資 料

1 沿革

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
S. 27	1952	4. 1 6. 16 7. 23 10. 5 11. 1	戦後っ子初の入学式 中央公民館（深川小校舎改造） 設立、図書館を移転し併設開館 南山中学校校舎 2 棟焼失 県・市教育委員選挙 瀬戸市教育委員会発足（庶務課 長山田栄教育長代行）	4. 16 3. —	瀬戸市保健所竣工 水北保育園開園
28	1953	1. 3 1. — 1. — 7. —	初代教育長 伊藤一雄就任 各小学校区に地区公民館を設置 成人式開催（旧成人祭を改称） 深川小学校 プール竣工	2. — 4. 28 7. — 8. 15 11. 16	赤津保育園開園 上品野町で大火 13 軒全焼、4 軒 半焼 上品野保育園開園 水南保育園苗場町開園 瀬戸医師会が当直制を開始
29	1954			4. 1 6. — 7. 1 8. 13	市営公益質屋開業 幡山東・幡山西保育園開園 瀬戸市及び品野町自治警を廃 し、国家地方警察として再出発 瀬戸青年会議所できる
30	1955			2. 11 5. 28 9. 29	幡山村合併（合併時幡山村人口 5,313 人、戸数 1,044 戸） 八王子保育園開園 瀬戸市青少年問題協議会発足
31	1956	6. — 10. 1	陶原小学校に瀬戸教科書センタ ー設置 教育委員任命制により発足	6. 1 9. —	瀬戸市青年団体協議会結成 古瀬戸保育園開園
32	1957	3. 12 6. 1	市史編さん委員委嘱 第 2 代教育長 相原邦雄就任	8. 8 11. 1	泉町に集中豪雨による山崩れ発 生 22 名死亡、品野町にも被害 市役所庁舎蔵所町から現在地へ 移転竣工
33	1958			8. 10	第 1 回瀬戸市青年大会
34	1959	1. 16 8. 4 9. 1	下半田川の「木造阿彌陀如来立 像、十一面観音菩薩立像」を県 文化財に指定 瀬戸市立小学校管理規則施行 水無瀬中学校で市内中学校最初 の校舎、鉄筋化が始まる	4. 1 9. 26 10. 1 10. 10	品野町合併（合併時品野人口 9,313 人、戸数 1,809 戸） 伊勢湾台風 市制 30 周年 市民会館竣工
35	1960	4. 1 5. — 7. 15	陶原小学校に特殊学級（2 学級） 設置 雪の聖母修道院・幼稚園創立開 園（私立） 市営共栄プール竣工		
36	1961	3. 31 4. 1	義務教育諸学校の教科用図書の 無償に関する法律公布 小学校、新学習指導要領に基づ く教育実施	2. 3 7. — 12. 6	北保育園に市内はじめての鉄筋 園舎竣工 小児マヒ予防生ワク第一回投与 国鉄岡多線起工式

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
S. 37	1962	4. 1	中学校、新学習指導要領に基づく教育実施	1. 15 10. 25 12. 20	愛知用水利用の県営水道から市営水道が受水開始 消防庁舎竣工（末広町1） 瀬戸市開発公社許可
38	1963	3. 22 4. 1 9. 3	道泉小学校の小学校初の全鉄筋化校舎竣工 聖カピタニオ女子高等学校開校 市内各中学校でミルク給食開始	5. 1 8. 31	加藤繁太郎市長就任 勤労会館竣工
39	1964	4. 1 7. 14 12. 8	教科用図書無料給付開始 幡山中学校に中学校初のプール竣工 瀬戸文化財保存会発足	4. 1 6. 20 10. 1	瀬戸歯科医師会当直制を開始 瀬戸准看護婦学校校舎竣工 こうはん保育園開園
40	1965	4. 1 10. 1	瀬戸ひなご幼稚園開園（私立） 祖母懐小学校、祖母懐町から移転改築	5. 5	瀬戸市社会福祉会館竣工
41	1966	3. 27 4. 1 7. 10	祖母懐公民館全焼 長根小学校創立開校 図書館、東大演習林学生宿舎を改築し現在地へ移転	12. 一	清掃センター竣工
42	1967	4. 一 6. 20	名古屋学院大学瀬戸学舎新築、教養部移転（S. 43. 4 全学移転） 「瀬戸市史陶磁史篇三」刊行	5. 24 12. 7	商工会館竣工 市営上水道赤津浄水場竣工
43	1968	3. 30 10. 1	マリア幼稚園開園（私立） 第3代教育長 松浦正雄就任	1. 8	市営水野団地分譲受付開始（さつき台）
44	1969	3. 31 8. 15 9. 一 9. 1	中央公民館宮脇町に新築移転 「瀬戸市史陶磁史篇一」刊行 陶原小学校、熊野町から移転改築 図書館起工式	5. 24 10. 1	市の木に「くろがねもち」を選定 市営上水道白岩浄水場竣工 市制40周年
45	1970	3. 31 4. 1 6. 17 10. 1 11. 1	図書館移転改築 原山小学校創立開校 真貴幼稚園開園（私立） 私立聖霊学園（中・高・短）名古屋より現地へ移転 図書館開館 瀬戸市スポーツ施設条例施行 市民公園野球場、バレーボールコート竣工	3. 27 4. 1 8. 13	県営菱野団地入居開始（原山台） 八王子保育園を今村保育園に改称し移転改築 瀬戸市青少年育成市民会館発足
46	1971	1. 19 2. 一 4. 1 5. 11 6. 3	南山中学校に中学校初の屋内運動場竣工 品野中学校、品野町から移転改築 教育委員会事務局に体育課設置 瀬戸市学校給食センター条例施行 第一学校給食センター竣工 交通児童遊園（市民公園内）オープン 「自動車文庫せと号」巡回始ま	2. 1 4. 7 4. 8 10. 20	瀬戸市窯業技術センター竣工 窯業専修職業訓練校（現県立窯業高等技術専門校）尾張旭市より移転竣工 瀬戸警察署新庁舎竣工 市内で初の大気汚染測定局陶原町5丁目に竣工

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
S. 46	1971	6. 14 6. 20 7. 13 10. 8	る 全中学校で学校給食始まる 市民公園プール竣工 小長首陶器窯跡（東白坂町）が 国の文化財に指定 長根小学校に小学校初の屋内運 動場竣工		
47	1972	4. 1 8. 1 11. 10	東山小学校創立開校 宿日直制度廃止（学校無人化） 市民公園武道館、弓道場竣工	4. 1 8. 5 9. 1 9. 26	上品野保育園を品野東保育園に 改称し移転改築 東海自然歩道足助～定光寺間オ ープン 下品野保育園を品野西保育園に 改称 新消防庁舎竣工（苗場町） 市役所増築工事竣工 人口 10 万人突破（県下 8 番目）
48	1973	4. 1 5. 28 10. 31	萩山小学校・光陵中学校創立開 校 菱野幼稚園開園（私立） 品野東公民館竣工 市民公園陸上競技場竣工	4. 1 6. 1 9. 29 10. 1 12. 21	みずの保育園開園 勤労青少年ホームオープン 瀬戸市少年センター発足 瀬戸市基本構想議決 ふたば保育園開園（市内で初の 乳児保育） 市営宮川駐車場竣工
49	1974	2. 18 3. 30 4. 1 5. 26 5. 29 8. 1 9. 1 10. 1	「瀬戸の陶磁器の生産用具およ び製品 3,943 点」が国の重要民 俗資料に指定 西陵公民館竣工 教育委員会事務局に教育次長を 置く 瀬戸南高等学校開校（瀬戸窯業 高等学校定時制から分離併置独 立校となる） 瀬戸公園の六角陶碑（陶祖碑） を市の文化財に指定（第 1 号） 幡山東小学校、山口字田中から 移転改築 品野公民館竣工 瀬戸市立視聴覚ライブラリー設置 条例施行 八幡小学校創立開校 市民公園テニスコート（南）竣 工	3. 1 4. 1 5. 12 5. 29 8. 28 12. 3	瀬戸市土地開発公社発足 瀬戸旭准看護学院創立開校 原山・こうはん南保育園開園 老人憩いの家オープン 蛇ヶ洞浄水場竣工 品野支所新庁舎竣工 晴丘センター竣工 県労働者研修センター竣工
50	1975	2. 27 4. 1	道泉公民館竣工 西陵小学校創立開校 はちまん幼稚園開園（私立） 上品野小学校を品野台小学校と 校名変更し移転改築 第二学校給食センター竣工	11. 17	瀬戸郵便局新局舎竣工

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
S. 50	1975	4. 1 7. 21 10. 15	水野小・水南小・東山小・西陵小・水無瀬中・南山中の6校へ配送 幡山東小・品野台小は第1学校給食センター校となる 一里塚町の「本業窯」を市の文化財に指定 瀬戸市歴史民俗資料館竣工		
51	1976	5. 1 9. 10	西本地町の「本地大塚古墳」を市の文化財に指定 瀬戸市学校体育施設スポーツ開放に関する規則施行	4. 1 4. 9 5. 5 5. 6 6. 1	ぽっぽ・萩山保育園開園のぞみ学園開園 瀬戸市友好訪中団中国訪問 自然児童遊園(ねむの森)オープン 瀬戸市西部コミュニティセンター利用開始 公共職業安定所新庁舎竣工
52	1977	3. 23 3. 30 4. 1 11. 3	長根公民館竣工 第4代教育長 加藤朋也就任 教育委員会事務局に学校給食課を設置 瀬戸幼稚園開園(私立) 水野公民館竣工 下品野小学校単独給食開始 下品野小学校(中規模校)昭和52年度学校保健特別優秀賞を受賞し、健康日本一となる	3. 30 3. 31 4. 1 10. 10	水野支所新庁舎竣工 幡山、水野、品野の農協合併し瀬戸市農業協同組合となる ひかり保育園開園 第1回せと市民祭
53	1978	3. — 4. 1 11. 1 12. 11	本山中学校、西印所町から移転改築 県立瀬戸西高等学校創立開校 水南小学校単独給食開始 「信長の制札」を市の文化財に指定(第4号) 幡山公民館竣工	4. 1 4. 19 6. 1 8. 20 12. 11	八幡保育園開園 第2次瀬戸市友好訪中団中国訪問 県陶磁資料館南館オープン 名鉄瀬戸線乗入れ 幡山支所新庁舎竣工
54	1979	3. 15 4. 1 4. 27 5. 2 7. — 12. 15	瀬戸市体育館竣工 市学校事務員、学校より引きあげ始まる メールカー運行開始 水南公民館竣工 市民公園野球場ナイター設備使用開始 4つの小学校でプール完成(下品野、陶原、道泉、幡山東) 東明小学校に屋内運動場竣工 市民公園テニスコート(南)夜間照明竣工	4. 1 5. 21 10. 1 10. 9 —	品野南保育園開園 市の花に「つばき」を選定 市制50周年、市民憲章制定タイムカプセルの埋設 記念誌「瀬戸」刊行 景德鎮市陶磁友好訪問団来瀬国際児童年
55	1980	3. 31 4. 1	幡山中学校に屋内運動場竣工 市民公園テニスコート(北)竣工 第5代教育長 加藤春夫就任	4. 1 6. 26	幡山南保育園開園 赤十字希望の家にベトナム難民入所

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
S. 55	1980	4. 1 10. 20	水野中学校創立開校 古瀬戸・山口公民館竣工 自動車文庫「せと号」2世が瀬戸ライオンズクラブより寄贈される（外架式書架2,000冊） 水野小学校単独給食開始 窯神グラウンド竣工		
56	1981	3. — 3. 31 4. 1 5. 1 9. 30 10. 21	東明・效範公民館竣工 「瀬戸市史陶磁史篇二」刊行 学校教育課・社会教育課に専任課長配置、社会教育課を中央公民館へ移す 幡山東小学校単独給食開始 学校給食に週2回米飯をとりいれる 陶祖グラウンド竣工 掛川小学校移転用地の造成工事起工	—	国際障害者年
57	1982	1. 12 4. 1	祖母懐公民館竣工 西陵小学校単独給食開始	3. 20 10. 4	品野西保育園新園舎竣工 文化センターオープン
58	1983	3. 20 3. 24 3. 26 4. 1 6. 1 8. —	瀬戸市第二体育館竣工 深川公民館竣工 掛川小学校移転改築 学校教育課に指導主事3名配置 定光寺の「直入橋」を市の文化財に指定 県民大学中央講座（8月13日～9月10日市民会館）	3. 30 8. 1 11. 15	古瀬戸保育園改築 全国高校総体愛知県で開催 シルバー人材センター設立
59	1984	3. 14 3. 30 4. 1 5. 11 5. 20 12. 21	東公園グラウンド竣工 加藤作助氏の「陶芸・織部、黄瀬戸、御深井焼」が県の文化財に指定 県立瀬戸北高等学校開校 下半田川町に本市初の周辺地区小規模集会所竣工 陶原小学校、昭和58年度全日本学校環境緑化コンクール特選（文部大臣賞）を受賞し、緑化日本一となる 東公園に全天候型テニスコート竣工	— 6. 18 11. 3 12. 20	国際婦人年 尾張東地方卸売市場開場 県陶磁資料館で上海博物館所蔵「中国歴代陶磁展」開催 「第3次瀬戸市総合計画基本構想」議決
60	1985	3. 1 3. 5	「瀬戸市史資料編一 村絵図」刊行 幡山中学校に初の柔剣道場竣工 原山公民館竣工 瀬戸南高等学校を廃止し瀬戸窯業高等学校定時制となる	— 9. 18 11. 28 12. 23	国際青年年 陶生病院改築高層病棟完成 瀬戸少年院全面改築 市議会議員定数削減条例（36人→30人）可決

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
S. 60	1985	5. 1	片草町の「石造薬師如来坐像・石造地藏菩薩立像」を市の文化財に指定 掛川小学校プール竣工（市内全小学校にプール設置となる） 定光寺野外活動センター竣工 第1回瀬戸国際青年交流会		
61	1986	1. 10 2. 19 3. 15 3. 15 4. 1 9. 25 10. 9	道泉小学校に屋内運動場竣工 祖東中学校・南山中学校に柔剣道場竣工 萩山公民館竣工 「瀬戸市史資料編二 自然」刊行 教育相談室開設 定光寺野外活動センター市民憲章碑竣工 市民公園陸上競技場に炬火台竣工	— 3. 25 5. 10 9. 5 12. 2	国際平和年 養護老人ホーム「陶寿荘」全面改築 瀬戸市文化協会設立 陶生病院外来棟完成 第3セクター愛知環状鉄道株式会社設置 県陶磁器工業共同組合の技術技能研修センター竣工
62	1987	1. 14 3. 13 3. 24 3. 27 4. 1 4. 18 5. 7 7. 11 11. 3	掛川小学校に屋内運動場竣工（市内全小中学校に屋内運動場設置となる） 南公園グラウンド竣工（ナイター施設完備） 八幡公民館竣工 水無瀬中学校・本山中学校に柔剣道場竣工 図書館電算システム稼働 加藤英一氏の「陶芸・掻き落とし技法」、栗木伎茶夫氏の「陶芸・赤絵技法」、水野双鶴氏の「陶芸・練り込み技法」を市の文化財に指定 定光寺野外活動センターにトリム施設竣工 市民公園に噴水広場竣工 万葉歌碑が図書館の前庭に建立	— 2. 23 5. 1 10. 4	国際居住年 瀬戸市施設管理協会設立 井上博通市長就任 陶生病院全面改築完成
63	1988	3. 2 4. 1 4. 20 10. 1	水野中学校柔剣道場・プール竣工 公民館事務協力員を18館に配置 視聴覚ライブラリーが中央公民館より図書館に移転併設される地区公民館18館において、図書の出始め 下品野公民館竣工 私立高等学校授業料補助始まる	1. 31 2. 17 7. 28 10. 1	愛知環状鉄道開業 瀬戸市クリーンセンター竣工 瀬戸市活性化ビジョン「瀬戸・いきいきビジョン21」策定 市のシンボルマーク・ロゴタイプ選定
64	1989			1. 7	昭和天皇崩御
H. 元	1989	1. 10 1. 31	陶磁器食器を使った給食が道泉・東明小学校で試行開始 埋蔵文化財収蔵施設竣工	1. 8 4. 26 8. 1	元号を平成と改元 中小企業大学校瀬戸校が開校 八幡池魚釣り場オープン

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 元	1989	3. 29 4. 1 4. 11 7. 10 8. 1	品野中学校柔剣道場・特別教室竣工 事務局に文化財課を新設 南山中学校プール竣工 水無瀬中学校プール竣工 外国人英語指導助手招致 (ジェニファー・ニカーソン)	10. 1 10. 14	市制 60 周年 消防署東分署 (品野町 1 丁目) 完成
2	1990	3. 29 3. 31 4. 1 4. 8 6. 29 6. 30 8. 1 9. 1 11. 30	光陵中学校柔剣道場・プール竣工 「瀬戸のことば」刊行 第 6 代教育長 加藤浩松就任 自動車文庫「せと号」3 世が瀬戸ライオンズクラブより寄贈される (内外書架式 2, 500 冊) 三国高原集会所竣工 祖東中学校プール竣工 品野中学校プール竣工 外国人英語指導助手招致 (ポール・マッカーシー) 学校給食に陶磁器食器を古瀬戸小・下品野小に導入 品野中学校コンピュータ室設置	3. 3 4. 2 4. 18 5. 11	消防緊急情報システム稼働 総合行政情報システム (SERA) 稼働 高齢者生きがい活動施設完成 尾張東部衛生組合 (晴丘センター) の粗大ゴミ処理施設稼働
3	1991	1. 25 1. 28 3. 25 4. 1 5. 24 8. 1 9. 1 9. 9 9. 21 10. 25 11. 1	加藤舜陶氏の「陶芸・灰釉技法」を市の文化財に指定 瀬戸生涯学習基本構想策定調査委員会設置 「瀬戸市近世文書集 第 1 集」刊行 事務局に国体準備室を新設 定光寺町民会館竣工 外国人英語指導助手招致 (ローナ・ドゥーハースト) (バンクス・キャメロン) 学校給食に陶磁器食器を陶原小・水南小・祖母懐小に導入 水無瀬中学校・南山中学校・本山中学校コンピュータ室整備 臨時学校休業日を設定 「瀬戸市近世文書集 第 2 集」刊行 深川公民館増築	2. 13 2. 27 3. 5 3. 19 7. 20 9. 20	瀬戸川文化プロムナードシンポジウム開催 赤重集会所完成 消防署南分署 (南山口町) 完成 今村橋開通 川端歩道橋完成 市のイメージソング「夢ひとつ・愛ひとつ」発表
4	1992	2. 21 2. 28 3. 27 3. 30	落合町の神明社「石燈籠」・水北町地内の「石樋」、市の文化財に指定 定光寺の「御深井釉唐草文双耳水甕」が県の文化財に指定 効範公民館増築 北グラウンド完成	3. 31 4. 1 4. 8 4. 15 7. 24	晴丘センターの新ごみ処理施設が完成 観光協会移転 (栄町から山脇町) インフォメーションセンター完成 交通安全都市宣言 山脇橋架け替え

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 4	1992	3. 31	「瀬戸市近世文書集 第3集」 刊行	9. 18	六古窯サミット開催
		4. 1	財団法人 瀬戸市埋蔵文化財セ ンター発足（白山町1-46）	10. 1	住民記録管理システム稼働
		6. —	瀬戸市生涯学習基本構想策定	10. 31	公立瀬戸旭看護専門学校校舎が 完成
		7. 29	外国人英語指導助手招致 （モーリス・リチャード）		
		9. 1	学校給食に陶磁器食器を深川 小・幡山東小・水野小に導入		
		9. 12	学校5日制がスタート（第2土 曜日学校休業日）		
		10. 6	祖東中学校・光陵中学校・水野 中学校コンピュータ室整備		
5	1993	2. 10	「瀬戸市近世文書集 第4集」 刊行	4. 1	文化振興課を新設
		2. 19	八幡町の八幡神社「石燈籠」・「石 造鳥居」、藤四郎町の「志野焼燈 籠」、上之山町の「宮地古墳群」 を市の文化財に指定	4. 21	福祉保健センター（やすらぎ会 館）オープン
		2. 20	瀬戸市民生涯学習フォーラム '93 開催	7. 10	週休2日制スタート
		3. 11	幡山中学校校舎増築竣工（コン ピュータ室含む）	9. 11	市民サービスセンターオープン
		7. 19	外国人英語指導助手招致 （フッド・クリストファー）	11. 1	新京橋・追分橋完成
		9. 1	学校給食に陶磁器食器を西陵 小・長根小・效範小・幡山西小 に導入		
		9. 4	歴史民俗資料館展示室改修		
		9. 5	光陵中学校図書館を開放		
		9. 30	「瀬戸市史陶磁史篇四」刊行		
		10. 8	水無瀬中学校ギャラリー整備 下品野小学校和室ランチルーム 整備		
		10. 15	東明小学校校舎大規模改造工事		
		11. 19	わかしゃち国体（リハール大会） ～		
		11. 21			
		12. 20	「瀬戸市史陶磁史篇五」刊行		
		12. 22	水野公民館増築		

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 6	1994	2. 18 2. 24 3. 18 3. 30 4. 一 5. 14 5. 23 7. 14 7. 18 7. 27 8. 一 8. 31 9. 30 10. 30 ～11. 2 12. 一 12. 18	古文書を市の文化財に指定(加藤唐三郎家、加藤新右衛門家) 「瀬戸市史陶磁史篇 4・5」刊行 生涯学習市民講師リスト発行 市指定無形文化財保持者「陶芸・灰釉技法」の加藤舜陶氏が県無形文化財「陶芸・灰釉系技法」保持者に認定 「瀬戸市近世文書集 第5集」刊行 公民館生涯学習委託事業開始 水野小学校図書館を開放 余裕教室等活用検討委員会設置 幡山中学校プール竣工 生涯学習推進連絡調整会議設置 外国人英語指導助手招致(スチープン・チャンピオン)(マヒュー・パー) 図書館と県図書館とのオンライン稼働 中学校(2校)管理諸室空調設備整備 祖東中学校校舎大規模改造工事 わかしゃち国体開催(ウエイトリフティング) 品野台小学校移転建設事業基本設計業務委託 国際家族年講演会開催	3. 25 4. 一 6. 14 9. 14 11. 一	「第4次瀬戸市総合計画基本構想」議決 個人情報保護制度発足 21世紀万国博覧会基本構想まとまる 景德鎮陶器展開催 瀬戸市健康の道完成
7	1995	2. 13 3. 4 3. 21 4. 一 6. 15 6. 30 9. 29	東洞町の「洞本業窯」、加藤靖彦氏(陶芸・瀬戸染付技法)、水野川の「目鼻石」を市の文化財に指定 '95せと女性のつどい開催 子ども名作シアター開催 学校5日制(第2・4土曜日学校休業日) 原山小・東山小単独給食開始同時に陶磁器食器を導入 愛知県陶磁資料館収蔵「陶製五輪塔」国の重要文化財に指定 中学校(6校)管理諸室空調設備整備 品野台小学校移転建設事業実施設計業務委託	1. 17	阪神・淡路大震災発生
8	1996	2. 一 2. 9	SETOウィンディ vol.1 発行(市民向け女性問題啓発冊子) 巡間町大目神社の「石造鳥居」深川神社の「織部燈籠」を市の文化財に指定	1. 一 5. 18 10. 11	市庁舎5・6階増築 瀬戸市斎苑完成 景德鎮市と友好提携

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 8	1996	3. 1	図書館 50 年誌発刊		
		3. 2	' 96 せと女性のつどい開催		
		3. 31	「近世の瀬戸」刊行		
		4. 1	第二学校給食センター第一学校 給食センターに統合 第二学校給食センターを 8・9 年度 2 か年継続事業で増改築 萩山小・八幡小単独給食開始 同時に陶磁器食器を導入		
		4. 15	水無瀬中学校校舎大規模改造設 計委託		
		7. 4	小学校 (5 校) 管理諸室空調設 備整備		
		7. 27	外国人英語指導助手招致 (ペッツ・マヒュー)		
		8. 8	中学生国際交流事業		
		～	(ニュージーランド中学生派 遣)		
		8. 22			
		10. 11	図書館コンピューターシステム 更新 (第 2 次)		
		12. 13	瀬戸市立小・中学校通学区域問 題検討委員会設置		
		12. 25	品野台小学校移転建設 (敷地造 成) 工事着工		

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H.9	1997	2. 一	SETOウィンディ vol.2 発行 (市民向け女性問題啓発冊子)	4. 一	やすらぎ会館増設
		2. 14	西郷町の「古窯」、歴史民俗資料館収蔵「染付花唐草文大燈籠」、五位塚町加藤糸美家の「窯屋証文」、深川町法雲寺の「陶製梵鐘」を市の文化財に指定	4. 23	瀬戸市国際センター設立
		3. 1	'97 せと女性のつどい開催	6. 12	2005 年国際博覧会瀬戸市開催決定
		4. 1	外国人英語指導助手招致 (スティーブン・ウォール)		
		5. 8	東山小学校プール等建設工事設計業務委託		
		5. 22	水無瀬中学校校舎大規模改造工事着工		
		6. 19	小学校 (5 校) プール温水シャワー改修工事		
		6. 30	小学校 (5 校) 管理諸室空調設備整備		
		7. 30	外国人英語指導助手招致 (カルバー・アニカ) (シード・カレン)		
		8. 10	中学生国際交流事業 ～ (中国景徳鎮市他派遣)		
		8. 18			
		9. 27	中学生国際交流事業 ～ (ニュージーランド中学生受け入れ)		
		10. 6			
		11. 18	加藤鈔氏の「陶芸・鉄釉技法」、三社大明神社の「マルバタラヨウ」を市の文化財に指定		
10	1998	2. 1	陶原・道泉・水野小学校にコンピュータ教室整備	4. 20	名誉市民に長江禄彌氏 (彫刻家で日本芸術員会員)
		2. 28	'98 せと女性のつどい開催	5. 28	
		3. 一	SETOウィンディ vol.3 発行	～	世界ガラスアートの祭典開催
		3. 30	「瀬戸市近世文書集 第6集」刊行	5. 31	
		3. 30	「瀬戸市史陶磁史篇 6」刊行	6. 一	「緑の基本計画」策定
		4. 一	学校給食センター完成 (日の出町) センター校全校陶磁器食器を導入	10. 28	「新行政改革実施計画」策定
		4. 1	学校教育課に指導主事 4 名配置		
		4. 1	「瀬戸市史通史篇」編さん開始		
		6. 一	小学校 (4 校) プール温水シャワー改修工事 小学校 (4 校) 管理諸室空調設備整備		
		7. 3	中学生国際交流事業		
		～7. 6	(中国景徳鎮市中学生受入)		

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 10	1998	7. 29	外国人英語指導助手招致 (イアン・ウォーカー) (ウインクリー・キャサリン)		
		8. 6 ～ 8. 17	中学生国際交流事業 (ニュージーランドへ中学生派遣)		
		9. —	図書館情報化・活性化推進モデル地域として指定		
		10. —	心の教室相談員配置		
		11. 20	加藤伸也氏「陶芸織部・黄瀬戸」、 歴史民俗資料館収蔵「染付花鳥 図蓋付大飾壺」を市の文化財に 指定		
11	1999	2. 1	下品野小学校にコンピュータ教室整備 瀬戸市立小・中学校通学区域問題検討委員会を瀬戸市立小中学校適正配置等検討委員会に改称	4. 1	尾張旭、豊明、瀬戸、愛知東郷、 日進、長久手の農協が合併し、 あいち尾東農業協同組合となる
		2. 26	長根公民館増築	5. 1	増岡錦也市長就任
		3. 6	'99せと女性のつどい開催	5. 28	新世紀工芸館「土夢創舎(トムソーヤ)」がオープン
		3. —	SETOウィンディ VOL.4 発行	9. 30	陶生病院南棟増築工事完成
		3. 24	品野台小学校、上品野町内で移転改築 市内で初めて、壁の仕切がないオープンスクールを導入	10. 1	市政70周年
		4. —	学校給食課の事務を給食センターに移管 課を廃止 オアシスメイト配置 創造的人材育成事業 ふるさと文化伝承事業 日本語指導者派遣事業開始	12. 6	戸籍電算化事業(運用開始)
		4. 1	教育委員会事務局教育次長の職名を教育部長に変更		
		4. 2	第7代教育長 大澤義洋就任		
		6. —	小学校(2校)プール温水シャワー改修工事 小学校(3校)管理諸室空調設備整備		
		6. 1	品野台小学校にコンピュータ教室整備		
		8. 7 ～ 8. 16	中学生国際交流事業 (中国景徳鎮市他へ16名の中学生派遣)		
		9. 29 ～	中学生国際交流事業 (ニュージーランドから中学生受け入れ)		
		10. 3			
		10. 1	ジョンさんと森の生活体験実施		
		11. 12	定光寺の「祠堂帳」、深川神社の		

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 11	1999	11. —	「深川神社本殿」を市の文化財に指定 マルチメディア活用学校間連携推進事業の地域として指定		
12	2000	2. 1	特殊教育推進協議会研究発表会（愛知県教育委員会特殊教育推進地区指定）	6. —	「瀬戸市環境基本計画」策定 衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査 （仮称）「瀬戸市やきもの博物館基本構想」策定 第17回国勢調査 2005年国際博覧会登録承認される
		3. 25	小学校（9校）にコンピュータ教室整備	7. —	
		3. 4	2000せと女性のつどい開催	10. 1	
		3. —	SETOウィンディVOL.5発行	12. 15	
		3. 31	中学校（8校）にコンピュータ教室整備（更新） 「瀬戸市近世文書集 第7集・尾張藩山林支配と林奉行所」刊行		
		4. —	特色ある学校づくり事業開始		
		4. 15	瀬戸市マルチメディア伝承工芸館—瀬戸染付研修所—開館		
		6. —	小学校2校プール温水シャワー設置		
		6. —	小学校3校管理諸室空調設備整備		
		7. 1	中学生国際交流事業（中国景德鎮市の中学生受け入れ）		
		8. 1	学校給食センター調理業務委託実施		
		8. 3	中学生国際交流事業（ニュージーランドへ16名派遣）		
		10. 1	小中学校14校警備業務委託開始 小学校（6校）にコンピュータ教室整備		
		10. —	市民学びセミナー開始 小中学校コンピュータ教室インターネット接続		
		11. 1	男女共同参画に関する市民意識調査		
		11. 21	加藤鈔氏の「陶芸・鉄釉技法」県の文化財に指定		

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 13	2001	1. 5	図書館BDS（図書盗難防止装置）導入 図書館コンピュータシステム更新（第3次）	2. 28	環境ISO14001取得
		2. 1	図書館ホームページ開設 同インターネット予約受付開始	3. ー	「第4次瀬戸市総合計画改訂基本計画」策定
		2. 7	秋葉神社の「常夜燈」と「松本茂助家文書」を市の文化財に指定	3. ー	「瀬戸市児童育成計画」策定
		2. 22	瀬戸市立小学校適正配置等協議会設置（平成13年に8回開催）	4. 1	瀬戸市情報公開条例施行
		3. 3	生涯学習フォーラム2001	4. 14	尾張瀬戸駅新駅舎完成
		ー4	2001女性のつどい開催	6. 23	EXPO市民サロンオープン
		3. 31	「瀬戸市史民俗調査報告書一幡山・今村地区」刊行	6. 26	瀬戸市行政経営委員会発足
		3. ー	SETOウィンディVOL.6発行	6. 30	瀬戸市地域イントラネット開通
		4. ー	特色ある学校づくり事業	7. 23	地上デジタル放送タワー誘致決定
		4. ー	学校評議員調査研究事業開始	7. 29	第19回参議院議員通常選挙
		4. 1	社会教育課を生涯学習課に改称	9. 1	無風庵の改築完成
		5. 1	小中学校(14校)警備業務委託開始	9. 11	アメリカ同時多発テロ発生
		6. ー	小中学校(4校)プール温水シャワー設置	10. 26	総務省テレトピア構想モデル地域に指定
		8. ー	図書館集会室増築	12. 3	2005年日本国際博覧会基本計画発表
		8. 5	中学生国際交流事業（中国へ16名派遣、ニュージーランドの中学生受け入れ）		
		10. 31	原山小学校校舎大規模改造完成		
		10. 25	瀬戸の教育を創造する市民会議設置（平成13年に2回開催）		
		11. ー	生涯学習課ホームページ開設		
14	2002	1. 15	第9回瀬戸市立小学校適正配置等協議会開催（平成14年に4回開催）	2. 18	瀬戸市行政経営委員会答申
		1. 18	せとドリーム事業「宇宙飛行士毛利さんと夢を語る会」開催（宇宙飛行士毛利衛さん、角野直子さんが、子どもたちと宇宙の夢を語る）	2. 26	尾張瀬戸駅再開発ビル基本設計発表
		1. 29	第3回瀬戸の教育を創造する市民会議開催（平成14年に6回開催予定）	3. ー	陶の路「暮らしっくストリート」「小狭間坂」完成
		3. 2	2002せと女性のつどい開催	3. 31	北丘最終処分場完成
		3. ー	SETOウィンディVOL.7発行	4. ー	完全学校週5日制が始まる
		ー	市内各所でIT講習会を開催（H13.4～14.2）市民約4,000人が受講		「瀬戸市行政経営導入計画」策定
		3. ー	山口公民館増築		「瀬戸市デジタルリサーチパーク整備計画」素案発表
		4. 1	学校給食配膳業務一部民間委託		「瀬戸市地域情報化計画」策定
				4. ー	「瀬戸市母子保健計画」改訂版策定
				4. ー	陶祖公園「竹露庵」改築オープン
				6. 6	「瀬戸テレビ放送所（仮称）起工式

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 14	2002	5. — 7. — 7. — 8. 30 10. — 12. —	化 (1 小学校・6 中学校を委託) 瀬戸市男女共同参画プラン策定 「市立小学校適正配置等協議会」より答申 教育アンケート実施 (対象: 市民・児童・生徒・教職員) 「瀬戸市史民俗調査報告書二 水野掛川地区」刊行 水野中学校運動場の夜間照明の完成によりスポーツ開放を開始 絵本を通して親子のふれあいを深めるブックスタート運動開始	7. 4 8. 5 9. 30 10. 12 ~20 10. 12 10. 17 12. —	「瀬戸市市民活動促進基本施策」策定 住民基本台帳ネットワークシステム一部稼動 市民会館閉館 瀬戸市・リモージュ市産業交流使節団訪仏 第 26 回せと市民祭 「愛・地球博」起工式 (愛知青少年公園) 市議会本会議のインターネット中継開始
15	2003	2. 7 2. 15 ~2. 16 2. 27 3. 8 3. 27 4. — 4. — 4. — 6. 3 7. 12 9. 25 9. 30	「陶芸・灰釉技法」を市文化財に指定し、その保持者として鈴木八郎氏が認定され、「山口の警固祭り」を市文化財に指定し、その保持団体として「山口警固保存会」が認定 公民館 50 周年記念フェスティバル開催 第 2 回せとドリーム事業「シドニーオリンピック金メダリスト田村亮子選手と夢を語る会」開催 祖母懐公民館竣工式 (2 月移築) 「瀬戸の教育を創造する市民会議」より答申 単独校学校給食一部民間委託化の実施 (深川小学校・品野台小学校) 学校給食配膳業務委託化 1 中学校追加実施 (幡山中学校) 定光寺野外活動センター敷地内に展望塔完成 瀬戸市と市内及び近隣の六大学との間で、「大学コンソーシアム (連携) せと」の包括協定を締結 道泉、陶原、水野の 3 小学校のコンピュータ教室用のパソコン等を整備 (更新) 市内小中学校の給食献立に「世界の料理」を加え、愛・地球博開催まで毎月一回シリーズ化 「瀬戸市史民俗調査報告書三 赤津・瀬戸地区」刊行	2. 2 3. — 3. — 3. 10 3. 20 3. 21 5. 22 6. 4 6. 11 6. 18 7. 14 7. 23 8. 2 8. 2 9. 25 10. 23 11. 8 11. 18 12. 1	愛知県知事選挙 瀬戸市デジタルリサーチパークセンター完成 「いきいき瀬戸 21」策定 尾張瀬戸総合改善事業竣工 「瀬戸蔵」施設設計発表 本郷橋開通 瀬戸市デジタルリサーチパークセンター竣工式 瀬戸の歴史や文化、暮らしなどを伝える代表的な風景を集めた「瀬戸 100 景」を決定 皇太子殿下、愛・地球博会場予定地をご視察 愛・地球博会場名を「長久手会場」、「瀬戸会場」に正式決定 「瀬戸蔵」起工式 名鉄尾張瀬戸駅前ビル「パルティせと」起工式 「瀬戸市ノベルティ・こども創造館」オープン 「瀬戸市資源リサイクルセンター」オープン 愛・地球博の前売り入場券販売開始 東海環状自動車道潮見トンネル (瀬戸市白岩町~岐阜県笠原町深山) 上り線貫通式 「愛・地球博開幕 500 日前記念イベント」瀬戸市内で開催 瀬戸市とリモージュ市 (フランス) との間で姉妹都市提携調印 中京圏で地上波デジタル放送開始

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考		
H. 16	2004	1. 31	「瀬戸市史資料編四 近世」刊行	3. 20	県道愛知青少年公園線の「瀬戸菱野トンネル」開通		
		1. —	「惣作・鐘場遺跡」から瀬戸で初の城館跡が出土	3. 25	「愛・地球博開幕1年前イベント」開催（名古屋市東区・オアシス21）		
		2. 6	上半田川・下半田川両自治会が所有する「笠原村・両半田川村国境争論絵図」を市文化財に、水南小学校敷地内にある「マメナシ」の木を市天然記念物に指定	4. —	県教育委員会が H16 年度から「小中連携」研究校を瀬戸市、知多市、額田町3地域で小中各1校の計3組を指定		
		2. 9	教師の指導を補助するボランティア「学校サポーター」を募集開始	4. 1	瀬戸市の人口2年連続で減少（131,944人）		
		2. 19	「瀬戸の教育創造をすすめる会」を文化センターで開催	4. 1	愛・地球博の全期間入場券を販売開始		
		3. 4	同会をやすらぎ会館で開催	4. 1	フランスのリモージュ市に瀬戸事務所を開設		
		4. 1	「瀬戸市歴史民俗資料館」が来年オープン予定の「瀬戸蔵ミュージアム」へ展示物を移設準備するため休館	4. 21	チュニジアのナブール市と姉妹都市提携調印		
		4. —	本山中・道泉小・深川小の3校が県教委より「小中連携研究校」に指定	9. 30	愛・地球博瀬戸会場で大陶壁の設置作業が着々と進行		
		4. 28	「大学コンソーシアム（連携せと）」のカレッジ講座開講	10. 7	皇太子殿下、愛・地球博の名誉総裁として万博会場を再視察		
		6. 9	「地域別 瀬戸の教育創造をすすめる会」を8中学校区で7月まで順次開催	10. —	「やまて坂」、「みずの坂」等の市有財産41区画の宅地を売却するため一般公募		
		8. 15	総合型地域スポーツクラブ「品野スポーツクラブ」発足	11. 10	チュニジアの政府代表が来訪		
		8. 20	加藤伸也氏の「陶芸・織部・黄瀬戸」が県の文化財に指定	11. 16	姉妹都市フランス・リモージュ市へ訪問団派遣		
		9. —	品野中学校運動場に夜間照明が完成	11. 21	川平町の「定光寺ほたるの里」増設整備完了		
		9. —	H. 18 年度から市内全小中学校を対象に「隣接学校選択制」を導入することを決定（品野台小学校は「特認校」）	11. 27	東名高速道路と愛知万博長久手会場を結ぶ「名古屋瀬戸道路」が開通		
		10. 1	「大学コンソーシアム（連携せと）」結成の連携事業により、瀬戸市立図書館で近隣六大学の蔵書が利用可能となった	12. 14	陶原町に資源ごみのリサイクルセンターがオープン		
		10. 29	「瀬戸市史民俗調査報告書四品野地区」刊行	12. 15	瀬戸市文化センター美術展示ホールが瀬戸市美術館に改称		
		17	2005	2. —	パルティセと（4階）に生涯学習課・情報ライブラリー設置	2. 19	栄町に「パルティセと」オープン
						2. 27	愛・地球博瀬戸会場にやきものモニュメント「天水皿 [®] 」の竣工

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考	
H. 17	2005	2. 3	小中学校行事による愛・地球博の入場料負担を決定	3. 3	せと・やきもの世界大交流無料回遊バス運行ルート決定	
		2. 10	宝泉寺が所有する「古瀬戸瓶子」を市文化財に、菱野文化財調査保存会が所有する「菱野のおでく」を市文化財に指定	3. 16	国内最大の招き猫博物館「招き猫ミュージアム」が開館	
		2. 28	瀬戸市史「資料編三 原始・古代・中世」を刊行	3. 19	蔵所町に「瀬戸蔵」オープン	
		3. 一	瀬戸市教育アクションプラン策定	3. 19	東海環状自動車道の豊田東-美濃関が開通	
		3. 19	瀬戸蔵(2階~3階)内に瀬戸蔵ミュージアム開館	3. 25	愛・地球博開幕、「瀬戸市の日」開催	
		4. 1	「隣接学校選択制」の試行	3. 28	名古屋工業大学とセラミック研究連携のため協定書調印	
		4. 1	幡山東小・長根小の学校給食調理業務委託化	3. 28	コンゴ政府代表が来訪	
		4. 6	瀬戸市名誉市民の日本芸術院会員長江録弥氏(川崎市在住)が逝去	3. 一	瀬戸旭準看護学院閉校	
		5. 29	瀬戸市無形文化財保持者(陶芸・灰釉技法)の鈴木八郎氏が逝去	4. 一	せとっ子未来計画策定	
		6. 24	愛知県無形文化財保持者(陶芸・灰釉系技法)の加藤舜陶氏が逝去	4. 一	瀬戸市特定事業主行動計画策定	
		7. 25	全日本ジュニアテコンドー選手権大会・女子バンタム級で幡山中学校・間瀬有梨佳さんが優勝	4. 3	名鉄瀬戸線開通 100周年	
		8. 21	和道会ワールドカップ国際大会で古橋卓也さんが男子個人形の部で優勝	5. 2	中国・景德鎮市長が来訪	
		12. 26	白坂町の雲興寺鐘楼が国の登録文化財(建造物)に登録される	5. 25	瀬戸市福祉マップを作製、配布	
					6. 22	チュニジア・ナブール市長が来訪
					7. 8	フランス・リモージュ市長が来訪
					7. 12	天皇、皇后陛下が愛・地球博の長久手、瀬戸両会場を訪問
			8. 28	愛・地球博で2度目の「瀬戸市の日」開催		
			9. 13	韓国・利川市長が来訪		
			9. 25	愛・地球博閉幕		
			9. 一	県が海上の森を自然環境保全地域に指定する新条例を検討		
			10. 5	愛・地球博のマスコットキャラクター、モリゾーとキッコロが瀬戸市海上の森に特別住民登録		
			11. 1	瀬戸蔵に「産業支援センターせと」が開設		
18	2006	2. 5	「瀬戸の教育市民フォーラム」開催	2. 19	瀬戸市名誉市民の元市長加藤繁太郎氏が逝去	
		2. 10	「陶芸・黄瀬戸」「陶芸・織部」を無形文化財に指定し、その保持者に加藤廉平氏及び加藤錦三氏を認定。また、有形文化財に万徳寺の「聖徳太子絵伝」4幅、典籍「聖徳太子伝」5冊と「松原広長寄進状」1点を指定	3. 15	コミュニティFM局開設	
		2. 28	「瀬戸市史資料編五 近現代1」及び「瀬戸市史 民俗編」発刊	3. 31	フランスのリモージュ瀬戸事務所を閉鎖	
		4. 1	「隣接学校選択制」の施行	3. 一	「瀬戸市第5次総合計画」策定 「瀬戸市地域福祉計画」策定 「瀬戸市行政改革集中改革プラン」策定	
			陶原小の学校給食調理業務委託化	4. 1	赤津保育園、品野南保育園休園	
				4. 1	市消防本部初の女性消防士誕生	
				4. 1	陶原小学校内に「せとっ子モアスクール」開設	
				4. 20	韓国・利川市と姉妹都市提携締結	

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 18	2006	4. 15 4. 15 6. 16～ 9. 15 6. 30～ 6. 23 6. 26 7. 23 7. 28 8. 20 ～ 9. 27 10. 1 10. 7 10. 9 11. 17 ～19 11. 19	世界ジュニアテコンドー選手権大会日本代表選考会バンタム級で聖カピタニオ高校 間瀬有梨佳さんが優勝 幡山・光陵中学校屋内運動場耐震補強工事 東山小学校校舎増築・耐震補強工事（～H19. 8. 17） 瀬戸市教育アクションプラン推進会議発足 「市理科教育研究会」が環境省水・大気環境局長より水・土壌環境保全功労者表彰 全日本ジュニアテコンドー選手権大会で效範小学校 黒田温さんが優勝 東明小学校が中国・内モンゴルへ訪問団を派遣 中学生訪問団が姉妹都市フランス・リモージュ市へ 「広久手第 30 号窯跡」市史跡に指定 パルティセと・情報ライブラリーで図書等の貸出開始 品野台小学校に「地域図書館」開設 あいち共同利用型施設予約システムでのスポーツ施設利用予約開始 「まるっとせとっ子フェスタ 2006」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開催 「いじめ」の根絶を訴える緊急アピール発表	4. 24 9. 25 10. 15 11. — 12. 23	「海上の森」の一部が「愛知県自然環境保全地域」に指定 「あいち海上の森センター」開所 「せとっ子ファミリー交流館」開館 瀬戸市文化協会創立 20 周年 コミュニティバスの試験運転開始
19	2007	1. 8 3. 27 4. — 4. 25 5. 18 6. 29～ 9. 14 6. 29～	南山中学校男子卓球部、全国中学選抜卓球大会県予選会で優勝 「瀬戸市史通史編 上」発刊 「瀬戸市史資料編六 近現代 2」発刊 效範小・原山小の学校給食調理業務委託化 全国学力・学習状況調査実施 「陶芸・灰釉」「陶芸・色絵磁器」を市無形文化財に指定し、その保持者に田沼春二氏及び林邦佳氏を認定 水野小学校屋内運動場耐震補強工事 西稜小学校校舎増築・耐震補強	2. 4 3. — 4. 1 4. 8 4. 22 5. 24 7. 29 9. 1	愛知県知事選挙 幡山保育園休園 自治法改正により助役を廃し副市長を設置 愛知県議会議員選挙 市長・市議会議員選挙 瀬戸商工会議所創立 60 周年 参議院議員選挙 道泉小学校内に「せとっ子モアスクール」開設

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 19	2007	7. 1	工事（～H20. 3. 14） 市民公園陸上競技場芝張替工事 完成		
		7. 6	中国景徳鎮市から中高生訪問団 来訪		
		7. 10～ 9. 28	祖東・水野中学校屋内運動場耐 震補強工事		
		8. 30	総合型地域スポーツクラブ「水 野・西陵いきいきクラブ」発足		
		10. 3	本山中学校の姉妹提携校ホストリ ア・ロビル・セカンダリー・カレッジ 生徒来 訪		
		11. ー	ニュージーランド・オークランド 市の中学生 来訪、水野中学校・祖東中学校 で交流		
		11. 9 ～11	「まるっとせとつ子フェスタ 2007」 開催		
		11. 11	「瀬戸の教育市民フォーラム」 開催		
		11. 18	陶原小学校体育館火災		
		12. ー	八幡小学校キャリア教育「お店 を出そうプロジェクト」で文部 科学大臣表彰受賞		
		12. 21 ～	陶原小学校屋内運動場解体工事 （～H20. 2. 18）		
20	2008	2. 18	中国・内モンゴル自治区フフト カ市カイワジ小学校児童が東明 小学校を訪問	1. ー	瀬戸市体育協会設立 60 周年
		2. 29	市立小学校（20 校）に防犯カメ ラ設置	3. 1	町名設定（東山町）
		3. ー	西陵小学校校舎増築・耐震補強 工事	3. 25	緊急防災放送システム完備
		3. ー	図書館耐震補強・アスベスト撤 去・トイレ・駐車場等改修工事	3. 25	レジ袋の有料化(市内一部店舗) スタート
		3. 31	補助執行事務に関する協定書の 締結（社会教育・社会体育関係 の事務を追加）	4. 1	教育三法（学校教育法・地方教 育行政の組織及び運営に関する 法律・教育職員免許法及び教育 公務員特例法）の改正
		4. 1	教育委員会組織の一部改編 （学び課と交流課を統合）	7. 21	陶原小学校・道泉小学校プール 開放実施
		4. 1	図書館開館時間の変更及び受付 業務の委託開始	8. ー	「男女共同参画推進会議」・「男 女共同参画推進委員会」設置
		4. ー	「子ども読書活動推進計画」策 定	10. 1	八幡小学校内に「せとつ子モア スクール」開設
		4. 22	全国学力学習状況調査実施		
		5. 7	愛知県立大学とボランティア学 生派遣に関する協定を締結		
		5. 9	「陶芸 御深井」を市無形文化 財に指定し、その保持者に加藤 唐三郎氏を認定		

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 20	2008	6. 20～ 9. 19	幡山中学校運動場照明設置工事		
		6. 20～ 10. 10	水無瀬・本山中学校屋内運動場耐震補強工事		
		6. 23～	南山中学校大規模改造・耐震補強工事（～H21. 9. 30）		
		6. 23～	萩山小学校・瀬戸養護学校大規模改造及び耐震補強工事（～H21. 12. 25）		
		6. 27～ 9. 19	水南・幡山西・原山小学校屋内運動場耐震補強工事		
		9. 12	「菱野おでく警固祭り」を市無形民俗文化財に指定		
		9. 12	「古文書 菱野郷倉文書」・「典籍 大般若経」を市指定有形文化財に指定		
		10. 1	教育委員の定数を増員（5名から7名に増員）		
		10. 4	光陵中学校に「地域図書館」開設		
		11. —	「瀬戸市教育委員会の活動の自己点検・評価報告書」公表		
		11. 6 ～9	「まるっとせとっ子フェスタ 2008」開催		
		11. 9	「瀬戸の教育市民フォーラム」開催		
		12. —	「瀬戸市立学校施設耐震化計画」策定		
21	2009	1. 30～ 7. 17	陶原小学校屋内運動場敷地造成工事	2. 28	とうめい新聞廃刊
		3. 27	「塚原古墳群発掘調査報告書」刊行	3. 20	「瀬戸万博記念公園（愛・パーク）」オープン
		3. 31	「紺屋田A窯跡発掘調査報告書」刊行	4. 1	深川保育園・今村保育園休園
		3. 31	「特別天然記念物オオサンショウウオ生息分布調査報告書」刊行	4. 1	養護老人ホーム「陶寿荘」民間に移管
		4. 1	東山小の学校給食調理業務委託化	4. 20	定額給付金振込開始
		4. 21	全国学力・学習状況調査実施	6. 24	市内で新型インフルエンザ患者確認
		5. 14～	陶原小学校屋内運動場新築工事（～H22. 1. 15）	8. 5 ～6	市制施行 80 周年記念「まるっと・せとっ子議会」開催
		5. 20～ 10. 23	道泉小学校校舎耐震補強工事	9. 30	JRバス一般路線撤退
		5. 20～ 10. 23	幡山中学校校舎耐震補強工事	10. 1	瀬戸市制施行 80 周年
		6. 19～ 9. 18	東山・八幡小学校屋内運動場耐震補強工事	10. 1	長根小学校内に「せとっ子モアスクール」開設
		7. 6 ～8	景德鎮市中学生訪問団来訪 祖東中学校で交流		

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 21	2009	10. 3 11. 12 ～15 11. 15 11. 15 ～	西陵小学校に「地域図書館」開設 「まるっとせとっ子フェスタ 2009」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開催 萩山小学校・瀬戸養護学校環境整備工事（～H22. 3. 29）		
22	2010	2. 26 3. 一 4. 1 4. 9 4. 20 4. 23 4. 28 5. 12 6. 11～ 10. 29 6. 18 6. 18 7. 30 ～8. 7 8. 4 ～13 10. 9 11. 11 ～14 11. 14	陶原小学校体育館竣工式 瀬戸養護学校竣工 瀬戸市立瀬戸養護学校（さくらんぼ学園）設立 幡西小の学校給食調理業務委託化 開校式及び入学式を挙行 全国学力・学習状況調査を抽出校において実施 瀬戸市立図書館「子どもの読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣賞を受賞 「瀬戸永泉教会礼拝堂」を登録有形文化財として登録 「瀬戸市史通史編 下」発刊 陶原小学校耐震補強工事 祖母懐小学校耐震補強工事 水野小学校耐震補強工事 長根小学校耐震補強工事 「工芸技術 有線七宝」を市無形文化財に指定し、その保持者に柴田明氏を認定 「工芸技術 陶芸 練り込み」を市無形文化財に指定し、その保持者に水野教雄氏を認定 本山中学校オーストラリアへホームステイ派遣 水野中学校ニュージーランドへホームステイ派遣 水野小学校に「地域図書館」開設 「まるっと せとっ子フェスタ 2010」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開催	3. 25 7. 11 7. 21 10. 3 10. 一 10. 一 10. 1	「新大橋」架け替え工事 「新共栄橋」へ名称変更 参議院議員選挙 八幡小学校プール開放実施 西陵地域交流センターオープン 収納コールセンター開設 瀬戸市景観計画策定 原山小学校内に「せとっ子モースクール」開設
23	2011	3. 6 4. 1 5. 一	スポーツ功労者表彰 新学習指導要領の実施 西陵小の学校給食調理業務委託化 東日本大震災による被災児童・生徒のホストファミリー募集開始	3. 1 3. 26 4. 3 4. 9 4. 20	第2次環境基本計画策定 道の駅瀬戸しなの開場 しなのバスセンターオープン 品野台地域交流センターオープン 給水支援隊、東松島市へ派遣 東松島市へ陶器類提供

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 23	2011	6. 1 6. 1～ 6. 8～ 11. 11 6. 10～ 11. 4 6. 10～ 11. 11 6. 14～ 10. 26 6. 15～ 9. 30 6. 30 7. 13～ 10. 7 8. 2 8. 5 10. 1 ～2 10. 15 11. 10 ～13 11. 13	下品野小学校蛇ヶ洞浄水場見学 効範小学校校舎増築・耐震補強 工事（～H24. 3. 16） 八幡小学校校舎耐震補強工事 品野中学校校舎耐震補強工事 本山中学校校舎耐震補強工事 東明小学校校舎耐震補強工事 下品野小学校校舎耐震補強工事 効範小学校3年生市役所見学 深川小学校校舎耐震補強工事 名古屋学院大学とボランティア 学生の派遣などに関する協定に 調印 「まるっとせとっ子議会」開催 第8回日本オオサンショウウオ の会瀬戸大会開催 東山小学校に「地域図書館」開 設 「まるっと せとっ子フェスタ 2011」 開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」 開催	4. 24 6. 一 10. 1 10. 1	瀬戸市長選挙および瀬戸市議会 議員選挙 食器6万4千個東松島市に提供 瀬戸市暴力団排除条例施行 水南小学校内に「せとっ子モア スクール」開設
24	2012	2. 5 4. 2 4. 一 6. 1～ 9. 28 6. 1～ 10. 19 6. 1～ 11. 2 6. 22～ 9. 21 6. 22～ 10. 5 6. 22～ 10. 12 6. 22～ 10. 26 6. 23	せと歴史と文化財を知る見学会 の実施 第8代教育長 深見和博就任 全国学力・学習状況調査を抽出 校において実施 古瀬戸小学校校舎耐震補強工事 水南小学校校舎耐震補強工事 光陵中学校校舎耐震補強工事 南山中学校校舎（技術棟）耐震 補強工事 効範小学校環境整備工事 水無瀬中学校校舎耐震補強工事 祖東中学校校舎耐震補強工事 掛川小学校「お茶会」開催	1. 1 2. 一 3. 一 3. 1 4. 1 4. 14 10. 1 11. 1 12. 1 3. 1	通院医療費の無料化を中学3年 生まで拡大 のぞみ学園園舎増築 瀬戸市地場産業振興ビジョン策 定 第2次瀬戸市男女共同参画プラ ン策定 道泉地域交流センターオープン 陶祖 800年祭オープニング事業 「陶祖・藤四郎フォーラム」開 催 下品野小学校内に「せとっ子モ アスクール」開設 不活化ポリオワクチンとDPT （尺日せき・ジフテリア・破傷 風）の4種混合ワクチン定期予 防接種となる 瀬戸・尾張旭消防指令センター の運用開始 瀬戸市建築物耐震改修促進計画 改訂

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 24	2012	6. 29～ 10. 19 7. 27 ～8. 5 8. 1～ 10. 26 8. 2 ～8. 11 8. 2 ～8. 11 9. 21 ～9. 27 9. 24 ～10. 1 9. 25 ～9. 30 11. 8 ～11 11. 11 12. 7～	<p>幡山東小学校校舎耐震補強工事</p> <p>本山中学校オーストラリアへホームステイ派遣</p> <p>幡山西小学校校舎耐震補強工事</p> <p>祖東中学校ニュージーランドへホームステイ派遣</p> <p>水野中学校ニュージーランドへホームステイ派遣</p> <p>本山中学校オーストラリアからホームステイ受入</p> <p>水野中学校ニュージーランドからホームステイ受入</p> <p>品野中学校ニュージーランドからホームステイ受入</p> <p>「まるっと せとっ子フェスタ 2012」開催</p> <p>「瀬戸の教育市民フォーラム」開催</p> <p>陶原小学校外 15 校緊急地震速報設置工事（～H25. 1. 18）</p>		
25	2013	2. 一 2. 28 3. 14 3. 18 3. 18 3. 28 4. 1 4. 14 4. 23～ 6. 14 5. 10～ 2. 28 6. 28～ 8. 10	<p>図書館施設等安全安心事業として書架固定工事、書籍落下防止工事、飛散防止フィルム施工</p> <p>「洞窯跡・東洞 A 窯跡」刊行</p> <p>校光陵校舎大規模改造工事</p> <p>「古瀬戸瓶子」を市有形文化財（工芸）に指定</p> <p>「品野祇園祭の神武天皇像および従者像」を市有形民俗文化財に指定</p> <p>「市内遺跡調査報告VI 品野中部遺跡・穴田古窯跡群・石田遺跡」刊行</p> <p>水南小の学校給食調理業務委託化</p> <p>全国学力・学習状況調査実施</p> <p>小学校校舎増築・耐震補強工事</p> <p>塚原内 1 号墳歴史広場の公開開始</p> <p>深川小学校外 11 校緊急地震速報設置工事</p> <p>幡山中学校校舎増築・改造工事</p> <p>光陵中学校・(仮称)瀬戸養護学校</p> <p>せと歴「深川神社本殿の保存修理工事見学会」の開催</p>	4. 1 5. 1 5. 31 6. 9 7. 30 8. 1～2 9. 26～ 10. 2 10. 1	<p>第 2 次いきいき瀬戸 21 健康日本 21 瀬戸市計画策定</p> <p>市庁舎増改築整備工事開始</p> <p>名鉄「新瀬戸駅」の南口交通広場が完成</p> <p>山口・菱野・本地地区参加の「郷社祭り」開催</p> <p>瀬戸市子ども・子育て会議開催</p> <p>六角陶碑第 2 次内部調査を行う</p> <p>瀬戸市・リモージュ姉妹都市提携 10 周年記念事業「瀬戸市公式訪問団」リモージュ市派遣</p> <p>効範小学校内に「せとっ子モアスクール」開設</p>

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 25	2013	11. 14 ～17 11. 17	「まるっとせとっ子フェスタ 2013」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開催		
26	2014	3. 28 3. 28 4. 1 4. 8 4. — 4. — 6. 6 7. 25～ 8. 4 7. 31～ 8. 9 9. 27～ 10. 3 9. 27～ 10. 3 9. 29 10. 6 11. 13 ～16 11. 16 11. 28 ～3. 20 11. 30 12. 26 ～3. 20	「穴田窯跡 I-遺構編-」刊行 「市内遺跡調査報告 VII 若宮遺跡 (若宮町 3-84 地点)」刊行 教育委員会組織の一部改編 (教育総務課と学校教育課を統合) 瀬戸特別支援学校光陵校舎開校 全国学力・学習状況調査実施 「子ども読書活動推進計画(第二次)」策定 瀬戸市教育委員会と愛知県瀬戸警察署との協定書の締結 本山中学校オーストラリアへホームステイ派遣 祖東中学校ニュージーランドへホームステイ派遣 水野中学校ニュージーランドへホームステイ派遣・受入 品野中学校ニュージーランドへホームステイ受入 瓶子窯跡北側里山林を「瓶子の森」として一体で整備するため公有地化 「志段味古墳群 尾張戸神社古墳」が国指定史跡に追加指定 「まるっとせとっ子フェスタ 2014」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開催 小・中学校屋内運動場非構造部材落下防止対策工事 せと歴「品野の中馬街道を歩く」の開催 小・中学校消防設備・防火扉改修工事	4. 19～ 9. 30 10. 1 11. 1	陶祖 800 年祭記念「藤四郎フェスティバル」の開催 利川市訪問団が来訪 幡山西小学校内に「放課後学級」開設 市役所新庁舎完成
27	2015	1. — 2. 6 2. 27 3. 21 3. 27 3. 31	瀬戸市いじめ防止基本方針策定 歴史的建造物「旧山繁商店」の公有化 「六角陶碑一字一石経 整理報告書」刊行 東洞 A 窯跡現地説明会開催 無形民俗文化財記録 DVD「郷社祭り」制作 文化財紹介 DVD「風にのって」 「瀬戸に暮らす～洞地区～」制作 「市内遺跡調査報告 VIII 今村城跡」刊行 「東印所 A 窯跡」刊行	5. 1 10. 5	伊藤保徳市長就任 マイナンバー制度開始

2 教育関係施設一覧

名 称	所 在 地	電 話 番 号
瀬戸市役所	瀬戸市追分町64番地の1	82-7111
陶原小学校	〃 原山町1番地の3	82-2243
深川小学校	〃 宮脇町53番地	82-2272
祖母懐小学校	〃 萩殿町2丁目178番地	82-2273
道泉小学校	〃 道泉町44番地	82-2474
效範小学校	〃 效範町1丁目1番地	82-3050
東明小学校	〃 東明町50番地	82-5501
古瀬戸小学校	〃 古瀬戸町70番地	82-2392
水野小学校	〃 小田妻町2丁目22番地	48-1098
水南小学校	〃 東松山町154番地	82-2084
幡山東小学校	〃 八幡町455番地	82-4404
幡山西小学校	〃 幡西町203番地	82-4394
下品野小学校	〃 品野町6丁目223番地	41-0074
品野台小学校	〃 上品野町1234番地	41-0041
掛川小学校	〃 下半田川町592番地の41	48-5151
長根小学校	〃 東長根町166番地	82-9640
原山小学校	〃 原山台3丁目98番地	21-3804
東山小学校	〃 東山町71番地	21-2801
萩山小学校	〃 萩山台2丁目22番地	83-3650
八幡小学校	〃 八幡台3丁目1番地	82-4445
西陵小学校	〃 すみれ台1丁目77番地	48-1993
水無瀬中学校	〃 原山町1番地	82-3098
祖東中学校	〃 中山町1番地	82-2244
南山中学校	〃 ひまわり台5丁目1番地	48-1212
本山中学校	〃 道泉町76番地の1	82-2363
幡山中学校	〃 幡中町106番地	82-4393
品野中学校	〃 広之田町2番地の5	41-0019
光陵中学校	〃 萩山台9丁目244番地	21-4660
水野中学校	〃 日の出町34番地	48-4698
瀬戸特別支援学校	〃 萩山台2丁目22番地	76-4391
瀬戸特別支援学校光陵校舎	〃 萩山台9丁目244番地	76-2263
陶原公民館	〃 熊野町98番地	83-3579
深川公民館	〃 宮脇町53番地	82-0453
祖母懐公民館	〃 上ノ切町43番地	82-9304
古瀬戸公民館	〃 西拝戸町16番地の10	83-8741
東明公民館	〃 西拝戸町16番地の3	82-8024
效範公民館	〃 北山町39番地	82-1095

名 称	所 在 地	電 話 番 号
長根公民館	瀬戸市城屋敷町22番地	85-0911
水南公民館	〃 東松山町154番地	21-2556
水野公民館	〃 中水野町1丁目150番地	48-1112
山口公民館	〃 田中町108番地	87-0700
幡山公民館	〃 幡山町71番地	87-4000
下品野公民館	〃 品野町6丁目105番地	41-4118
掛川公民館	〃 定光寺町1206番地	48-6165
原山公民館	〃 原山台8丁目163番地	83-9231
萩山公民館	〃 萩山台4丁目2番地の2	84-2088
八幡公民館	〃 八幡台1丁目145番地の2	82-9456
図書館	〃 東松山町1番地の2	82-2202
学校給食センター	〃 日の出町34番地の2	48-7600
市民公園(交流学び課スポーツ係)	〃 上本町1番地	48-0500
定光寺野外活動センター	〃 鹿乗町1231番地	48-0770
公立瀬戸旭看護専門学校	〃 進陶町6番地の1	85-2220
聖霊中学校	〃 せいれい町2番地	21-3121
聖霊高等学校	〃 せいれい町2番地	21-3121
南山大学瀬戸キャンパス	〃 せいれい町27番地	89-2000
瀬戸高等学校	〃 東山町1丁目5番地	82-7710
瀬戸窯業高等学校	〃 東権現町22番地の1	82-2003
瀬戸西高等学校	〃 緑町1丁目140番地	84-7400
瀬戸北高等学校	〃 本郷町260番地	48-1500
聖カピタニオ女子高等学校	〃 西長根町137番地	82-7711
名古屋学院大学瀬戸キャンパス	〃 上品野町1350番地	42-0350
愛知県立窯業高等技術専門校	〃 南山口町538番地	21-6666
瀬戸ひなご幼稚園	〃 紺屋田町93番地の41	82-7760
雪の聖母幼稚園	〃 東長根町91番地	82-6409
マリア幼稚園	〃 苗場町8番地	82-9749
真貴幼稚園	〃 原山台2丁目23番地の2	21-4127
菱野幼稚園	〃 萩山台7丁目13番1号	83-3651
はちまん幼稚園	〃 八幡台4丁目14番1号	83-8703
瀬戸幼稚園	〃 すみれ台4丁目40番地の5	48-4800

瀬戸市の教育

(平成27年度版)

平成27年9月発行

編集・発行

瀬戸市教育委員会
瀬戸市追分町64番地の1
TEL (0561)88-2750(直通)